



MOMO

特別養護老人ホーム モモ
ショートステイ モモ
ケアハウス モモ
デイサービスセンター モモ
居宅サービスセンター モモ



PINO

コミュニティホーム ピノ
ショートステイ ピノ
コミュニティセンターピノ



NaNa

フレイグラントオリーブ ナナ
ケアステーション ナナ

社会福祉法人蒼生会 高齢者福祉施設
2021年度 事業報告

 Sosaykai

目 次

新型コロナウイルス感染症対策 _____	1
これからの課題 _____	9
施設ケアマネジメント（モモ） _____	15
特別養護老人ホームモモ _____	17
ショートステイモモ _____	27
施設ケアマネジメント（ピノ） _____	33
コミュニティホームピノ _____	35
ショートステイピノ _____	43
ケアハウスモモ _____	49
フレイグラントオリーブナナ _____	53
デイサービスセンターモモ _____	57
コミュニティセンターピノ _____	61
栄養と調理 _____	67
居宅サービスセンターモモ _____	77
ケアステーションナナ _____	89
委員会活動 _____	101
パブリックリレーション _____	109



新型コロナウイルス感染症対策

2020年度に引き続き、施設系事業所である特別養護老人ホームモモおよびコミュニティホームピノでは、法人ホームページや電話連絡を経て以下対応を断続的に周知継続した。

- ① 面会制限
居住フロアへの入館制限（1階に入居者をお連れしてのご面会）
- ② 施設見学等での入館制限
居住フロアではない1階（主に通所介護）部分の見学は可
- ③ マスク着用のない方の入館はお断り
- ④ 入館者の検温を実施
- ⑤ 約束の無い方の入館は原則お断り

在宅系事業所である通所介護（デイサービス）・短期入所（ショートステイ）については、環境消毒や手指清潔保持等を強化しつつ、可能な限り居住階への職員移動を抑えながらそれまで通り運営。

利用者およびその家族には、利用前の体温測定など体調確認に対し、引き続き理解・協力をお願いした。

1. 緊急事態宣言・まん延防止等重点措置下での入館に対する方針

- ① 2021年4月25日～2021年9月30日
 - ② 2022年1月10日～2021年3月22日
- やむを得ぬ事情がある場合を除き面会は原則お断り
 - 事前約束の無い方の入館は不可
 - 入館は電話などで対応困難である用件のみに限定
 - 予約時の用件次第で入館をお断り
 - 入館前には必ず検温
（37.5度以上の発熱がある方はお引き取り頂く）
 - 入館時には必ず体調チェックシート記入/提出
 - 身近に「新型コロナウイルス感染の可能性があり、診察またはPCR検査を受けている方」が居られる場合には、その結果（陰性）が確認されるまで入館をお断り
 - 入館後14日以内に新型コロナウイルス感染症を発症された場合は保健所の指示に従うとともに、施設への連絡も依頼

2. 緊急事態宣言解除後の入館に対する方針

- ① 2021年10月1日～2022年1月9日
 - ・ 全来訪者に対し緊急事態宣言下同様の内容を継続
- ② 2022年3月22日～
 - ・ 以下に留意頂く事を前提に入所者家族の面会制限のみ一部緩和
 - ・ その他の来訪者については緊急事態宣言下同様の内容を継続

【留意事項】

- ・ 面会の「事前予約」は継続
 - ※自宅とのオンライン面会も可能
- ・ 一度に入館可能な人数を「原則2人以下」とする
 - ※小さなお子様連れでの来訪（含：別場所待機）は不可
- ・ 入館前には、検温/手指消毒/マスク着用
 - ※37.5度以上の発熱がある方、同症状を有する方が身近に居られる方はこの対応を経ても入館不可
- ・ 面会場所は、入居者自室（その他生活空間）は不可
 - ※1階に別室を用意。入居者との適切な距離を保って面会。
- ・ 換気を優先し面会場所の室温設定などは希望に沿う事ができない場合あり
- ・ 事業所の状況によりやむを得ず面会の直前キャンセルあり

3. 日常的な業務における感染症対策

- ① 3密（密閉・密接・密集）回避
 - ※集団でのレク活動などを変更
 - ※カシオペア祭の中止（法人決定）
 - ※児童福祉施設との世代間交流を中止
- ② マスクは常用・咳エチケット等を徹底
 - ※職員個々に「サージカルマスク」の定期支給を開始
- ③ 手洗い・手指の消毒
 - ※職員個々に「携帯用消毒薬（含：携行バッグ）」を配布
- ④ 毎日の健康確認
 - ※職員は出勤前・入館前の検温を必須事項とする
- ⑤ 十分な換気（含：送迎車両）
 - ※冬季は寒気流入による弊害にも留意
- ⑥ 要所の消毒・清潔保持
 - ※実施頻度は見直し
 - ※環境は汚染していると考え環境に触れたら手指消毒
- ⑦ 職員の不要な事業所（フロア）間移動を避ける
 - ※デイサービス職員等の入居階への出入り制限
 - ※児童福祉施設との世代間交流を中止

4. 感染症対策を目的とした環境整備

① 陰圧装置設置（コミュニティホーム ピノ）

「介護施設等における新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業（陰圧装置設置）の申請」を経て2台分の補助金交付が決定。

2階の短期入所ユニット個室1部屋および3階の本入所ユニット個室1室には、補助金対象として「簡易陰圧装置（含：ダクト工事）」の設置（施工）が完了した。

② 関連備品の配備強化など

A：抗原検査キット

使用基準 ⇒ 個別検査

※感染が疑わしい者（高齢者・職員）が事業所または
拠点毎に「2名以下/日」生じた場合

保有（在庫）総数 ⇒ 275回分

・クイックナビ - COVID19 Ag（検査所要時間：8分）

使用期限：2022年 7月 ⇒ 63回分

2022年11月 ⇒ 12回分

2022年12月 ⇒ 120回分

・エスプライン SARS-CoV-2（検査所要時間：15～30分）

使用期限：2023年 6月 ⇒ 80回分

B：PCR検査キット

使用基準 ⇒ 集団検査

※感染が疑わしい者（高齢者・職員）が事業所または
拠点毎に「3名以上/日」生じた場合

※抗原検査キット使用（個別検査）の結果「陽性反応」
が示された場合

使用期限：2022年 5月 ⇒ 200回分

5. ワクチン接種

【第1回・第2回】

① 高齢者福祉施設モモ拠点

入所者：68名（特養53名・ケアハウス15名）

従事者：37名（特養35名・ケアハウス2名）

※人数調整のため特養・ケア各1名はピノにて

グループA：計48名

2021.06.10（木）午後

入所者：29名（特養21名・ケアハウス8名※2F入所者）

従事者：19名（特養18名・ケアハウス1名）

会場：2F 食堂（21名）・1F いろいろ部屋（27名）

2021.07.01（木）午後

入所者：27名（特養19名・ケアハウス8名※2F入所者）

従事者：19名（特養18名・ケアハウス1名）

会場：2F 食堂（19名）・ケアハウス食堂（27名）

グループB：計57名

2021.06.17（木）午後

入所者：39名（特養32名・ケアハウス7名※3F入所者）

従事者：18名（特養17名※人数調整のため1名はピノにて

・ケアハウス1名）

会場：3F 食堂（32名）・ケアハウス食堂（25名）

2021.07.08（木）午後

入所者：40名（特養33名・ケアハウス7名※3F入所者）

従事者：19名（特養18名※人数調整のため1名はピノにて

・ケアハウス1名）

会場：3F 食堂（33名）・ケアハウス食堂（26名）

備考：ワクチン1本で6人分の接種が可能。

グループ分けは可能な限り「6の倍数」に調整。

②高齢者福祉施設ピノ拠点

入所者：27名

従事者：22名（特養20名・特養モモ/ケアハウス各1名

※人数調整のためモモより）

グループA：計24名

2021.06.10（木）午後

入所者：13名

従事者：11名（特養10名・ケアハウス1名※人数調整のため）

会場：3Eユニット

2021.07.01（木）午後

入所者：13名 ※1名体調不良中止

従事者：11名（特養10名・ケアハウス1名※人数調整のため）

会場：3Eユニット

グループB：計24名

2021.06.17（木）午後

入所者：14名

従事者：11名（特養10名・特養モモ1名※人数調整のため）

会場：3Eユニット

2021.07.08（木）午後

入所者：12名

従事者：11名（特養10名・特養モモ1名※人数調整のため）

会場：3Eユニット

備考：ワクチン1本で6人分の接種が可能。

グループ分けは可能な限り「6の倍数」に調整。

③高齢者福祉施設ナナ拠点

入所者：16名（1名は主治医で接種希望・除外）

従事者：6名（うち調理員4名）

グループA：計12名

2021.05.22（土）午後・2021.06.12（土）午後

入所者：9名

従事者：3名（うち調理員2名）

会場：うのもり内科クリニック

グループB：計10名

2021.05.29（土）午後・2021.06.19（土）午後

入所者：7名

従事者：3名（うち調理員2名）

会場：うのもり内科クリニック

【 第3回（ブースター接種） 】

①高齢者福祉施設モモ拠点

入所者：64名（特養49名・ケアハウス15名）
従事者：44名（特養39名・ケアハウス4名・居宅1名）

グループA：計54名

2022.02.10（木）午前

入所者：30名（特養21名・ケアハウス9名）
従事者：24名（特養22名・ケアハウス2名）
会場：2F食堂（21名）・ケアハウス食堂（33名）

グループB：計51名

2022.02.24（木）午前

入所者：32名（特養26名/医師判断により接種中止2名
・ケアハウス6名）
従事者：19名（特養16名・ケアハウス2名・居宅1名）
※特養1名「濃厚接触者」となりキャンセル
会場：3F食堂（26名）・ケアハウス食堂（25名）

備考：ワクチン1本で6人分の接種が可能。
グループ分けは可能な限り「6の倍数」に調整。

②高齢者福祉施設ピノ拠点

入所者：23名
従事者：14名（ナナ拠点職員2名を追加：16名）

グループA：計17名（ナナ拠点職員1名含む：18名）

2022.02.10（木）午前

入所者：10名
従事者：7名（ナナ拠点職員1名含む：8名）
会場：3F医務室

グループB：計20名（ナナ拠点職員1名含む：21名）

2022.02.24（木）午前

入所者：13名（医師判断により接種中止1名
・入院により中止1名）
従事者：7名（ナナ拠点職員1名含む：8名）
会場：3F医務室

備考：ワクチン1本で6人分の接種が可能。
グループ分けは可能な限り「6の倍数」に調整。

③高齢者福祉施設ナナ拠点

入所者：17名（1名は接種希望せず・2名は主治医にて接種希望）
従事者：4名（うち事務員1名・調理員1名はピノ拠点にて）

2022.01.22（土）午後・2022.01.29（土）午後

会場：うのもり内科クリニック

6. 新型コロナウイルス感染症の影響

①入所系事業所

特別養護老人ホームでは、家族等に施設へお越し頂いてのケアカンファレンスやそれに伴うケアプラン作成が困難になり、介護支援専門員による家族等との電話連絡/意向確認で暫定計画を立案し、それを郵送/確認/同意（署名・捺印）という過程を経て完成させた。

自立型施設では、不要不急の外出・外部交流を控えるよう呼びかけたが、利用している入居者にとって訪問・通所系サービスは日常生活に必要かつ重要であり、感染予防に十分配慮してその継続に努めた。

医療面に関しては、緊急性の低い「定期受診」の予定が、施設・家族・医療機関それぞれの意向も踏まえ、延期となる事もあった。

②通所・短期入所事業所

年度当初は、感染を懸念して「利用を見送る」意向を示す利用者・家族が現れたが、全体に占める割合はさほど多くは無かった。

反面、入所系事業所とは異なり「外部からの高齢者を受け入れる」という事業の性質上、活動エリアの入念な清潔保持のみならず、家族へも働きかけ「利用前体調確認」を徹底しての運営が求められた。

利用者宅を訪問してのカンファレンス参加等は、ほぼ無くなった。

③居宅介護支援事業所

月間予定（利用票）や様子確認の為に自宅訪問が困難となり、介護支援専門員は、電話連絡や室内に入らず玄関先で対応するなどした。

新規介護サービス導入時をはじめとした「ケアプランの見直し」についても、関係者全員を招集してのカンファレンスにはリスクが伴い、状況に合わせて照会などを交えながらマネジメントを進めた。

認定調査については、相模原市をはじめとした各保険者からの代行依頼が徐々に再開となり、実施件数も増加（実施事業所で前年度比：300.0%）したが、前年度5件⇒15件の微増である。

④職員の休業

「学級閉鎖による子供の自宅待機」や「同居家族の陽性」といった主因により、2022年1月（感染症第6波/オミクロン株蔓延）に入ると、それまでとは比較にならぬ規模の影響が職員にみられはじめた。

高齢者に感染症が広がっていない事が不幸中の幸いであるが、今後も油断せず、これまで以上の日常的な感染症予防対策・慎重な職員就業再開判断（含：抗原検査キット活用）を継続する必要がある。

●職員休業状況（2022年1月～2022年3月）

区 分				件 数	日 数
A	託児先（学校・保育/幼稚園など）の受入れ不可			10	26.5
B	同居家族 など	I	の感染	4	24.0
		II	の就労/就学先での感染者あり	5	4.0
		III	からの本人感染	2	21.5
C	本人が接触 のあった 同居以外の 家族など	I	の感染	1	2.0
		II	の就労/就学先での感染者あり	1	2.0
		III	からの本人感染	0	0.0
D	家族以外の 感染者	I	との能動的接触（本人未感染）	1	4.0
		II	（本人感染）	0	0.0
		III	との受動的接触（本人未感染）	0	0.0
		IV	（本人感染）	0	0.0
E	本人別就労先での感染者あり （非常勤ダブルワーカー限定）			2	4.0
F	そ の 他（事業所指示での休業 ・コロナ無関係な結果など）			5	11.5
G	ショートステイピノ利用者の新型コロナウイルス感染症発症に伴う			2	14.0
H	本人の感染（就業との因果関係不明）			1	10.0
事例総件数 / 休業延べ日数				34	123.5

7. 今後の課題

環境整備のみならず、通常業務に加え職員による感染症予防に向けた日々の実践、自立型施設入居者・在宅系サービス利用者およびその家族の協力に基づく体調管理の強化、老人ホーム入所者家族の面会制限に対する理解など、多くの関係者の努力により、2021年度中にはモモ・ピノ・ナナすべての拠点において入居系事業所の新型コロナウイルス感染者は生じていない。

反面、ピノ拠点の在宅系事業所（ショートステイピノ・コミュニティセンターピノ）では、各1件ずつの感染者発生が起こってしまった。

2022年3月下旬には、世間では緊急事態宣言はおろか、まん延防止等重点措置すらも解除された状況となるが、1日あたりの感染者数のみで見れば「感染症第6波（オミクロン株蔓延）」は収束したとは言い難い現実がある。

変異を続けていくウイルスに対して、これまで行ってきた対応が正解か否かは誰にも絶対的判断は出来ぬが、少なくとも職員のみならず各事業所に関わる多くの方々がこれまでに努力してきた「感染を拡げない日頃からの生活」を続け、それをより改善していく事で、2022年度も感染予防に努めていく必要がある。

そして、2022年度こそは、法人が外部・施設間交流再開の目安として掲げている以下状況の確立を願うばかりである。

●外部・施設間交流を伴う活動の再開可能基準（目安）

- ・特効薬や有効なワクチンが完成している事
- ・上記薬品やワクチンが一般的に入手可能で、医師により処置される状況になっている事

●感染を拡げない日頃からの生活（2022年度事業計画より抜粋）

①3密（密閉・密接・密集）回避

「窓を開ける」「換気をONにする」「大勢で集まるレク・リハをしない」「人と人が距離をあける」ようにし、送迎の車中も気をつける。

②マスクは常に着用・咳エチケット等を徹底

「マスクをつけられる人は全員着用する」「マスクを外して会話しない」「マスクできない人に近づくときはフェイスシールドを装着する」ことを徹底する。

また、布マスクや布エプロンの利用は避け、手や体が汚れる場合は手袋やガウン・エプロンを装着し、介護ごとに廃棄する。

③レクリエーション

レクリエーションは声を出さないものを基本とするが、マスクをしていてもみんなで声を出すと、細かい飛沫がたくさん発生し、感染リスクが高まる事を念頭に、集合せずに、定位置で行なえる娯楽を計画する。

④手洗い・手指の消毒

「顔を触る前に手洗い・手指消毒」「トイレ後・食事前の手洗い」「ケア前後の手洗い・手指消毒」を実施。
手洗いは石鹸と流水、消毒はアルコールを用いる。

●必要ない感染対策の例

- ・次亜塩素酸水の使用（加湿器・環境消毒）
※次亜塩素酸水は消毒効果が限定的であるため、使用しない。
- ・足ふきマットや足カバー/ヘアキャップ
※足は触らないようにする。
※ケア中に頭に触れない。
- ・何度も手すりや机を消毒する。
※環境は汚染していると考え、環境に触れたら手指消毒する。

⑤毎日の健康確認

毎日の健康確認を職員と入所者に実施。

「健康確認→熱、鼻汁、咳、咽頭痛、食欲不振や下痢もチェック」「体調不良時は出勤・利用を中止」を徹底する。

⑥食事

食事中は感染しやすい事を念頭に、「会話しない」「つばが飛んでも届かない距離をあける」「換気する」ことを徹底する。

⑦感染発生時の予行演習

職員の感染対策、施設の区域分け、人員配置、衛生物資の確保、ゾーニングの具体的な手順など、事前にシミュレーションを行なう。

必要物資は1日当たりの使用数を事前に把握し、一定数を備蓄しておく。

⑧十分な換気

食堂・廊下・浴室など、入居者/利用者の体感温度に留意しつつ、1時間に2回以上換気（2方向の窓を1回数分程度全開に）する。

例：食事中 ⇒ 廊下や居室の換気

食事後 ⇒ 食堂の換気

また、施設の換気設備は常時ONにしておく。

Future Subject

これからの課題

●モモ拠点

1998年10月の開設以来、2021年度末で23年6ヶ月が経過した建物は、細部に老朽化も目立ち、今後は大規模な修繕や突発的な改修の必要性がこれまで以上に増加していくと思われる。

2022年度は、予測される事柄には計画的に対処できるよう、また、突発的な事柄にも即時対応できるようにし、高齢者福祉施設のみならず、法人の本体施設としての機能を失う事が無いよう、収支の安定はもとより、児童福祉施設とも協力し、本部業務上の役割分担・情報管理の強化・設備の有効活用などにも努めていく。

1. 特別養護老人ホームモモ

2021年2月から、ショートステイ定員の半分が本入所転換となった事によりショートステイの稼働率は上がっているが、特養の年間稼働率は89%と低い稼働率となってしまった。稼働率を上げる為に新規入所者を確保する事は当然だが、看取り介護からの退所に繋がる場合など、事前に新たな入所者の確保のみならず、本入所ベッドのショートステイ代替利用を行なうなど、出来るだけ空床をつくらぬような対策が必要である。

看取り介護については各関係機関と協力を取りながら円滑に行なっており、家族にも安心して頂けている形を取れている。しかし、3階フロアでの対応が主になっており、2階フロアでの看取り介護ができるような体制・環境を作っていく事で、居室を移動する事なく慣れ親しんだ場所で最期を迎えられる対応が可能となるように努めていく。

既存職員の資質向上をはじめとした人材育成も課題であり、限られた人員で対応できる業務内容や対応方法を明確にしていく事が必要となる。全職員で常に対応や業務内容の変更などを検討していき、自分たちで成長していけるような職場環境整備に努めていく。

2. ショートステイモモ

ショートステイ定員の半分を本入所へ転換した為、リピーターの予約取得を優先し、新規契約を断らざるを得ない状況となった。前期から中期の稼働率減少に大きく影響したが、本入所希望の長期利用人数も増えた事から、それらの方々向けに2023年1月より本入所ベッドの空床利用を行なった結果、2020年度を超える年間稼働率となった。

2022年度も特養課全体としての稼働率向上の為に、本入所希望の長期利用者や入所が必要な虐待保護ケースの受け入れをはじめ、空床利用を積極的に調整していく。

また、他施設で対応困難なBPSD症状のある方や、病状の経過観察が必要な方・在宅看取り対応中の方でも受け入れられるような看護・介護の体制を作る事が必要であり、専門性を持ち直接的な身体介護を行なえる介護職員数の育成・認知症対応力の強化などが急務である。

3. ケアハウスモモ

60歳から入居できる老人福祉施設であるが、入居者の平均年齢が86.9歳と後期高齢者が8割を占めている。

生活課題は年々と増え、様々な支援が必要となっているが、家族がとても協力的であり、介護サービスでカバーできない部分を支え、また、家族が関わることで入居者の心の支えにもなっている。

職員も常に相談援助技術の向上を目指し、入居者に寄り添い不安が少しでも解消されるように努めることが重要となる。

健康推進として、体力づくりの提案や情報発信等、事故予防や感染症対策も含め力を入れていく。

他職種協働で健康で長く自立生活が送れるように、体調管理や心の健康も意識しつつ、安全安心で快適に生活できる環境づくりをしていきたい。

社会資源としての役割を果たすためにも定員16名を維持していく必要があり、申込者の獲得が課題となる為、在宅での生活に不安を抱える高齢者に対して様々なつながりでアプローチして、広く浸透していくよう発信し、地域社会の貢献につなげていく。

4. デイサービスセンターモモ

2021年度は、新型コロナウイルス感染症による感染者数の増加や緊急事態宣言の影響等があり、新規利用者の受け入れがなかなか出来ず、在籍中の一部利用者に関しては利用を控える傾向も見受けられた。

毎年、季節などの影響による平均参加人数の変動は年内でも生じているが、その幅を少なくし、かつ一定に保つ事が今後の目標となる為、引き続き他部署・他事業所と連携し、新規獲得・既存利用者の増回に努めていく。

2022年度は日々の業務内容や一日の流れを修正し、業務の効率化を図っていく過程で、対応できる職員が限定される送迎業務については通所課としてどう見直していくのかが課題となる。

稼働率の維持と同時にサービスの質の維持・向上に努め、コミュニティセンターピノとの連携も円滑にし、双方の実績向上を図っていく。

5. 居宅サービスセンターモモ

2022年4月から3人目のケアマネジャーが入职することになり、長年目標にしていた特定事業所加算(Ⅲ)の算定が可能となった。

算定にあたり、24時間連絡体制の確保・地域包括支援センターが実施する事例検討会の参加・週1回以上の会議など、いくつかの要件を満たす必要があるため、要件のひとつでもある主任ケアマネジャーの更新も含め、体制が維持出来るようにしていく。

団塊の世代が後期高齢者になるなど、いわゆる2025年問題を迎えるにあたり、地域包括ケアシステム導入への準備を進めるため、各高齢者支援センターとの連携を強化して、8050問題など様々な問題にも対応出来るようにケアマネジャーのスキルアップに努めていく。

新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から、通常の訪問やサービス担当者会議の開催は困難であったが、徐々に緩和してきている。しかし感染者数の下げ止まりなど気が抜けない状態のため、引き続き感染防止に留意したうえでケアマネジメントの質が低下せぬように、適切な措置が講じられるように、周知徹底していく。

同時に、自法人施設系事業所の空き状況を把握し、入居相談・紹介等を行わない、各事業所の稼働率向上・安定にも協力出来るようにしていく。

●ピノ拠点

地域密着型特養・認知症対応型通所介護といった、報酬単価が高めの事業が集約されている一方、小規模であるが故に稼働率の低下が収入に与える影響はモモ拠点の比ではない。

また、報酬単価が高いという事は、従来型特養・通常デイとは異なる価値を見出す事が出来なければ、入居・利用希望者は集まらない。

現状モモと大きく異なる価値を見出す事は出来ていないが、ユニット型のメリットを大きく打ち出せるような体制づくりをしていきたい。

6. コミュニティホームピノ

地域密着型特養として地域に根差し、地域に開かれた施設作りが今後も重要となる。

2013年4月の開設から9年が経過し、開設初年度からの入居者は3名となっており、その心身状況も低下している。

新規入居者は介護度が高く、入居時から全介助の方が増えている反面、ユニットとしての職員配置はユニット1人対応が主とならざるを得ない状況である現行の体制では、サービス提供・リスク回避に限界が見られている。

2019年度より可能となった看取り対応も、今後は加算取得が可能となる状態まで実施プロセスを構築し、一層の質の向上を図る必要があるが、雇用情勢も厳しく、派遣職員が多数を占めている状況の中、サービスの質の向上・運営面の見直しが必要となっている。

待機者の減少も継続した課題であり、申込者における「将来的に入所希望」の方の割合が過半数を占めている状況ではあるが、それは時に「申込後即入所が可能」な場合もあるので、これを利点として訴求していきたい。

7. ショートステイピノ

2021年度は前年度同様に長期での利用者を積極的に受け入れる事で稼働率の大幅な低下は回避が出来たが、前年度に比べリピーターの利用者のADLの低下が見られ、施設入所へ移行される利用者が多く、稼働率の低下に繋がった。

新型コロナウイルスの感染がユニット内で起きた事もあり、感染症対策もより一層の強化が必要となる。

利用者のADLや精神面の低下・認知症状の進行に伴い、介助量の増加が見られ現存の人員配置では限界があり、安全に過ごすことが出来る環境を提供する事が困難になりつつある。

職員間でのコミュニケーションや情報の統一などに対して、職員間での見解相違や誤解が生じてしまう場面も見られはじめている為、2022年度も人材の確保およびその育成が大きな課題となる。

8. コミュニティセンターピノ

認知症対応型通所介護として2013年4月の開設より9年が経過したが、2021年度も厳しい運営状況であった。

2021年5月にはコロナウイルスによるクラスターが発生し、臨時休業期間が生じた。さらに、それが利用者にも影響を与えたため、稼働率が回復するまでに6ヶ月程度の期間を要した。

年度を通して稼働率は常に50.0%を下回っており、利用者登録数11人（2022年3月末）・1日平均利用者数4.2人と低迷しているため、新規登録人数の増加、利用日の増回を直近の課題と考え対応していく必要がある。

新規獲得の他、2022年度は定員（1日12人）の中で、既存利用者の臨時参加受け入れの推進や増回依頼などのニーズにも柔軟に応えつつ、デイサービスセンターモモ・居宅サービスセンターモモ・ケアステーションナナとの連携を図り、在宅部として課題解決に取り組む必要がある。

また、2023年4月には他事業への転換が可能となる。

- ①認知症対応型通所介護として残存。
- ②地域密着型通所介護への転換。
- ③その他の事業への転換。

これら①～③を念頭に置き、早期に状況判断をしなければならない。

●ナナ拠点

ケアハウスモモを有する当法人にとっては、同じ自立型施設ではあっても、費用負担面でケアハウスよりも高額となる。フレイグラントオリーブナナの入居率を高めるためには、先述の「ピノ拠点がモモ拠点とは異なる価値を見出す」以上の努力が必要になる。

また、サービス付き高齢者向け住宅というと、外部サービスを入れて「身体介護サービスを必要な時に必要な分だけ受ける事ができる」印象が強く、特定施設になって24時間365日スタッフが常駐している施設も少なくない。

2022年度も、入居者獲得の為に「ケアハウスモモ以上」且つ「近隣のサ高住以上」の優位性を確立していく必要がある。そのためには、地域密着型拠点の「ピノ以上」に、地域に根差し、地域に開かれた施設作りが求められる。

9. フレイグラントオリーブナナ

開業以来未入居の西側の部屋6室の家賃を値下げしたことが影響し、2022年3月末時点の入居者数は23名と、採算ベースである稼働率70%以上をようやく達成できた。更に空室を埋めるためには、残りの未入居部屋も家賃の値下げが必要と考えるが、値下げに関しては慎重に検討していく。

これまで同様、感染症対策を強化したうえで満室に向けた見学会を開催していく等、引き続き施設の認知度を上げる努力が必要である一方、入居者の安心・満足度を高める対策に取り組まなければならない。

10. ケアステーションナナ

2022年3月末時点で48名の登録者がおり、2019年12月より稼働率は安定して90%超を維持している。

2018年9月の居宅介護支援事業所としての再開以降、開設5年目となる2022年度も引き続き積極的に新規獲得を目指し、稼働率100%を目指していく。

自法人在宅サービスであるデイサービス・ショートステイの利用者はいるが、モモ・ピノとも特定事業所集中減算の適用を考慮しても利用できる枠は未だ残されているため、公平中立を念頭に置いて質の高いケアマネシメント・利用者のニーズに合ったサービスの提供を行っていく。

同時に、自法人施設サービスの特別養護老人ホームモモ・コミュニティホームピノ・ケアハウスモモ・フレイグラントオリーブナナの空き状況も把握し、入居相談・紹介等を通して各施設の稼働率安定に協力出来るようにする。

介護保険法の改正で、2021年4月より事業所の管理者が主任介護支援専門員でなければ事業継続が出来なくなる予定であったが、猶予期間が5年延長されている為、期間内の主任介護支援専門員の資格取得研修参加にも注力し、将来的な事業の継続に繋げていく。



Nursing Home

施設ケアマネジメント(モモ)

●会議開催日数

平均して3回/月、延べ41日/年の開催日数となっている。

新規入所者数は2020年度と比べ2名の増加に留まっており、入退院による状態変化や身体機能低下による臨時開催を含めても、昨年とほぼ変わらない開催日数にて推移している。

2022年度も、利用者及びその家族主体でのスケジュールリング（介護保険更新時期との連動及び状態変化による）を継続していく。

●ケース会議の役割

ケース会議を日常生活の様子を家族に伝える場、家族から入居前の生活歴等を伺う場として活用し、今後のケアに繋げていく。また、これまで同様に家族と施設職員との情報交換の場としての役割も担い、家族と職員間のコミュニケーションを図る場として重要な会議と位置づけ定期開催していく。

ケース会議は本人・家族の意向を確認し、今後のケアの方向性を定め、具体的に提供するサービスを提案し、同意を得る契約の場でもある。

しかし、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策として、2021年度に於いても前年同様に紙面開催となってしまったケースが多く、家族の出席率も37%に留まっている。

面会制限もあり全く様子が分からない状況での紙面開催となる為、日常生活の様子や課題抽出に至った経緯について出来るだけ詳しく会議録に記載をし、家族へ送付する事としている。

会議開催日数

単位：日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ
2021年度	4	3	3	3	5	4	2	4	3	3	2	5	41
2020年度	3	3	3	5	3	3	4	4	2	3	3	3	39
2019年度	2	4	4	3	5	4	3	3	3	2	4	4	41

※紙面開催含む

計画作成回数

単位：人

	初回	2回目	3回目	4回目	5回以上	延べ
2021年度	21	17	10	9	21	78
2020年度	14	15	10	7	27	73
2019年度	12	13	6	3	25	59

対象者数

単位：人

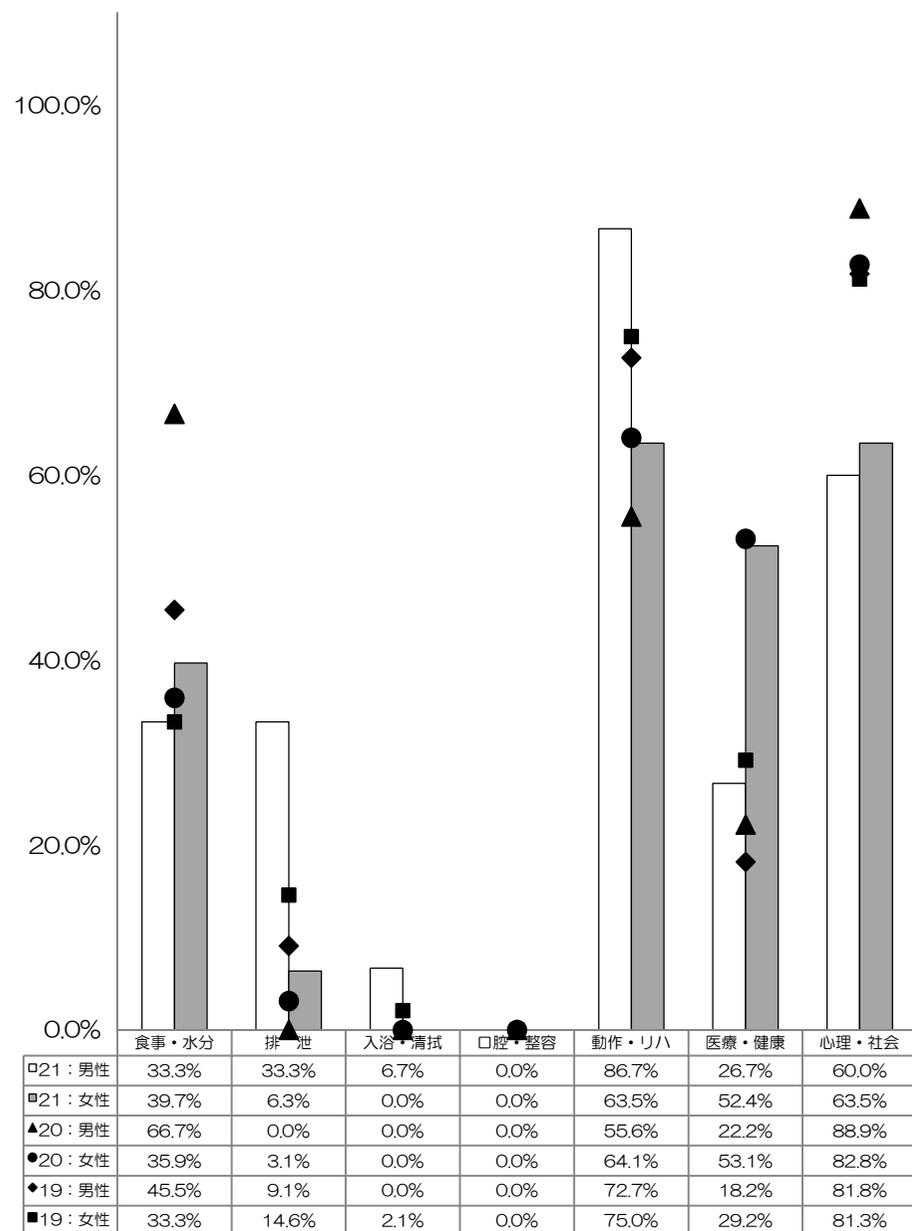
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ	平均
2021年度	8	8	6	7	7	8	3	8	6	6	3	8	78	6.5
2020年度	7	5	6	9	7	5	6	5	5	5	5	8	73	6.0
2019年度	2	6	7	6	8	7	3	3	3	6	4	5	60	5.0

家族（含：後見人等）出席率

単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2021年度	0	63	17	43	57	25	67	88	83	0	0	0	37
2020年度	0	0	33	0	14	80	83	80	0	0	0	0	24
2019年度	100	100	86	83	88	100	67	100	100	100	75	60	88

項目別ケアプラン立案傾向（男女別 / 割合）



●ケアプラン立案傾向からみた入居者像

三団体方式における「ケアチェック表」を基に、当施設における課題分析・計画立案状況から入居者像を見出してみる。

※実数値はひとりあたり複数回答が存在するために省略。

※項目別の立案件数を、各年度の延べ対象者数で割ったものを%表示。

「動作・リハビリ」「医療・健康」「心理・社会」の項目でのニーズ（課題立案）の割合は、2020年度同様非常に高くなっている。

「動作・リハビリ」面では認知症の進行と、それに伴うADL低下による転倒・転落リスクの高い方が多い事を表している。

「心理・社会」面では精神的な面でのフォローが必要な方に加え、余暇活動等による日常生活の充実を求める方が多い事も背景にあると思われる。

「医療・健康」面では、看取り介護の実施件数の増加に伴い、吸引や褥瘡など医療的処置の必要な方が増加した事に加え、看取り状態で入所されてくる新規入所者の増加も要因の一つと考えられる。

「食事・水分」面のニーズも2020年度とほぼ同様の高い割合を示しており、入所者の高齢化に加え、看取り介護の実施により経口摂取が難しくなっている方の入所継続が可能となった事が要因と考えられる。

物理的にも心理的にも介助量が多い入所者の増加は継続しており、また、重度化も進んでいる。加えて、看取り介護の実施により、重度者の割合は今後もさらに増えていくと予測される。

N Home ursing

特別養護老人ホームモモ

新型コロナウイルス感染症の影響が続いている中で、2021年度も入所者への感染者はゼロで経過した。職員が日々感染症に関して注意・対応している事でいい結果となっていると思われるが、いつ発生してもおかしくない状況である為、日々対策やその見直しを適宜図り、全員が迅速な対応が取れるように引き続き強化していく。

2021年度は、年間稼働率が89%と低い水準で経過してしまっている。新規入所者より退所者が多く出てしまった事が要因の一つとなっている。

看取り対応者の退所が多く状況が読みにくい事もあるが、退所後すぐに入所に繋げられるように、迅速な手続きを行なっていく必要がある。年間稼働率の向上・満床実現の為に、退所を見越した新規入所者の確保を行なえるような待機者管理の実施に努めていく。

特養課としてまだまだ課題や問題は多くみられており、全ての問題に取り組む事が難しい年となってしまった。そのことを真摯に受け止めていき、問題改善に向けて日々改善に努めていく。

●2021年度重点課題への達成度

① 空床ゼロに向けた待機者管理

2021年度は、新規入所者が15名・退所者が18名となり、新規入所者数が退所者数を下回り年間稼働率 89.8%と低い水準で経過してしまった。季節の変わり目(夏前・冬前)での退所者が例年より増加し、過去最多の退所者数となってしまっており、コロナ禍での健康診断等の遅れも考慮し事前に新規入所の案内も行なっていたが、案内途中でのキャンセル等もあり、新規入所者の受け入れが間に合わず、結果的に稼働率低下に繋がってしまった。

② 看取り介護実施の際の連絡調整

2021年度は看取り介護体制を定着する事ができ、年度内で14名をお見送りさせて頂いている。2020年度の8件に対し175%となっており、延命を希望せず看取り対応を依頼される家族等が殆どである。

家族・医療機関・葬儀関係者との連携等もしっかり取れており、家族からも満足頂けている看取り介護を提供出来ている印象である。

改善点も見つかっている事から、家族に満足頂ける看取り介護提供を踏まえ、施設内でさらなる協議をしサービス提供強化を検討していく。

③ 職員教育/職場環境改善の強化

2021年度も引き続き正職員雇用は厳しい状況であり、非常勤職員や派遣契約職員の雇用を行なっており、その定着率は徐々に上がってきている。定着率が上がってきている要因と考えられる為、引き続きより良い職場環境を作っていく必要がある。

業務改善に関して徐々に変更は出来ている事もあるが、まだまだ、臨機応変に変更していく事が出来ていない場合もあり、リーダーを中心として職員の意見をまとめながら、迅速に対応をしていく。

④ 外国人技能実習生の受入れ

新型コロナウイルス感染症の影響で、2021年度中には外国人技能実習生を受け入れる事は出来なかったが、2022年5月に受け入れ予定となっている。

初の試みを成功させられるように、各関係機関と協力していく。

1. 入所待機状況

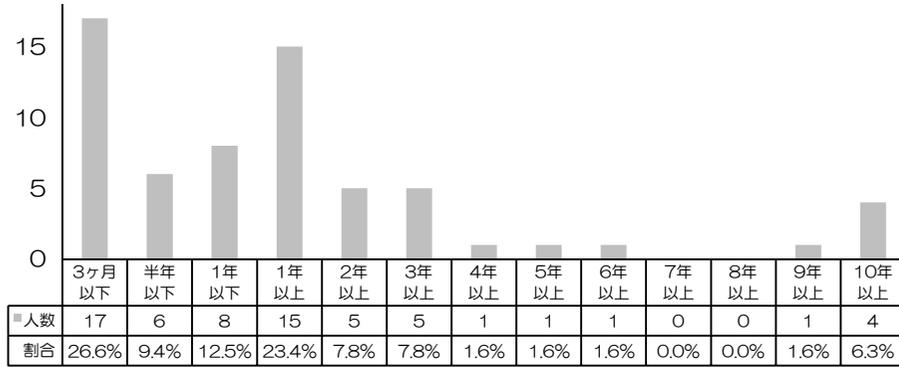
a. 地域別・待機期間別待機者

待機者数：64 人（男性：28 名・女性：36 名）

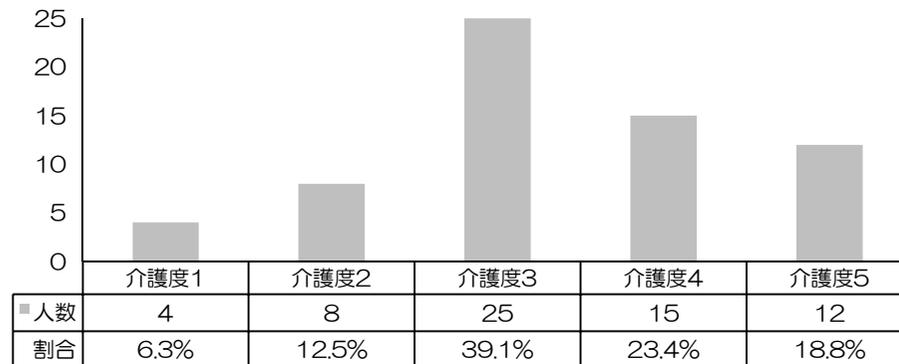
地域別数：区内/47 人・市内/14 人・市外/3 人

（2021 年度申込者：31 名）

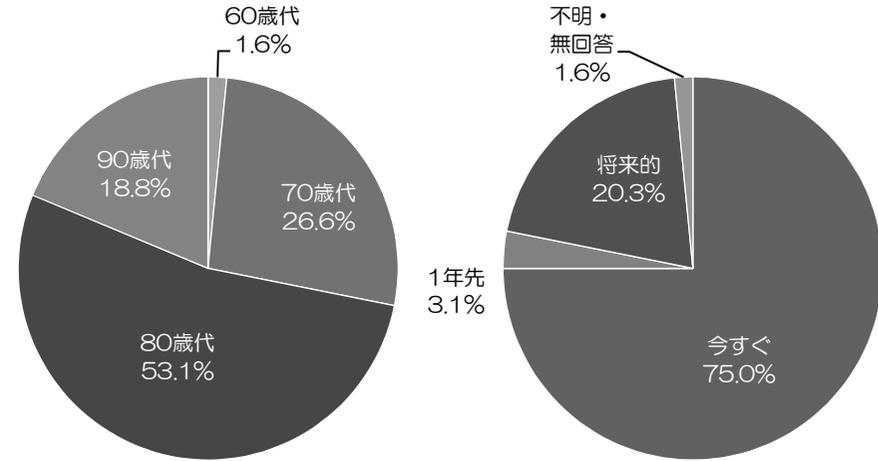
待機期間



b. 待機者介護度（除：要支援移行・期限切）



c. 待機者年齢・入所希望時期



入所希望時期 介護度別構成

単位：人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
今すぐ入所したい	1	2	22	13	10	48
半年先ぐらいには入所したい	0	0	0	0	0	0
1年先ぐらいには入所したい	0	0	0	2	0	2
将来的に必要なになった時に入所したい	2	6	3	0	2	13
不明・無回答	1	0	0	0	0	1
合計	4	8	25	15	12	64

※2021 年度新規入所者 15 名における待機期間

平均：143.8 日間（最長：484 日間・最短：28 日間）

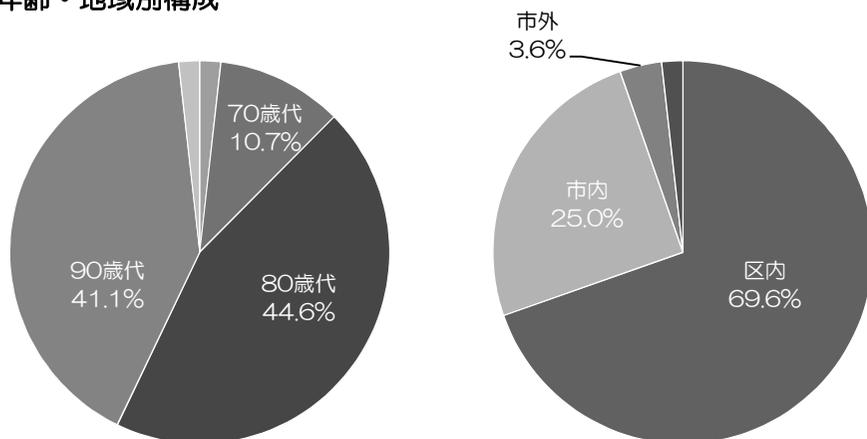
※2022 年 3 月 31 日現在の最長待機日数：7302 日間

2. 入所者の現況

(2021年度実績者延べ：73名)

2021年度延べ入居者の平均介護度は、2020年度より低下しており、14名の看取りで要介護度の高い方の退所が続いた事が要因の一つと考えられる。年齢に関しては、2021年度は男性の90歳代の入所が比較的多く、平均年齢が上がる結果となった。

a. 年齢・地域別構成



●年齢構成 単位：人（延べ） / () 内は前年度数

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0 (0)	0 (1)	3 (2)	6 (8)	4 (1)	0 (0)	13 (12)
女性	0 (0)	1 (0)	6 (6)	30 (28)	22 (22)	1 (2)	60 (58)
全体	0 (0)	1 (1)	9 (8)	36 (36)	26 (23)	1 (2)	73 (70)

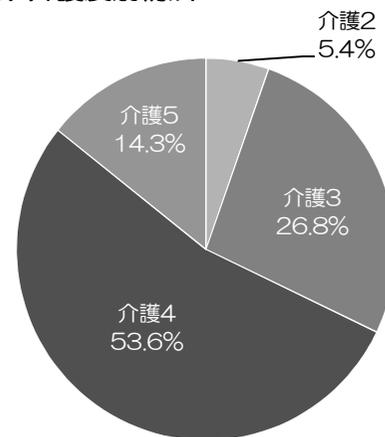
●地域 単位：人（延べ）

地域	男性	女性	合計
相模原	12 (12)	55 (55)	67 (67)
その他	1 (0)	5 (3)	6 (3)
合計	13 (12)	60 (58)	73 (70)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	93歳(92歳)	74歳(68歳)	85歳1ヶ月(82歳5ヶ月)
女性	100歳(108歳)	66歳(73歳)	88歳6ヶ月(88歳2ヶ月)
全体	100歳(108歳)	66歳(68歳)	87歳11ヶ月(87歳3ヶ月)

※ () 内は前年度数値

b. 介護度別構成



看取り対象者（介護度の高い方）の退所が相次ぎ、全体の平均介護度は低下している。

業務効率化を踏まえ、看取り対象者等の介護度の高い方の3Fフロアへの居室変更を行なった為、3Fフロアの平均介護度は4.08。

2Fフロア平均介護度3.39と平均介護度の差が生まれている。

全体

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0	0	2	8	2	3.92(3.91)
女性	0	3	19	24	15	3.85(3.89)
合計	0	3	21	32	17	3.86(3.91)

※ () 内は前年度数値

2F（特養入所・短期入所混在）

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男性	0	0	1	1	0	3.50	2
女性	0	2	9	10	0	3.38	21
合計	0	2	10	11	0	3.39	23

3F（特養入所のみ）

単位：人（延べ）

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男性	0	0	2	7	2	4.00	11
女性	0	1	9	14	15	4.10	39
合計	0	1	11	21	17	4.08	50

c. 身体障害手帳

単位：人（延べ）

	重度		中度		軽度		合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
男性	2	2	0	1	0	0	5
女性	4	0	1	0	0	0	5
合計	6	2	1	1	0	0	10

内訳	肢体 不自由	心臓機 能障害	言語 障害	視覚 障害	聴覚 障害	精神 障害	合計
	4	3	0	1	2	0	

※重複認定障害者 1 名有り

d. 健康保険

単位：人（延べ）

後期高齢者医療	国保	健保	生活保護	合計
		被扶養者	医療扶助	
69	2	0	2	73

e. 介護保険負担限度額認定

単位：人（延べ）

第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階	合計
3	10	8	7	45	73

3. 入所者の生活状況

2021年度の新規入所者数を退所者数が上回ってしまっており、また、新型コロナウイルス感染症の影響で、新規入所候補者の受け入れに時間が掛かる状況が続き、年間稼働率は89.8%となってしまった。

2021年度の退所者内訳として最多は看取り対象者14名となっており、前年度比175%とその件数も増加している。

療養型医療施設転院の4名に関しては、体調不良による医療機関入院後、医師の勧めでそのまま療養型医療施設転院となっている。

a. 入退所状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	0	3	2	1	0	3	1	2	0	0	1	2	15
退所	0	2	2	2	1	1	3	2	3	1	0	1	18

※退所理由：看取り / 14名

療養型医療施設転院 / 4名

長期入院 / 0名

救急搬送後死亡 / 0名

施設内死亡 / 0名

b. 看取り

単位：人

件数	年齢	性別	介護	在園日数	呼吸停止発見 (時刻)	死亡診断 (時刻)	ご遺体搬送 (時刻)	曜日 昼夜
1	84	女	5	89日	2021.05.21 (07:55)	2021.05.21 (08:50)	2021.05.21 (10:50)	金 日中
2	89	女	5	1878日	2021.05.27 (19:23)	2021.05.27 (20:05)	2021.05.27 (21:15)	木 夜間
3	88	男	4	1068日	2021.06.10 (10:15)	2021.06.10 (12:50)	2021.06.10 (14:25)	木 日中
4	96	女	3	562日	2021.07.09 (04:37)	2021.07.09 (07:00)	2021.07.09 (08:37)	金 夜間
5	74	女	5	78日	2021.07.27 (22:40)	2021.07.27 (23:25)	2021.07.28 (00:20)	火 夜間
6	89	女	4	80日	2021.08.14 (06:15)	2021.08.14 (07:00)	2021.08.14 (07:47)	土 夜間
7	87	女	4	2386日	2021.09.25 (04:25)	2021.09.25 (05:26)	2021.09.25 (07:18)	土 夜間
8	86	女	5	1191日	2021.10.06 (17:55)	2021.10.06 (19:44)	2021.10.06 (20:50)	水 夜間
9	89	男	5	2220日	2021.10.11 (05:10)	2021.10.11 (06:44)	2021.10.11 (07:25)	月 夜間
10	88	女	3	140日	2021.10.21 (04:40)	2021.10.21 (05:40)	2021.10.21 (07:35)	木 夜間
11	94	男	4	12日	2021.11.23 (13:05)	2021.11.23 (16:24)	2021.11.23 (17:45)	火 日中
12	80	女	5	2019日	2021.12.11 (06:15)	2021.12.11 (07:18)	2021.12.11 (08:40)	土 夜間
13	95	女	3	2906日	2021.12.30 (15:30)	2021.12.30 (16:44)	2021.12.30 (17:45)	木 日中
14	90	女	3	397日	2022.01.20 (16:20)	2022.01.20 (17:37)	2022.01.20 (20:10)	木 日中

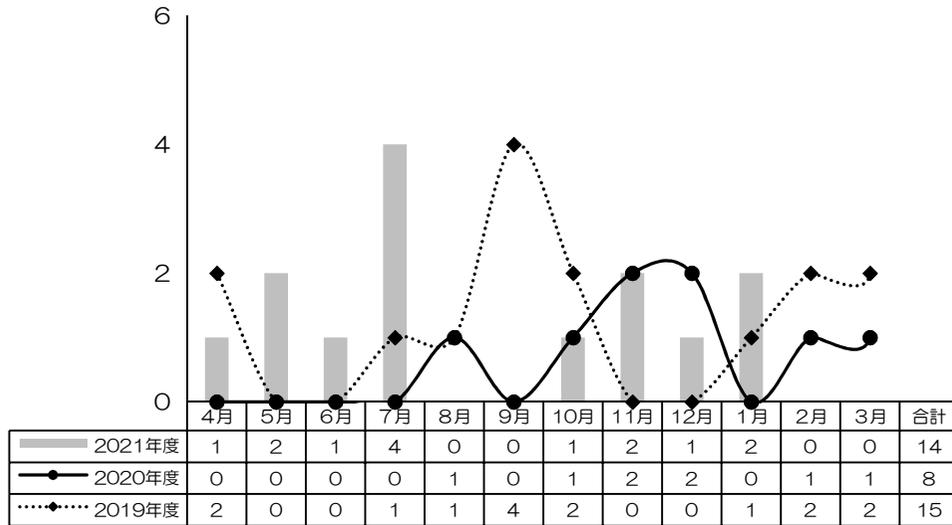
2021年度看取り対応者は14名となり、昨年度8名に比べ増加。

対象者14名のうち夜間の呼吸停止発見が9件あったが、宿直者や関係機関との連携・協働も滞りなく、安定した看取り介護が来ている。

また、呼吸停止発見から死亡診断・ご遺体搬送までも滞りなく終了している状況が続いており、夜勤者・宿直者の心労も軽減している。

c. 入院状況

単位：人



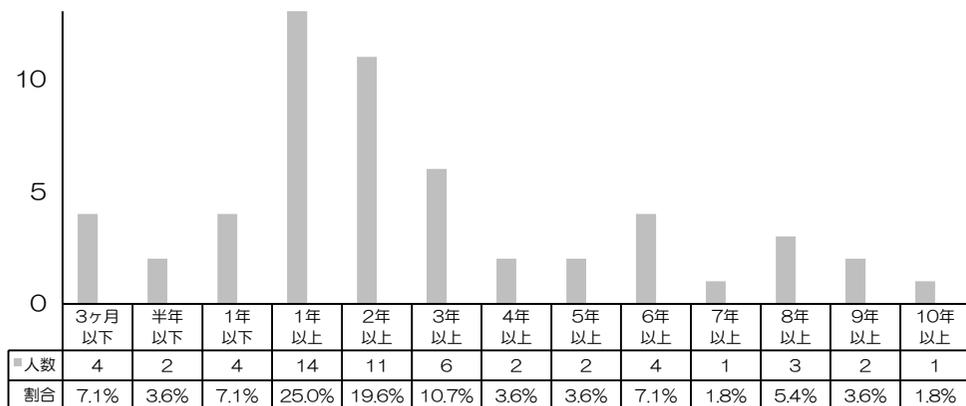
※2021年度延べ入院日数 440日

2021年度に関しては、昨年度の延べ入院日数151日と比較すると倍以上に増えている。

要因としては1ヵ月を超える長期入院者が6名いた事が挙げられ、うち1名は2022年4月現在も入院加療中である。それを除くと104日（平均13日・延べ8人）の入院日数である。

d. 入所期間

単位：人

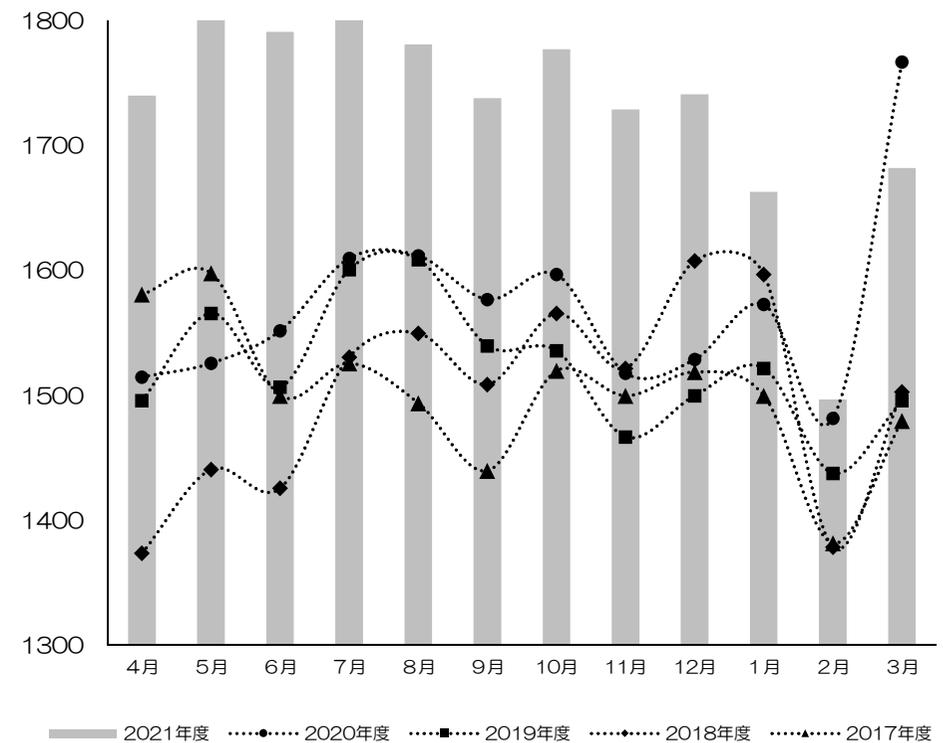


e. 在籍状況（入院・外泊を含む）

単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2021年度	1740	1832	1791	1811	1781	1738	1777
2020年度	1515	1526	1552	1610	1612	1577	1597
2019年度	1496	1566	1507	1601	1609	1540	1536
年度	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比%
2021年度	1729	1741	1663	1497	1682	20782	110.2%
2020年度	1518	1529	1573	1482	1767	18858	103.2%
2019年度	1467	1500	1522	1438	1496	18278	101.5%

単位：人（延べ）



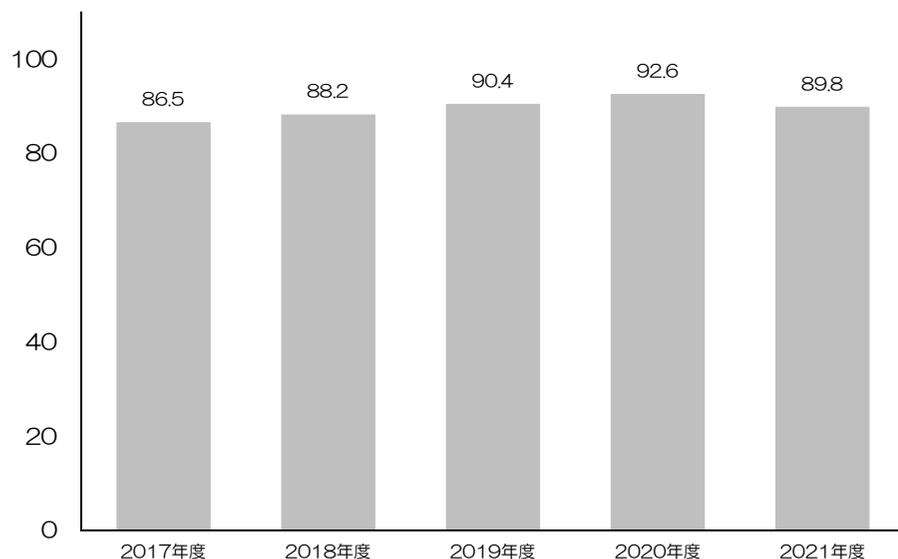
※2021年2月1日より、短期入所転換により本入所定員62名となる。

在籍人数の総数は前年度を上回るが、稼働率は低くその改善が今後の課題である。

f. 稼働率比較（入院・外泊を除く）

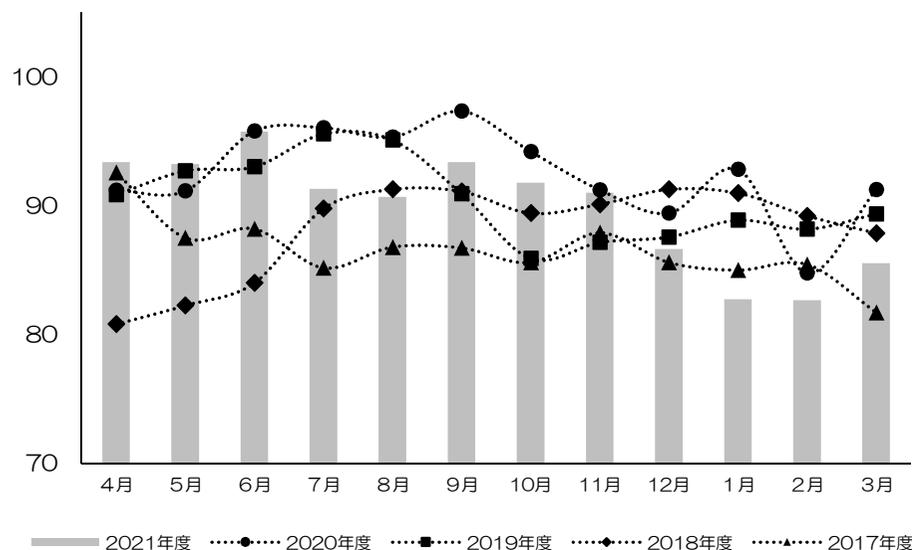
（年間平均稼働率）

単位：%



（月間稼働率）

単位：%



g. 認知症の状況

単位：人

HDS-R 得点	正常範囲		準認知症		認知症			合計
	30~ 26点	25~ 21点	20~ 16点	15~ 11点	10~ 6点	5~ 0点	不能・ 未検査	
6月	2021年度：未実施							
8月	2021年度：未実施							
12月	2021年度：未実施							

h. 日常生活動作状況

単位：人

看取り対象者の増加に伴い、全体的な介助量増加が認められる。

特に、食事介助者・オムツ対応者・車椅子対応者の増加が顕著である。

項目	状態及び人数					
視力	普通/不明	55	弱視	1	全盲	0
聴力	普通	46	やや難聴	8	難聴	2
言語	普通	53	やや不自由	2	不自由	1
意思疎通	普通	28	多少困難	12	困難	16
食事	自立	32	一部介助	8	全介助	16
入浴	自立	6	一部介助	26	全介助	24
着脱衣	自立	6	一部介助	25	全介助	25
排泄	自立	8	一部介助	29	全介助	19
オムツ等	なし	7	パット等	51	オムツ	38
移動	自立	0	杖・歩行器	9	車椅子	48

※パット・オムツ併用者・夜間オムツ対応者あり

i. 外出・外泊の状況

単位：人

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言下の制限等に伴い、面会は予約制を基本としており回数は低下している。

外出・外泊に関しては家族の理解も得られ0件となった。

来訪回数	0~ 10回	11~ 20回	21~ 30回	31~ 40回	41~ 50回	51~ 60回	61回 以上
	63	10	0	0	0	0	0

※差し入れの持ち込み時での来訪等含む。

外泊	年末年始	0	その他	0	合計	0
外出	年末年始	0	その他	0	合計	0

※外出は家族・関係者によるもの。施設行事による外出は含まず。

j. 月例行事催行状況

種別	実施頻度	行事内容
誕生会	月1回(第4水曜日)	当月の誕生者(短期入所含む)を祝福。
家族食事会	中止	誕生者家族を招いて昼食を個別に楽しむ
レクリエーション	毎日	風船バレー・体操・談話・カラオケ・合唱 囲碁・将棋・オセロ・ボール遊び など
理髪室	月1回(第2月曜)	利用希望者(散髪・髭剃り(女性のみ))
喫茶室	中止	普段とは変わった飲み物や甘味類を楽しむ
合唱会	中止	昔懐かしい曲等伴奏に合わせての合同合唱

※中止行事の理由は新型コロナウイルス感染症予防対策である。

k. クラブ活動(月例)

種別	実施頻度	実施場所
生け花	月2回(第1・3水曜日)	3階リハビリコーナー・ボラ講師指導
書道	新型コロナウイルス感染症予防対策に伴い、ボランティア・講師の来訪を中止した結果、活動自体也未実施となる。	
音楽クラブ		

l. 会議(定例/含:職員向け)

種別	開催頻度	検討内容
特養課会議	月2回(第2・4金曜日)	介護・看護・栄養・短期入所 各部署間の連絡調整及び認識統一
リーダー会議	月1回(第2金曜日)	各フロアの状況報告・部署内連絡事項・予定/改善事項を検討
給食会議	月1回(第4水曜日)	食ごとにまつわる事項の検討
事故対策委員会	月1回(第2金曜日)	発生した事故の分析や事故防止の検討
拘束検討委員会	月1回(第2金曜日)	拘束状況代替策や改善の検討
ケース会議	年1回/一人 基本 状況変化時は随時	入所者の現況分析・ケア目標や計画検討
感染症対策委員会	1回/3ヶ月(第2金曜日)	流行性感染症/一般感染症についての対策・予防等の検討
褥瘡対策委員会	1回/3ヶ月(第2金曜日)	褥瘡への対策・予防の検討
食中毒対策委員会	1回/3ヶ月(第2金曜日)	食中毒への対策・予防の検討
施設部会	月1回(毎週火曜)	特養/ケアハウスの施設における状況や結果及び今後の対応策の検討

m. 苦情

2021年度は0件。

n. 年間行事/その他予定(入所者の生活に直接関わるもの)

開催日	行事	内容
4月予定	花見外出	新型コロナウイルス感染防止に伴い中止
5/13	春季健康診断	入所者の健康診断
6月予定	風船バレー大会	新型コロナウイルス感染防止に伴い中止
8/25	スイカ割り	入居者と一緒にスイカ割り。おやつに提供
9月予定	神輿見学	新型コロナウイルス感染防止に伴い中止
	カシオペア祭	
9/22	夏祭り	入所者と一緒に夏祭り
10月予定	施設対抗運動会	新型コロナウイルス感染防止に伴い中止
12/24	クリスマス会・おやつレク	入所者と一緒におやつ作り。プレゼントの提供
12/25		
1/1~3	初詣	新型コロナウイルス感染防止に伴い中止
1月予定	餅つき大会	

※季節/祝日等に伴う「祝膳」は特養課行事としての記載を省略:栄養課報告にて代替え

※新型コロナウイルス感染症予防対策の為、行事等中止が多く見られている。

※6/10・6/17に新型コロナウイルスワクチン接種(1回目)実施

※7/1・7/8に新型コロナウイルスワクチン接種(2回目)実施

※1/12に協力医療機関によるインフルエンザ予防接種実施

※2/10・2/24に新型コロナウイルスワクチン接種(3回目)実施

4. 医務室

a. 疾患状況

単位：人（延べ）

疾患名	人数	疾患名	人数
心疾患	3（11）	歯科疾患	56（48）
消化器疾患	9（5）	ガン疾患	5（4）
脳神経疾患	1（2）	糖尿病	2（3）
精神科疾患	26（17）	高血圧症	20（17）
整形外科疾患	11（13）	慢性間接リウマチ	1（2）
腎機能疾患	3（1）	ホルモン疾患	0（0）
肝機能疾患	0（1）	老人性認知症	53（48）
脳血管障害	10（8）	泌尿器科疾患	6（3）
呼吸器疾患	6（2）	皮膚科疾患	4（8）

※（ ）内は前年度数値

b. 看護処置

単位：人（延べ）

処置内容	人数
創処置	10（7）
軟膏塗布	52（48）
点眼	16（20）
坐薬挿入	3（2）
湿布	3（2）
フランドルテープ	1（1）
吸入	1（0）
フットバス	0（0）

※（ ）内は前年度数値

c. 服薬管理

単位：人（延べ）

時間帯	人数
朝食時	63（53）
昼食時	42（38）
夜食時	60（53）
就寝前	14（14）
便秘時	56（52）

※（ ）内は前年度数値

d. 認知症行動障害

単位：人（延べ）

状態	人数	状態	人数
自傷行為	0（0）	人物誤認	0（0）
夜間せん妄	2（2）	作話	5（1）
興奮・奇声	3（0）	摂食異常	12（2）
徘徊	2（3）	盗癖・収集癖	2（3）
攻撃的行為	2（3）	被害妄想	3（3）
不潔行為	4（7）	躁鬱状態	0（0）

※（ ）内は前年度数値

e. インフルエンザ 予防接種

単位：人

入所者数	接種数
55	51

※3名入院・1名家族希望により4名未接種。

f. 医療管理者

単位：人（退居者含）

処置内容	人数
胃瘻（造設者含む）	0（0）
留置カテーテル	5（2）
膀胱瘻	0（0）
喀痰吸引	4（9）
褥瘡	2（7）

※（ ）内は前年度数値

g. 定期診察

提携医	精神科医	相明会歯科
木曜日/月2回	月2回	毎週水士

S Stay hort-term

ショートステイモモ

2021年度の年間稼働率は77.1%で、2020年度比で+17.4%(前年59.7%)と、長期利用者の確保・本入所居室の空床利用により稼働率が微増している一方で、2020年度は14名であった特養本入所移行者が、2021年度は5人(うち長期利用者4名)と減少している。

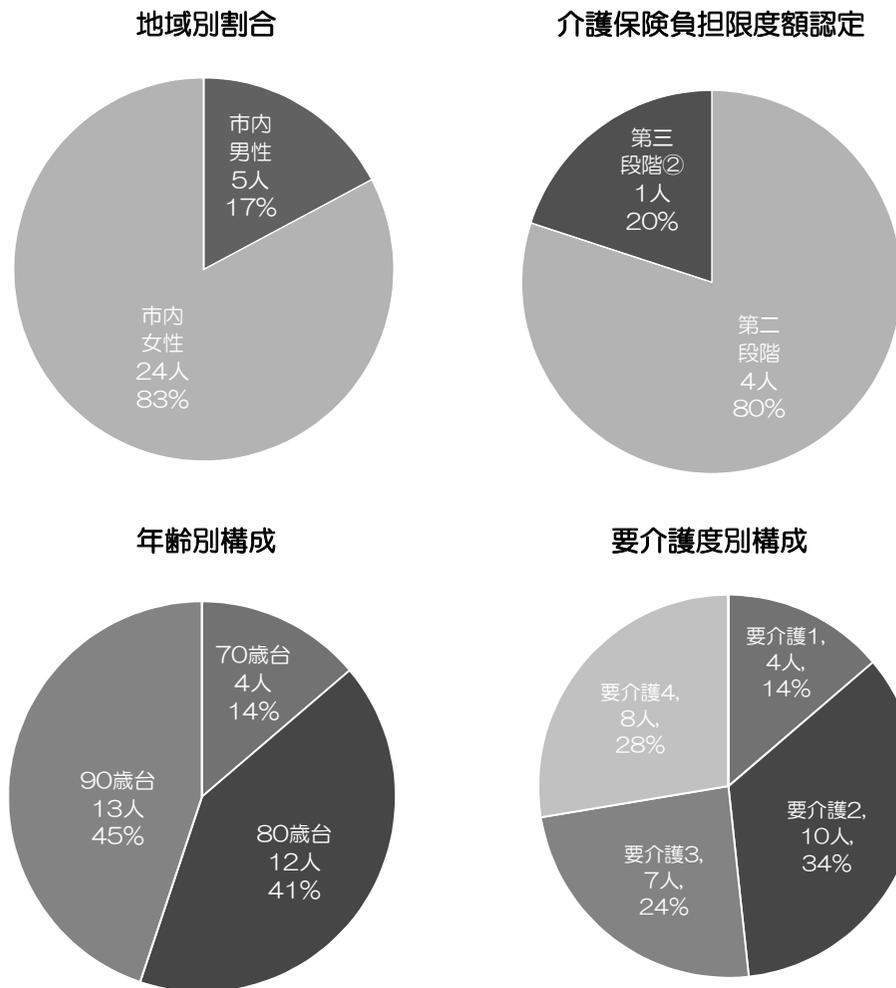
2021年4月より、新型コロナウイルス感染者が発生・休業となってしまうサービス事業所の利用者(家族)からの問い合わせが増加するが、今まで利用していたサービスが営業再開するまでの期間限定長期利用を希望される方が多く、当事業所ですぐにまとまった空床が確保できず、居室の整理をしながら可能な時にその受け入れを行なった。

その効果もあり、9月より稼働率も徐々に増加し、特養へ入所を希望される長期利用者も増加してきた事から、その方々を2022年1月より特養空床利用にて受け入れを開始し、全体の稼働率は急増する事となった。

一方で新規のショートステイ利用相談は少なく、定期利用者(リピーター)の利用予約がない期間のベッドが空いてしまう傾向もみられている為、今後は長期的な稼働率の確保を踏まえた受け入れが重要となる。

2022年度は継続して職員の接遇・介護力・認知症対応力の向上を図り、利用者が安心して定期的に利用をして頂けるように、家族・関係機関にも信頼を得ることができる職員育成を最重要課題として取り組んでいく。

1. 利用者プロフィール (年度内実績者 29名の内訳) ※2022.03.31 現在



平均年齢：88.9歳【最高齢：99歳(女性) / 最年少：73歳(男性)】
 施設部関連 / ケア入居者(0人)・特養本入所移行(5人)
 在宅部関連 / デイ併用(12人)・居宅モモ/ナナ担当(延：8人)

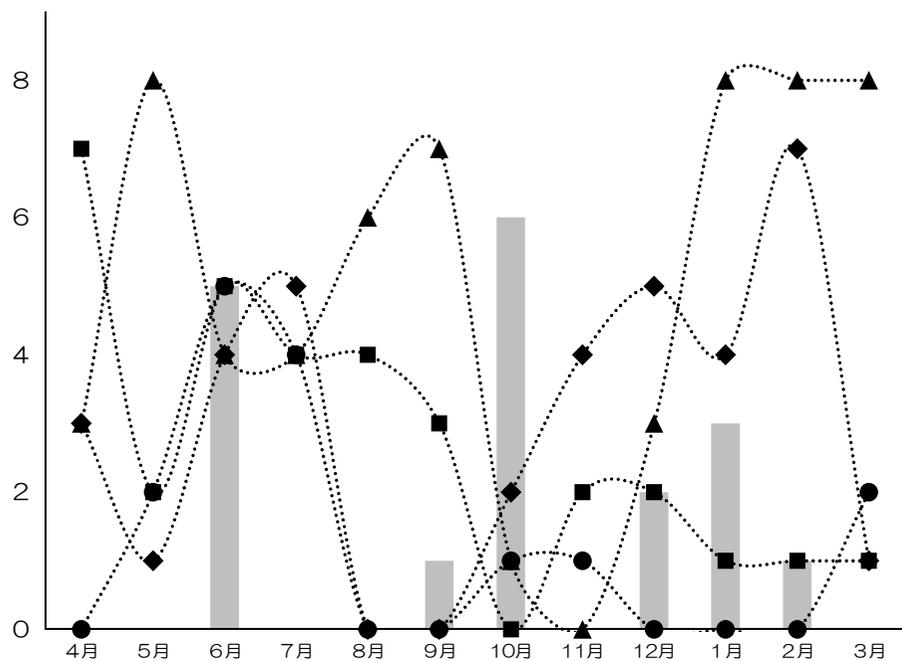
2. 年間の利用状況

a. 契約数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
女	0	0	3	0	0	1	6	2	2	3	0	0	17
合計	0	0	5	0	0	1	6	2	2	3	1	0	20
前年	0	2	5	4	0	0	1	1	0	0	0	2	15

単位：件



— 2021年度 ●●●● 2020年度 ■■■■ 2019年度 ◆◆◆◆ 2018年度 ▲▲▲▲ 2017年度

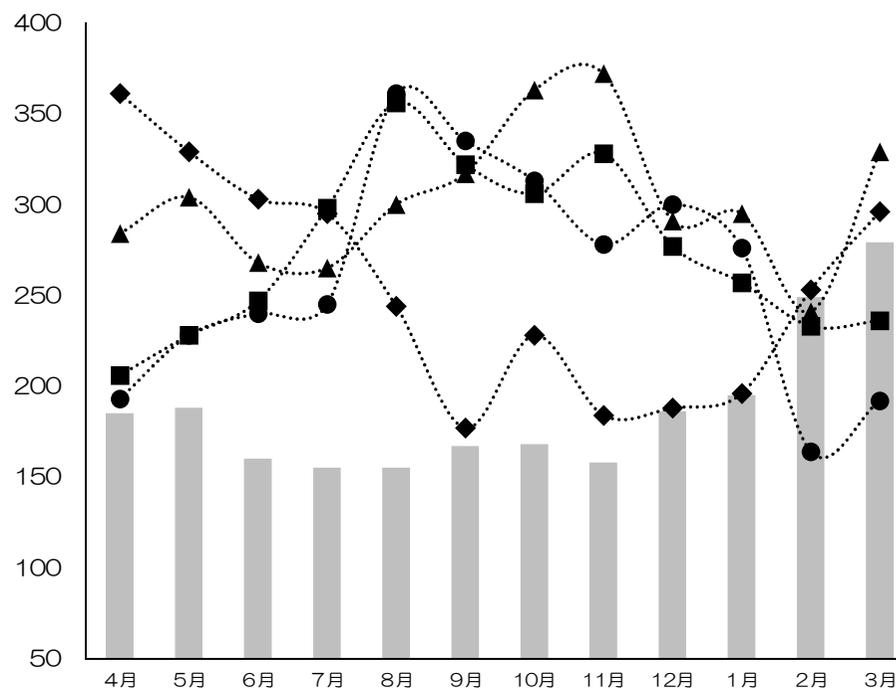
b. 稼働状況

単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2021年度	185	188	160	155	155	167	168
2020年度	193	228	240	245	361	335	313
2019年度	206	228	247	298	356	322	306

年度	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比%
2021年度	158	186	195	249	279	2245	72%
2020年度	278	300	276	164	192	3125	95%
2019年度	328	277	257	233	236	3294	108%

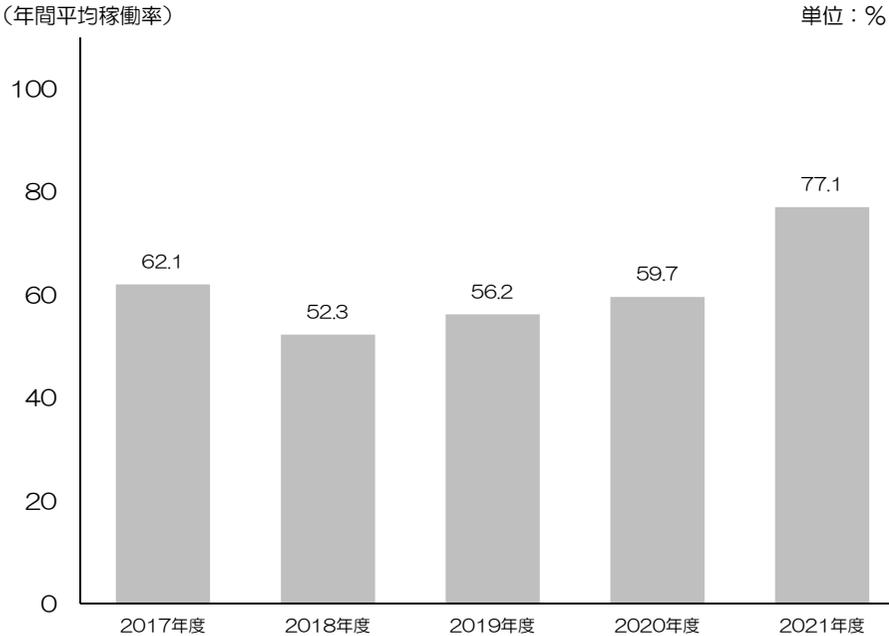
単位：人



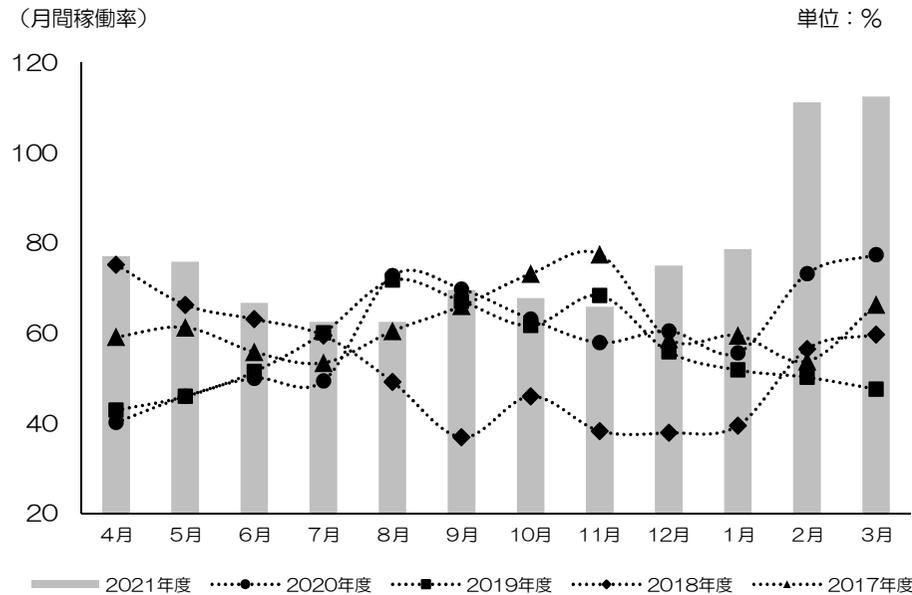
— 2021年度 ●●●● 2020年度 ■■■■ 2019年度 ◆◆◆◆ 2018年度 ▲▲▲▲ 2017年度

c. 稼働率比較

(年間平均稼働率)

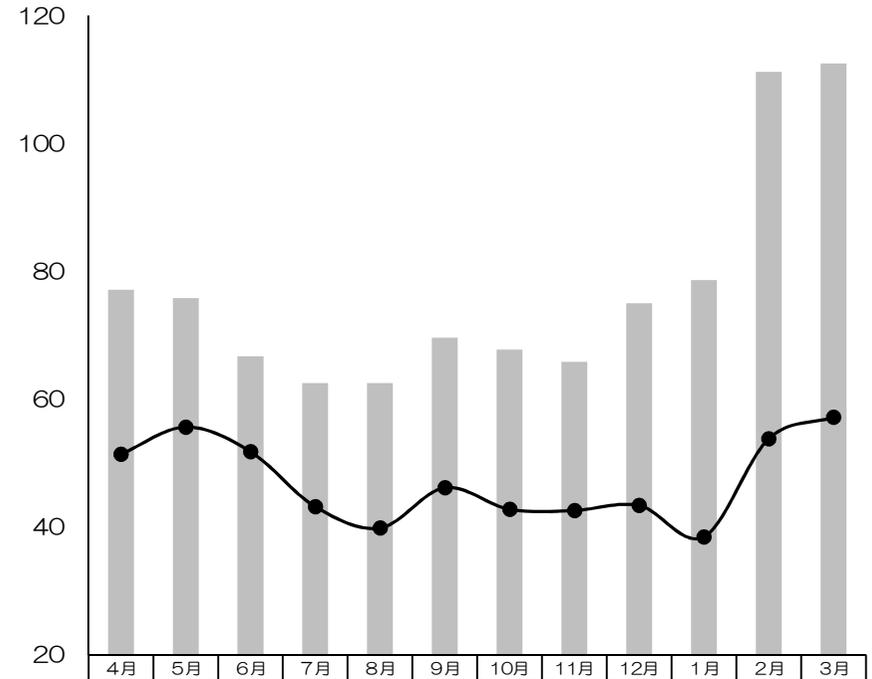


(月間稼働率)



(定員比 / 満床比の比較)

単位：%



定員比 %	77.1	75.8	66.7	62.5	62.5	69.6	67.7	65.8	75.0	78.6	111.2	112.5
満床比 %	51.4	55.6	51.8	43.2	39.8	46.1	42.7	42.6	43.4	38.5	53.8	57.2
定員床数	240	248	240	248	248	240	248	240	248	248	224	248
利用可床数	360	338	309	359	389	362	393	371	429	507	463	488

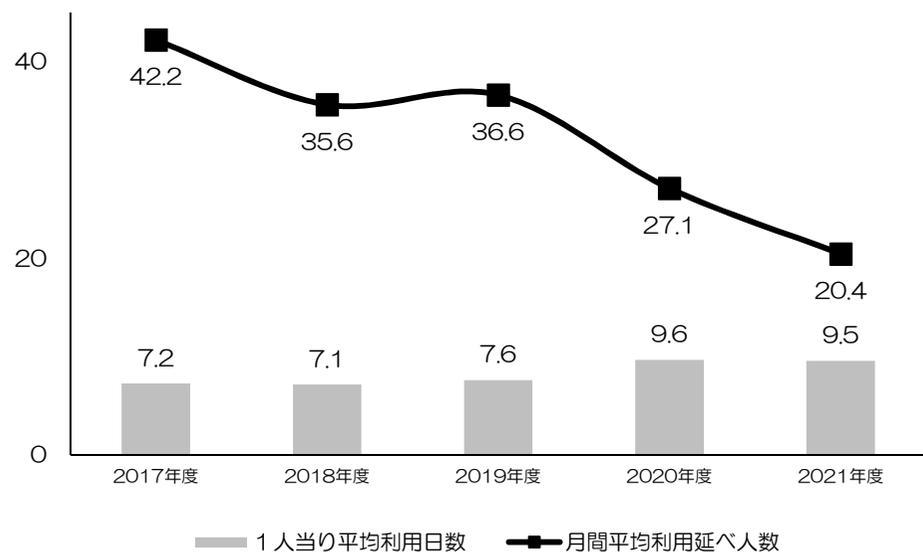
※満床比 = 特養入所者用の空床ベッドも含めた「利用可能床数」に対する比率

※特養入所者用の空床ベッド及び入院ベッドの活用を要する程の稼働率に至らなかった。

※2月以降の数値増加は「短期入所ベッドの本入所転換」により、延べ利用者数は変わらずとも、分母が半減（16床⇒8床）したことによる影響である。

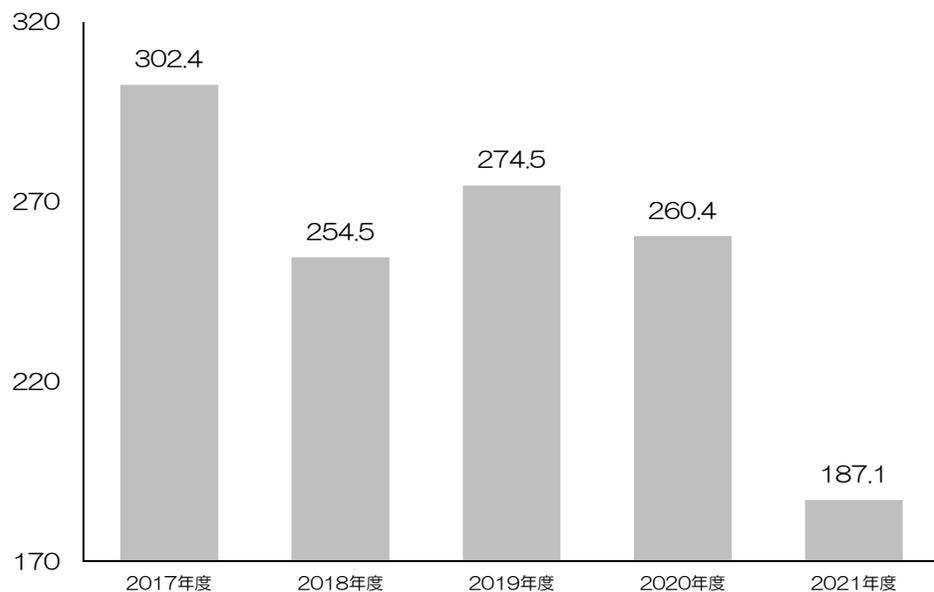
3. 利用者の傾向

a. 一人当たりの平均利用日数&月間平均延べ利用人数



b. 月間平均延利用日数

単位：日

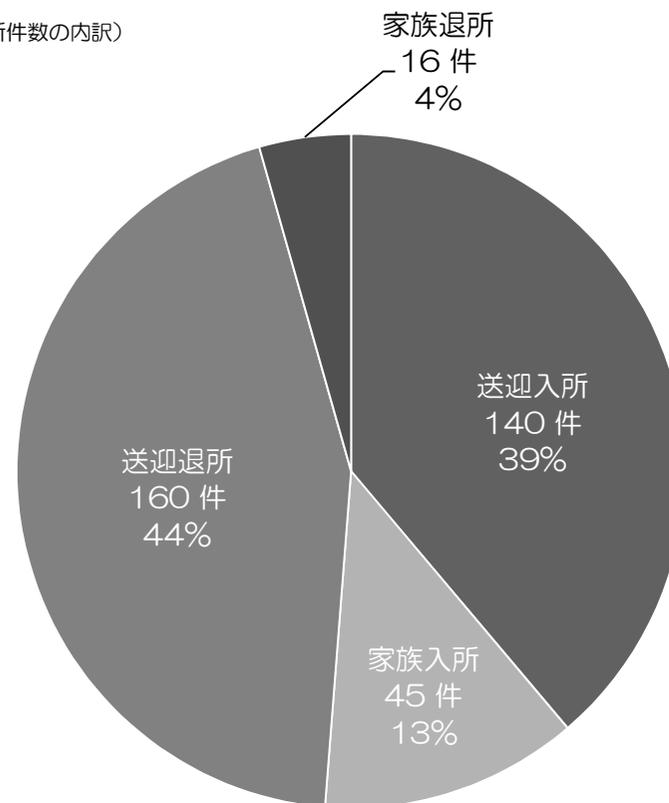


c. 月毎の入・退所件数及び送迎状況

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入所	22	17	20	15	15	14	19
退所	23	16	24	13	13	15	16
合計	45	33	44	28	28	29	35
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	内：家族
入所	10	14	11	11	12	173	44
退所	9	12	11	8	11	165	14
合計	19	26	22	19	23	338	58

(入・退所件数の内訳)



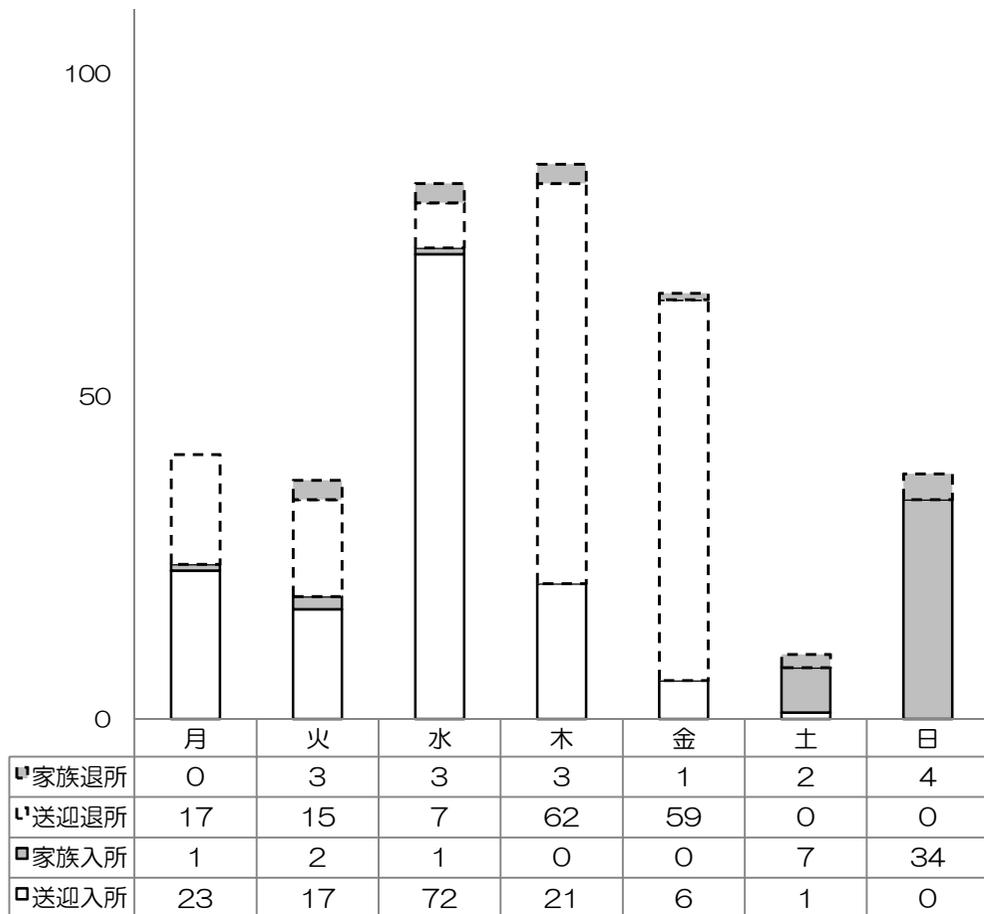
d. 曜日毎の入・退所件数及び送迎状況

単位：件

	月	火	水	木	金	土	日
入所	24	19	73	21	6	8	34
退所	17	18	10	65	60	2	4
合計	41	37	83	86	66	10	38

(入・退所件数の内訳)

単位：件



e. 曜日毎の利用状況

単位：人

月/曜	月	火	水	木	金	土	日
4月	23	23	31	38	32	18	20
5月	31	24	27	28	23	25	30
6月	21	26	33	27	21	14	18
7月	20	18	26	32	26	15	18
8月	25	25	24	25	18	15	23
9月	21	22	32	32	20	19	21
10月	21	21	26	27	25	22	26
11月	27	27	22	23	21	19	19
12月	24	24	33	34	30	19	22
1月	30	24	29	30	25	28	29
2月	34	36	36	39	37	33	34
3月	34	42	48	49	38	35	33
合計(人)	311	312	367	384	316	262	293
%	13.9	13.9	16.3	17.1	14.1	11.7	13.1
平均(人)	25.9	26.0	30.6	32.0	26.3	21.8	24.4

※ 割合(%) = 年度延べ利用人数「2245人」に対する比率

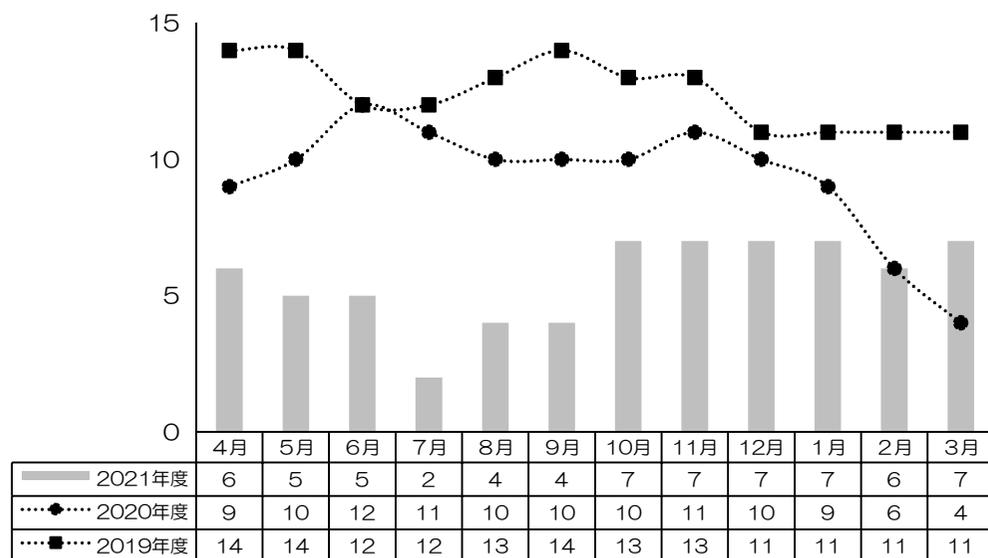
2020年度までとは異なり、平日に利用が集中する傾向に変化してきており、土日の空室が目立つ傾向にある。

土日の送迎を強化して利用向上に繋げていくべきか、今後、新規利用希望者の希望日程なども確認しながら判断をしていく。

4 他事業所との関わり

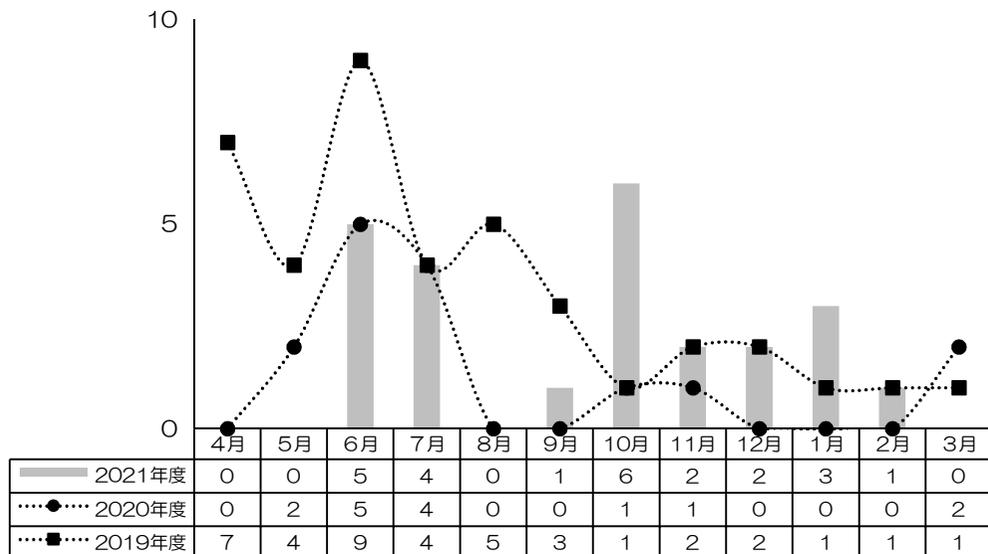
a. 利用事業所件数（居宅モモ・ナナ除く）

単位：件



b. サービス担当者会議出席件数（居宅モモ・ナナ含む）

単位：件



5 苦情

2021年度・・・0件

6 事故

2021年度は賠償事故に繋がったケースはない。

受傷事故については、介護士会議やリーダー会議、事故対策委員会等を通して再発防止策の検討/周知徹底を図った。

また、2022年度も、新規利用者については情報を的確に把握し、適切なサービス提供が著しく困難と思われる利用者については、関係者との間で状況確認を行ない、適切な対象施設への転院に向け調整していく。

その際、家族等の希望があった場合には、入所面談にも立ち会い、円滑に移動が出来るよう対応を行なう。

7 情報整理

過去1年以上利用がない方々の契約書及びその他資料を区分け保管。

※再利用時には介護保険制度改定等により「再契約」「再接触」とした。



施設ケアマネジメント(ピノ)

●会議開催日数

2020年度より、新型コロナウイルス感染予防の観点から、ピノ館内でのケース会議は開催できず、郵送でのプラン内容確認となっている。

通常であれば新規入居者は入居日付より開始の暫定プランを作成し、入居2ヶ月目に本プラン作成のためのケース会議を開催。以降、要介護認定の更新時期に合わせて、基本1年間の長期目標・半年間の短期目標を設定、目標終了月(年2回)にケース会議を開催し、通常の面会時では確認出来ない事項やご家族の希望をお聞きする場としていた。

また、退院後や心身状態の急激な低下時、区分変更に伴う要介護度変更時、その他必要時には随時変更プランを作成し、郵送にて確認をする。

●ケース会議の役割

入居者の日常生活の様子を報告し、現プランの評価を行ない、現状の問題・課題は何か、それを解決する為のサービス(目標)はどういったものかを検討し、サービス計画表を作成・家族に説明をしている。

郵送での確認では家族の要望や疑問点をきちんと確認する事が難しい為、ピノでのケース会議が開催できるようになればと考えているが、新型コロナウイルス感染症の影響は当面続く事が予測される為、代替え策を含め適切な対応を構築していきたい。

会議開催日数(ピノでの開催)

単位：日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ
2021年度	0	1	0	2	0	1	0	0	1	1	0	1	7
2020年度	1	0	0	1	1	1	2	0	1	0	0	2	9
2019年度	4	3	4	2	3	3	5	2	3	2	2	2	35

計画作成回数

単位：人

	暫定	初回	2回目	3回目	4回以上	延べ
2021年度	6	7	6	6	35	60
2020年度	9	8	7	5	39	68
2019年度	5	5	4	5	40	59

対象者数

単位：人

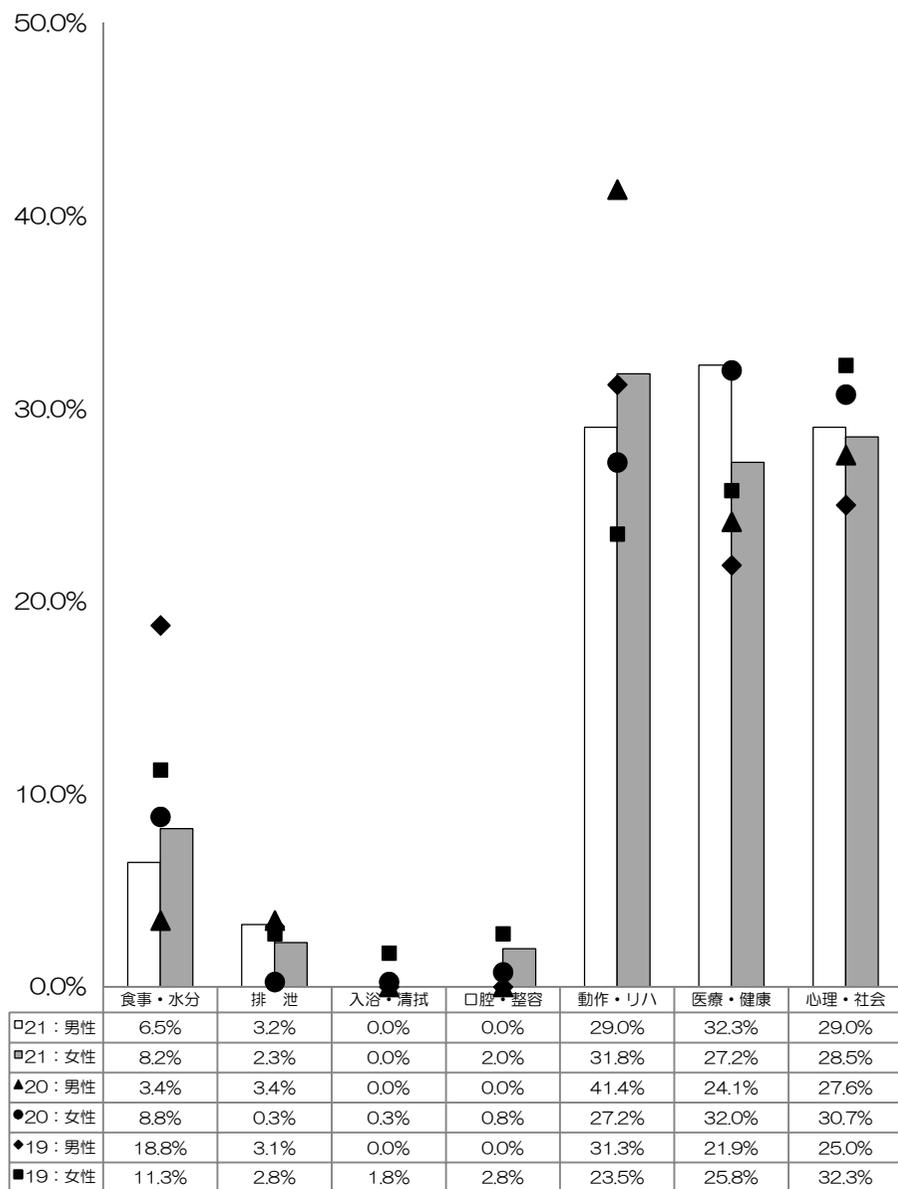
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ	平均
2021年度	9	3	3	6	4	5	6	5	5	4	6	4	60	4.2
2020年度	14	2	4	4	4	4	13	4	5	3	4	7	68	5.6
2019年度	10	4	5	2	5	3	10	4	6	2	5	3	59	4.9

家族(含：後見人等)出席率

単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2021年度	0	33	0	33	0	0	0	0	20	25	0	25	10
2020年度	7	0	0	25	25	25	15	0	20	0	0	29	13
2019年度	100	100	100	100	100	100	78	100	100	100	100	100	96

項目別ケアプラン立案傾向（男女別 / 割合）



●ケアプラン立案傾向からみた入居者像

24時間シート・個別アセスメントシートを居室担当介護士が作成し、ユニットにて最終チェックを行ない、ケアマネジャーにてケアプランを作成。当施設における課題分析・計画立案状況から入居者像を見出してみる。

※実数値はひとりあたり複数回答が存在するために省略。

※項目別の立案件数を、各年度の延べ対象者数で割ったものを%表示。

「動作・リハ」「医療・健康」「心理・社会」の項目に課題が継続して多く見られている。身体機能低下も一層進んでおり、健康状態の確認機会の増大、認知症が進行した入居者が多数を占め、精神面の安定が求められること、新規入居者も同様の課題を抱えている事が多い為、この3点に集中したと考えられる。

入居者一人ひとりに向かい合うことで、その方の心の苦しみや、これまでと同じ様に身体を動かせない辛さ、そこに付随するリスク管理を含めると、上位3点の項目が課題解決に向かう入居者のニーズとなり、家族の希望にも繋がっている結果だと考えられる。

ただし、その他の優先順位の高いニーズを見逃してしまっていないかを注意をする必要があり、各入居者の生活状況を把握し、他項目の「排泄」「口腔・整容」「食事・水分」「入浴・清拭」の部分での課題を見逃さないアセスメント力をつけていけるようにしていきたい。

また、個人のこだわりや生活習慣に添ったケアプランの作成も出来るよう取り組んでいきたい。

今後もより深く入居者の課題を見つける為に、モニタリング・ケアチェックを実施し、ケアプランに反映していくようにする。

C Home ommunity

コミュニティホームピノ

入居者の心身状況の低下は顕著であり、退居者も多くなっている。
新規入居者も入居当初から全介助が必要な身体状況の方も多くなっており在籍日数も短期化している。

2021年度の退居者10名のうち5名はピノで看取り、入院から自宅に戻られてご逝去された方が1名、入院から療養型病院への転院が2名、入院中にご逝去された方が1名、救急搬送中のご逝去が1名であった。

待機者については、年度当初は10名、年度末の段階でも10名であるが、年度末での10名は医療行為が必要な方、常に見守りが必要な方等、ピノの体制上入居を進める事が難しい方達であった。

2021年度の入居者8名のうち、ショートステイからの入居者は4名、他施設から1名、同じ病院から3名の入居であった。

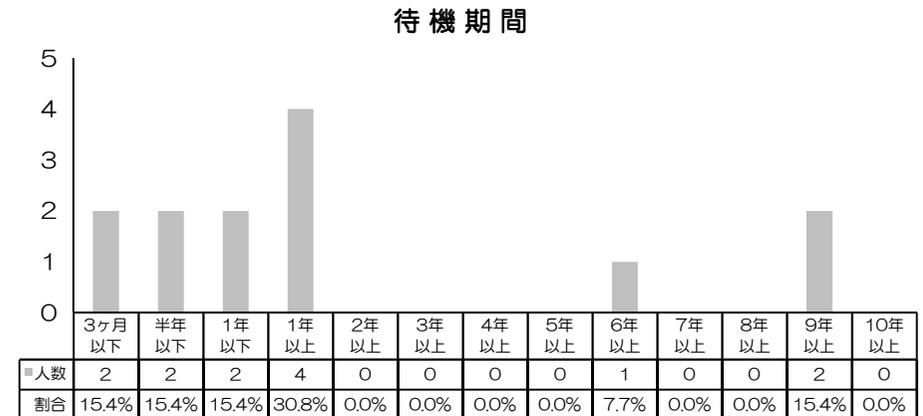
行事については、人員体制と新型コロナウイルス感染症の影響でほぼ実施出来ておらず、入居者の生活がマンネリ化してしまっている。

2021年度もシフトを組む事自体が難しい状況が見られており、職員研修や勉強会の実施は困難であったが、個別ケアの質向上のために今後も介護職員の質の向上は課題である。

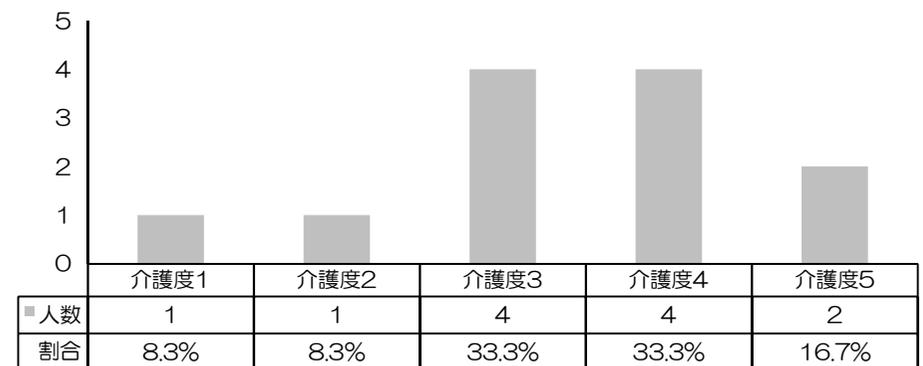
新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を踏まえて、入居者本位のサービス提供が出来る様にしていきたい。

1. 入居待機状況

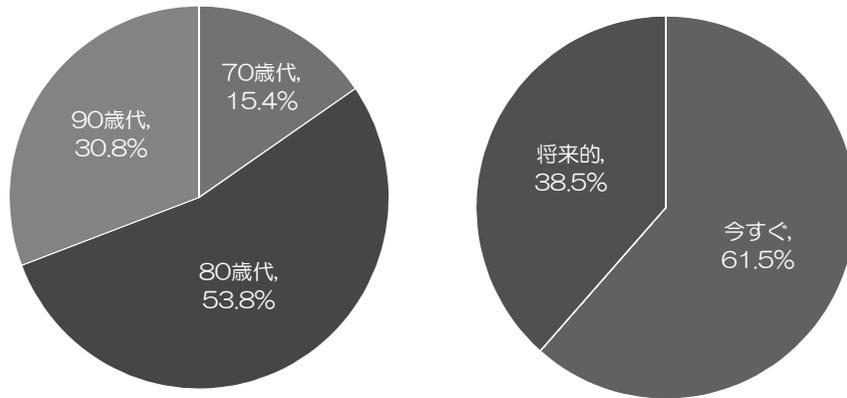
a. 地域別・待機期間別待機者



b. 待機者介護度（除：要支援移行・期限切）



c. 待機者年齢・入居希望時期



入居希望時期 介護度別構成

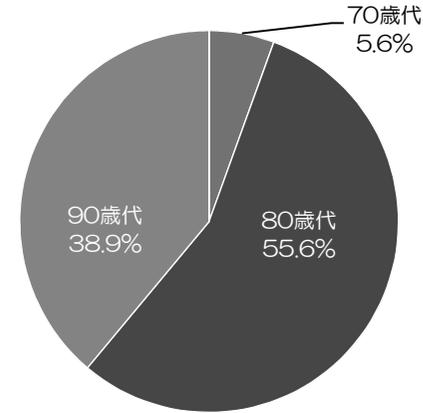
単位：人

	要介護3	要介護4	要介護5	合計
今すぐ入居したい	3	3	2	8
半年先ぐらいには入居したい	0	0	0	0
1年先ぐらいには入居したい	0	0	0	0
将来的に必要な時に入居したい	1	1	0	2
不明・無回答	0	0	0	0
合計	4	4	2	10

2. 入居者の現況

(2021年度実績者延べ：36名)

a. 年齢構成・地域別構成



●年齢構成

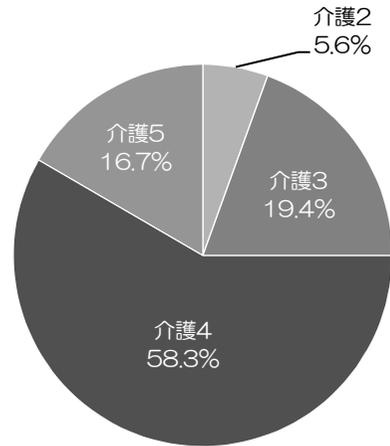
単位：人（延べ）

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (2)
女性	0 (0)	0 (0)	1 (3)	20 (18)	12 (13)	0 (0)	33 (34)
全体	0 (0)	0 (0)	2 (4)	22 (19)	12 (13)	0 (0)	36 (36)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	86歳 (84歳)	78歳 (77歳)	83歳 (80歳)
女性	98歳 (97歳)	77歳 (76歳)	89歳 (88歳)
全体	98歳 (97歳)	77歳 (76歳)	88歳 (87歳)

※（ ）内は前年度数値

b. 介護度別構成



全体

単位：人（延べ）※（ ）内は前年度数値

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0	1	0	2	0	3.33 (3.00)
女性	0	1	7	19	6	3.87 (4.08)
合計	0	2	7	21	6	3.86 (4.02)

E2ユニット

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男性	0	0	0	1	0	4.0	1
女性	0	0	3	5	2	3.9	10
合計	0	0	3	6	2	3.9	11

E3ユニット

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男性	0	1	0	0	0	2.0	1
女性	0	1	3	5	2	3.7	11
合計	0	2	3	5	2	3.5	12

W3ユニット

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男性	0	0	0	1	0	4.0	1
女性	0	0	1	9	2	4.0	12
合計	0	0	1	10	2	4.0	13

c. 身体障害手帳

単位：人（延べ）

	重度		中度		軽度		合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
男性	0	1	0	0	0	0	1
	1	1	1	0	0	0	3
合計	1	2	1	0	0	0	4

内訳	肢体不自由	心臓機能障害	言語障害	視覚障害	聴覚障害	合計
	2	1	0	1	0	

d. 健康保険

単位：人（延べ）

後期高齢者医療	国保	健保	生活保護	合計
		被扶養者	医療扶助	
36	0	0	0	36

e. 介護保険負担限度額認定

単位：人（延べ）

第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階	合計
0	4	6	9	17	36

3. 入居者の生活状況

2021年度の新規入居者数は8名、退居者は10名であった。

新規に入居されると退居者が出てしまう状況で2021年度に満床になる事はなく、年度末には4名が同時期に入院となっていました。

介護度が低くても長期の入居が見込まれる方の確保をしていきたいが、条件に合う方の申し込みが少なく難しい。

今後もショートステイや支援事業所、病院との連携に力を入れ、満床に向けて取り組んでいく。

現状も身体機能の低下が著しく見られる方が数名おり、近々退居される方も出てくると思われる。入居可能な方を探し、出来るだけ迅速な対応をして、稼働率の向上を図りたい。

a. 入退居状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居	0	1	0	2	0	1	0	1	1	1	0	1	8
退居	1	1	1	0	1	0	1	2	1	1	0	1	10

※退居理由：看取り / 5名

入院から療養型医療施設転院 / 2名

入院中逝去 / 1名

救急搬送中逝去 / 1名

入院から自宅へ戻り逝去 / 1名

b. 看取り

単位：人

件数	年齢	性別	介護	在園日数	呼吸停止発見 (時刻)	死亡診断 (時刻)	ご遺体搬送 (時刻)	曜日 昼夜
1	89	女	4	1819日	2021.05.23 (05:25)	2021.05.23 (06:19)	2020.05.23 (10:20)	日 日中
2	85	女	4	1864日	2021.06.02 (17:35)	2021.06.02 (19:55)	2021.06.02 (21:10)	水 夜間
3	81	女	4	49日	2021.08.22 (06:50)	2021.08.22 (08:25)	2021.08.22 (08:45)	日 日中
4	91	女	5	1293日	2021.11.07 (09:20)	2021.11.07 (10:14)	2021.11.07 (11:10)	日 日中
5	86	女	4	1514日	2022.01.17 (14:20)	2022.01.17 (17:47)	2022.01.17 (19:18)	月 日中

ピノでご逝去された方5名のうち夜間の呼吸停止確認は1件、日中の確認が4件と日中の看取りが多かった。

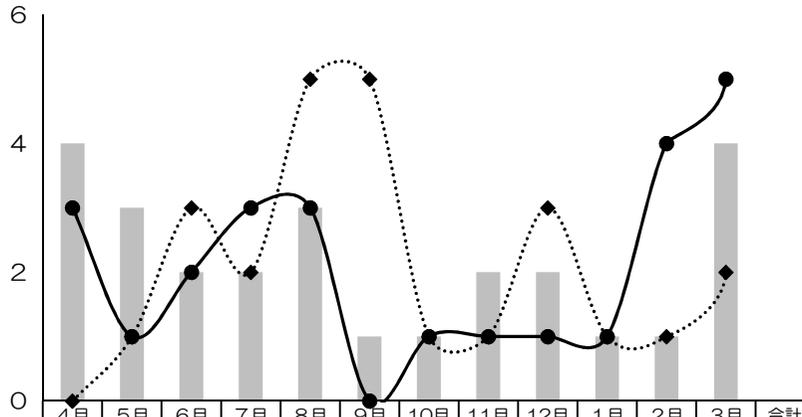
ターミナルの状態ではなかった方のご逝去が3件あり、入居者がいつ急変するか分からないという事を改めて実感させられた。

家族をはじめとした全関係者の協力もあり、呼吸停止発見からご遺体搬送までは滞りなく対応出来ている。

新規入所契約時に延命の希望について家族等に確認をとるが、殆どの方が延命対応ではなく看取りを希望されている。また、肺炎等治療が可能な状態の場合は救急搬送を行なう事を希望される方も多い。

c. 入院状況

単位：人



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
■ 2021年度	4	3	2	2	3	1	1	2	2	1	1	4	26
● 2020年度	3	1	2	3	3	0	1	1	1	1	4	5	25
◆ 2019年度	0	1	3	2	5	5	1	1	3	1	1	2	25

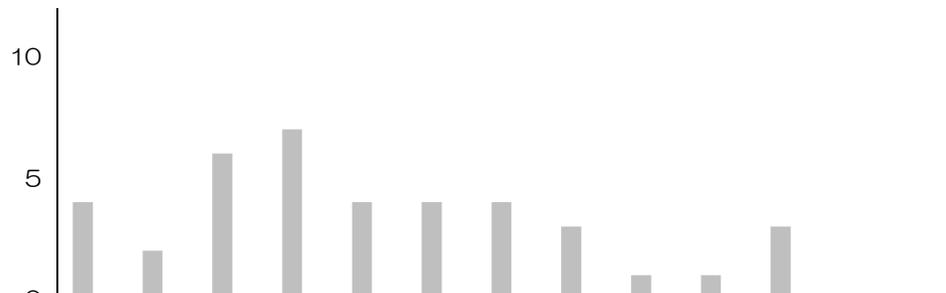
※2021年度延べ入院者日数 410日

入院延べ人数は微減。長期入院が見込まれる方の療養型病院への転院が早目に決まった為、入院日数の減少に繋がったとも考えられる。

看取りが出来るようになった為、入院をせずに施設で最期をお迎えになられた方も4名おり、年度内入院日数の減少にもつながった。

d. 入居期間

単位：人



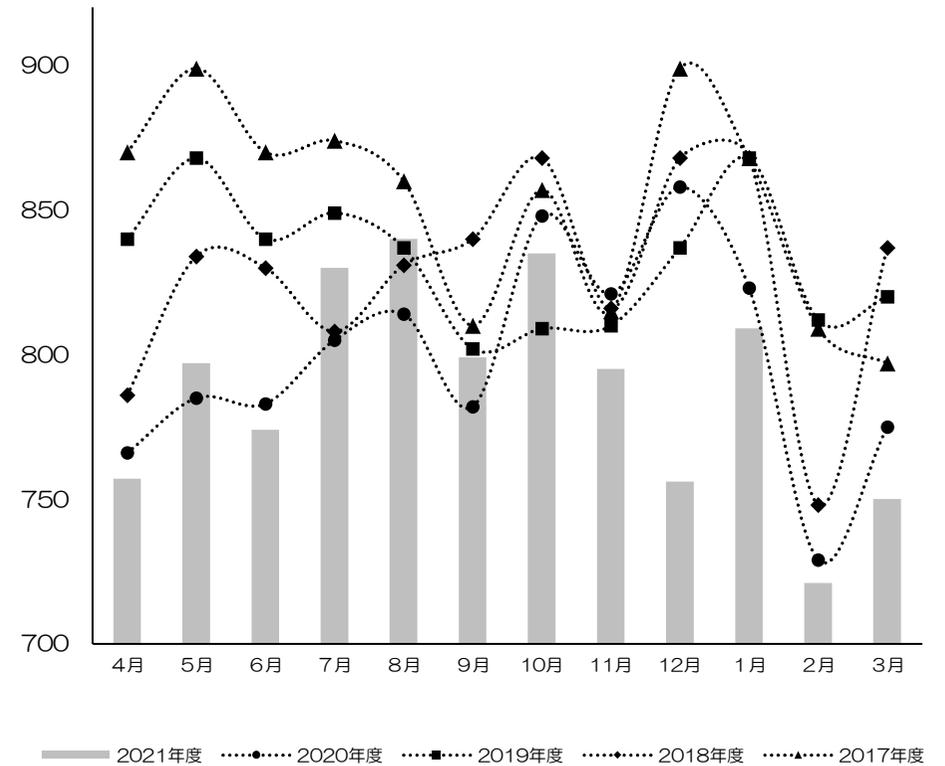
	3ヶ月以下	半年以下	1年以下	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	6年以上	7年以上	8年以上	9年以上	10年以上
■人数	4	2	6	7	4	4	4	3	1	1	3	0	0
割合	10.3%	5.1%	15.4%	17.9%	10.3%	10.3%	10.3%	7.7%	2.6%	2.6%	7.7%	0.0%	0.0%

e. 在籍状況（入院・外泊を含む）

単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2021年度	840	868	810	868	868	840	868
2020年度	766	785	783	805	814	782	848
2019年度	840	868	840	849	837	802	809
年度	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比%
2021年度	840	837	837	728	837	10041	104.7
2020年度	821	858	823	729	775	9589	95.9
2019年度	810	837	868	812	820	9992	100.6

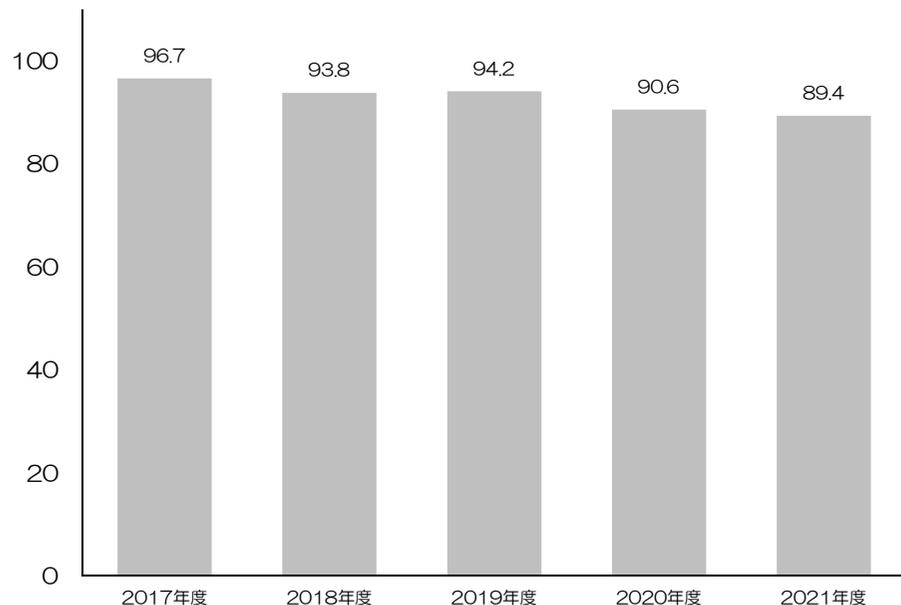
単位：人



f. 稼働率比較（入院・外泊を除く）

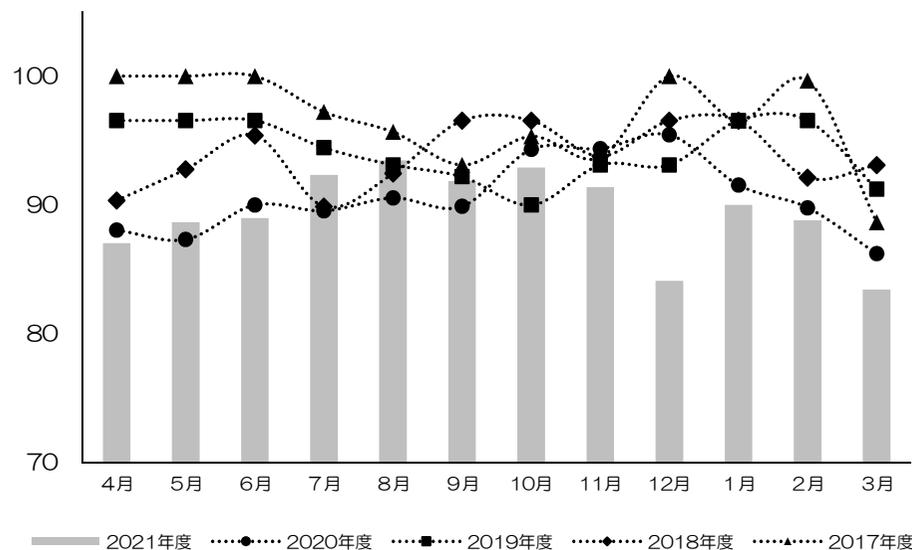
（年間平均稼働率）

単位：%



（月間稼働率）

単位：%



g. 認知症の状況

単位：人

HDS-R得点	正常範囲		準認知症		認知症			合計
	30~26点	25~21点	20~16点	15~11点	10~6点	5~0点	不能・未検査	
6月	3	0	1	3	3	10	6	26
12月	1	2	4	0	2	9	7	25

h. 日常生活動作状況

単位：人

項目	状態及び人数					
	普通/不明	弱視	全盲	普通	やや難聴	難聴
視力	31	4	1	18	4	14
聴力	21	11	4	16	4	16
言語	18	4	14	16	4	16
意思疎通	16	4	16	16	4	16
食事	16	6	14	16	6	14
入浴	0	18	18	0	18	18
着脱衣	5	12	19	5	12	19
排泄	3	15	18	3	15	18
オムツ等	なし	15	18	3	15	18
移動	自立	6	27	3	6	27

※パット・オムツ併用者あり

i. 外出・外泊の状況

単位：人

来訪回数	0~10回	11~20回	21~30回	31~40回	41~50回	51~60回	61回以上
		35	1	0	0	0	0

外出	年末年始	0	その他	0	合計	0
	外泊	年末年始	0	その他	0	合計

※外出は届出のあったものに限る。

j. 月例行事催行状況

種 別	実 施 頻 度	行 事 内 容
誕生会	誕生月（ユニット毎）	当月の誕生者（SS含む）を祝福、
レクリエーション	毎日	体操・散歩 など
理髪室	月1回（第2月曜）	利用希望者（散髪）
外出	自粛中	季節の花などを見に行く

k. クラブ活動（月例）

種 別	実 施 頻 度	実 施 場 所
なし		

l. 会 議（定例/含：職員向け）

種 別	開 催 頻 度	検 討 内 容
ユニット課会議	月1回（第2木曜日）	ユニット課全体の業務方針、改善の検討
ユニットリーダー会議	月1回（第2木曜日）	介護・看護・栄養・SS各部署間の連絡
各ユニット会議	各ユニット月1回	各ユニット入居者の状態把握・業務改善
給食会議	月1回（第2木曜日）	食ごとにまつわる事項の検討
事故対策委員会	月1回（第2木曜日）	発生した事故の分析や事故防止の検討
拘束検討委員会	月1回（第2木曜日）	拘束状況代替策や改善の検討
ケース会議	年2回/一人 基本 状況変化時は随時 ※郵送にて確認	利用者の現況分析・ケア目標や計画検討
感染症対策委員会	1回/3ヶ月 （第2金曜日）	流行性感染症/一般感染症についての対策・予防等の検討
褥瘡対策委員会	1回/6ヶ月 （第2金曜日）	褥瘡への対策・予防の検討
食中毒対策委員会	1回/3ヶ月 （第2金曜日）	食中毒への対策・予防の検討

m. 苦 情

2021年度----- 0件

n. 運営推進会議

地域密着型サービスとして、利用者、利用者の家族、地域住民の代表者、地域の包括支援センター等に対して、提供しているサービス内容等を明らかにすることを目的として、地域に開かれたサービスにしていくことでサービスの質の確保を図るため設置。

2021年度：5回開催（5月・7月・9月・11月・1月）

※新型コロナウイルス感染症予防の為、外部委員を招いての会議は見送り、内部委員で作成した運営状況報告（議事録）を紙面にて郵送報告するのみに留めた。

o. 年間行事/その他予定（入居者の生活に直接関わるもの）

開催日	行 事	内 容
5/13	健康診断	利用者の定期健康診断

※新型コロナウイルス感染予防の為、レク行事については全面中止とした。

4. 医務室

a. 疾患状況

単位：人（延べ）

疾患名	人数	疾患名	人数
心疾患	5（7）	歯科疾患	17（24）
消化器疾患	1（2）	ガン疾患	1（9）
脳神経疾患	5（5）	糖尿病	2（3）
精神科疾患	5（3）	高血圧症	8（12）
整形外科疾患	9（18）	慢性間接リュウマチ	1（2）
腎機能疾患	1（1）	ホルモン疾患	1（2）
肝機能疾患	2（0）	老人性認知症	14（13）
脳血管障害	8（10）	泌尿器科疾患	5（3）
呼吸器疾患	1（1）	皮膚科疾患	12（2）

※（ ）内は前年度数値

b. 看護処置

単位：人（延べ）

処置内容	人数
創処置	4（2）
軟膏塗布	15（20）
点眼	5（3）
坐薬挿入	9（14）
湿布	2（1）
フランドルテープ	4（1）
吸入	0（0）
フットバス	0（0）

※（ ）内は前年度数値

c. 服薬管理

単位：人（延べ）

時間帯	人数
朝食時	23（24）
昼食時	13（13）
夜食時	21（17）
就寝前	7（4）
便秘時	23（26）

※（ ）内は前年度数値

d. 認知症行動障害

単位：人（延べ）

状態	人数	状態	人数
自傷行為	0（0）	人物誤認	0（0）
夜間せん妄	1（1）	作話	0（0）
興奮・奇声	3（3）	摂食異常	0（0）
徘徊	1（1）	盗癖・収集癖	0（0）
攻撃的行為	1（0）	被害妄想	0（0）
不潔行為	1（2）	躁鬱状態	2（1）

※（ ）内は前年度数値

e. インフルエンザ 予防接種

単位：人

入居者数	接種数
27	23

f. 医療管理者

単位：人（退居者含）

処置内容	人数
胃瘻（造設者含む）	3（2）
経鼻栄養	0（0）
留置カテーテル	5（3）
膀胱瘻	0（0）
喀痰吸引	6（1）
褥瘡	6（3）

※（ ）内は前年度数値

g. 定期診察

提携医	精神科医	歯科医
第1・3木曜日	第1・3月曜日	毎週木曜日

S Stay hort-term

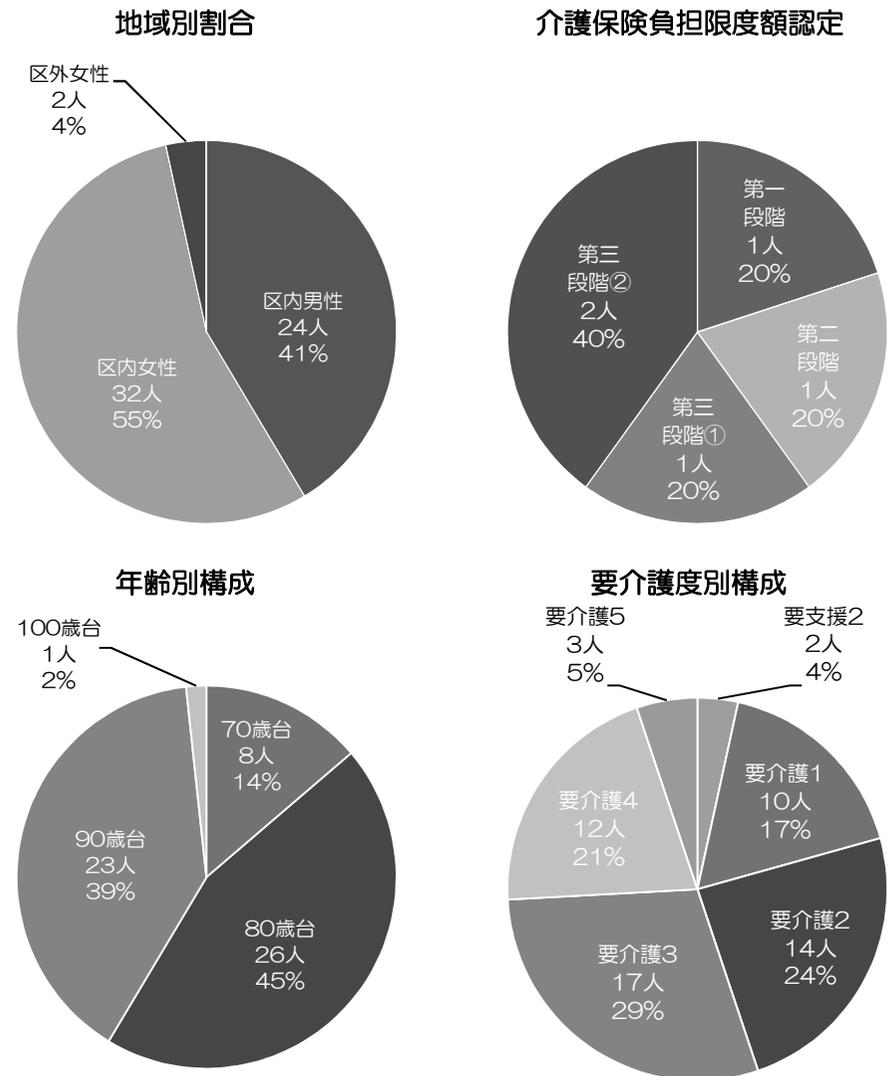
ショートステイピノ

2021年度は大幅な稼働率の低下は避けられたが、年間通して目標稼働率を達成する事が出来なかった。

新型コロナウイルス感染症の流行による影響も見られているが、新規での依頼が長期利用を目的とする利用者が多く、受け入れが困難だった事も高稼働率に繋がらない要因の一つと思われる。

医療行為が必要な方の利用希望も多く、現在のピノの体制では受け入れが難しいケースが増えてきている。

1. 利用者プロフィール（年度内実績者の内訳）※2022.03.31 現在



年齢構成：【最高齢：100歳（女性） / 最年少：72歳（男性）】

施設部関連 / 特養本入居移行（4人）

在宅部関連 / ピノデイ併用（3人）・居宅モモ担当（延：6人）・居宅ナナ担当（延：3人）

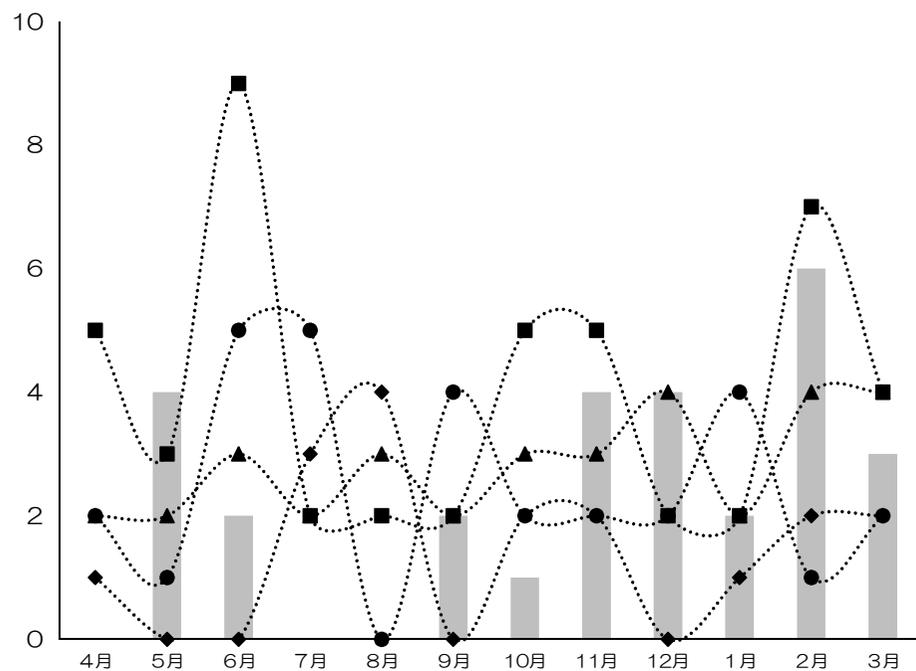
2. 年間の利用状況

a. 契約数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	1	1	0	0	0	0	2	3	1	1	3	12
女	0	3	1	0	0	2	1	2	1	1	5	0	16
合計	0	4	2	0	0	2	1	4	4	2	6	3	28
前年	1	0	0	3	4	0	2	2	0	1	2	2	17

単位：件



— 2021年度 ◆..... 2020年度 ■..... 2019年度 ●..... 2018年度 ▲..... 2017年度

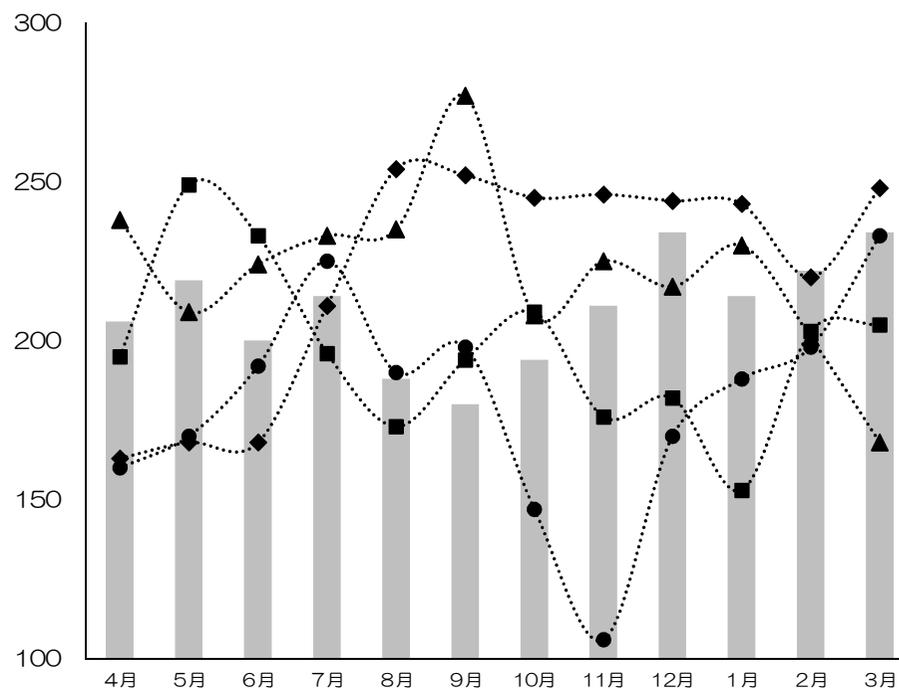
b. 稼働状況

単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2021年度	206	219	200	214	188	180	194
2020年度	163	168	168	211	254	252	245
2019年度	195	249	233	196	173	194	209

年度	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比%
2021年度	211	234	214	222	234	2516	95%
2020年度	246	244	243	220	248	2662	112%
2019年度	176	182	153	203	205	2368	109%

単位：人

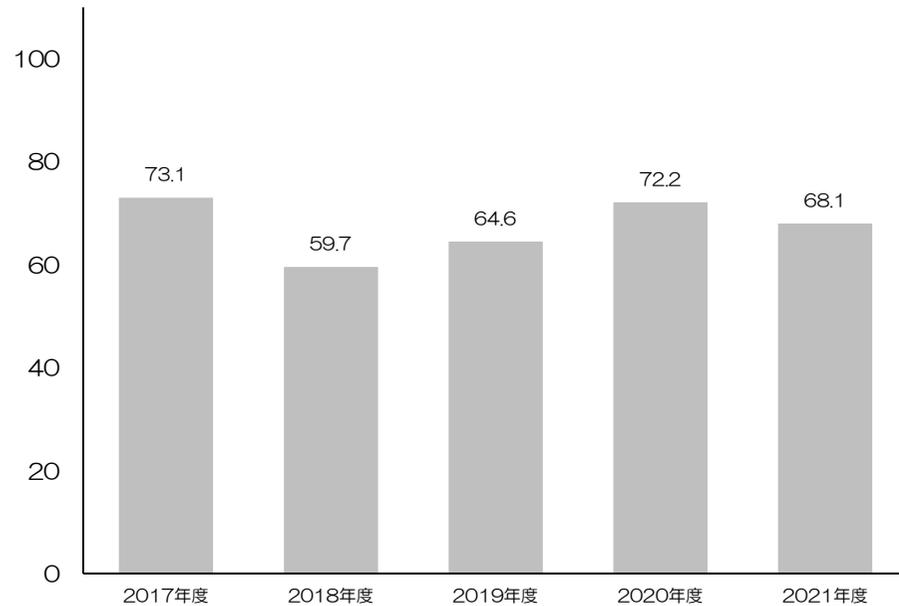


— 2021年度 ◆..... 2020年度 ■..... 2019年度 ●..... 2018年度 ▲..... 2017年度

c. 稼働率比較

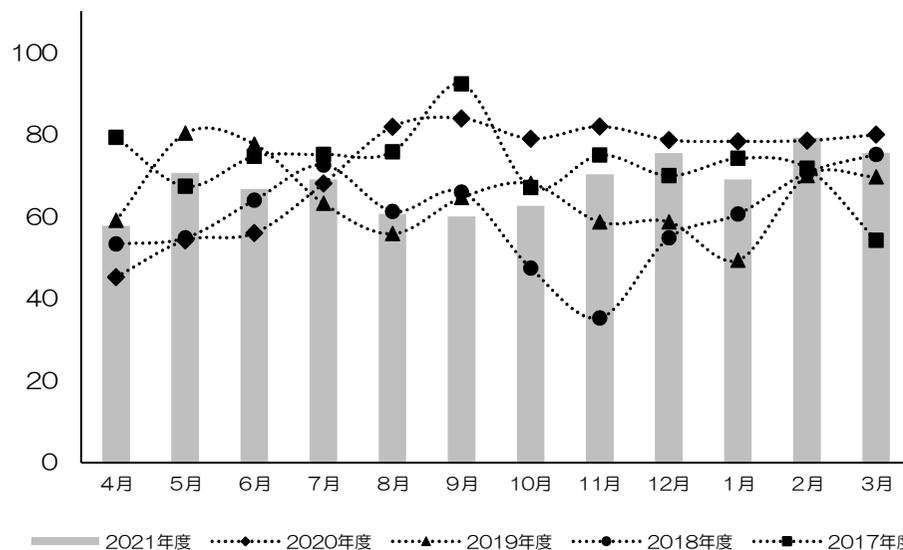
(年間平均稼働率)

単位：%



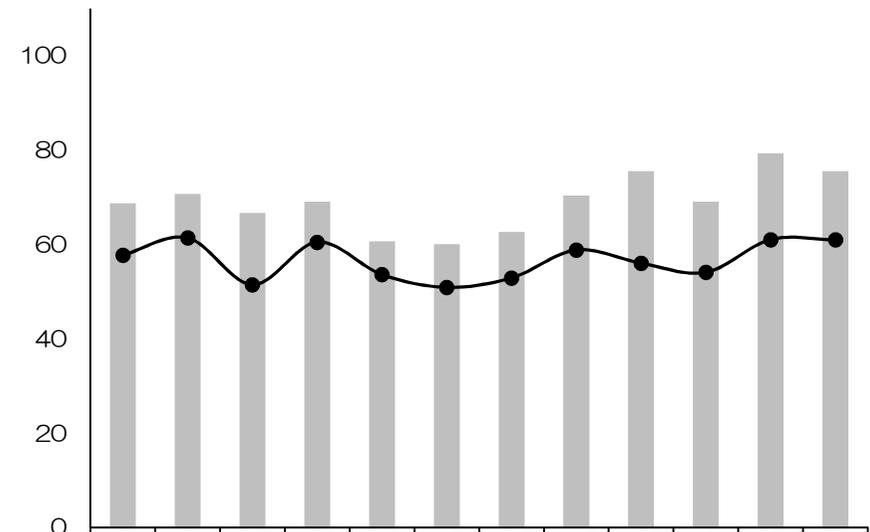
(月間稼働率)

単位：%



(定員比 / 満床比の比較)

単位：%



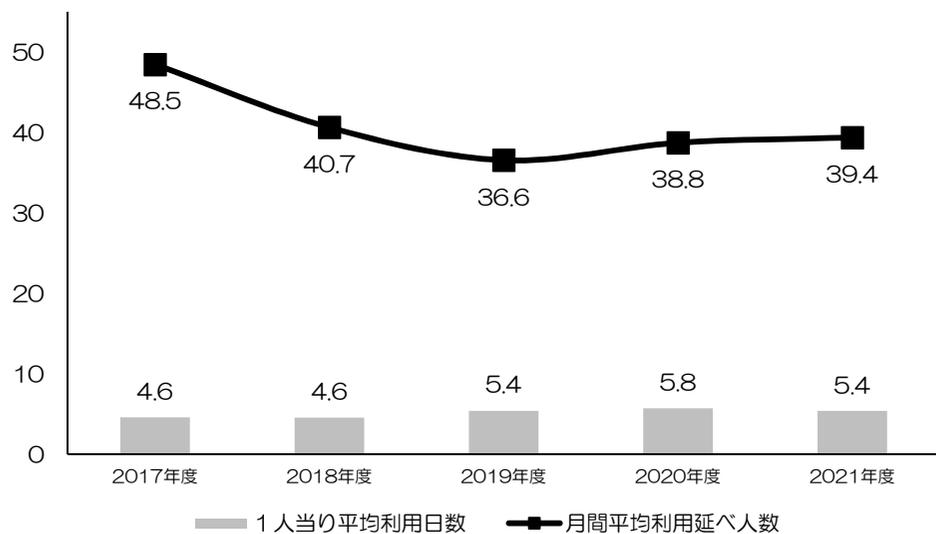
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定員比 %	68.7	70.6	66.7	69.0	60.6	60.0	62.6	70.3	75.5	69.0	79.3	75.5
満床比 %	57.7	61.3	51.4	60.5	53.6	50.8	52.9	58.8	56.0	54.0	61.0	60.9
定員床数	300	310	300	310	310	300	310	300	310	310	280	310
利用可床数	357	357	389	354	351	354	367	359	418	396	364	384

※満床比 = 特養入居者用の空床ベッドも含めた「利用可能床数」に対する比率

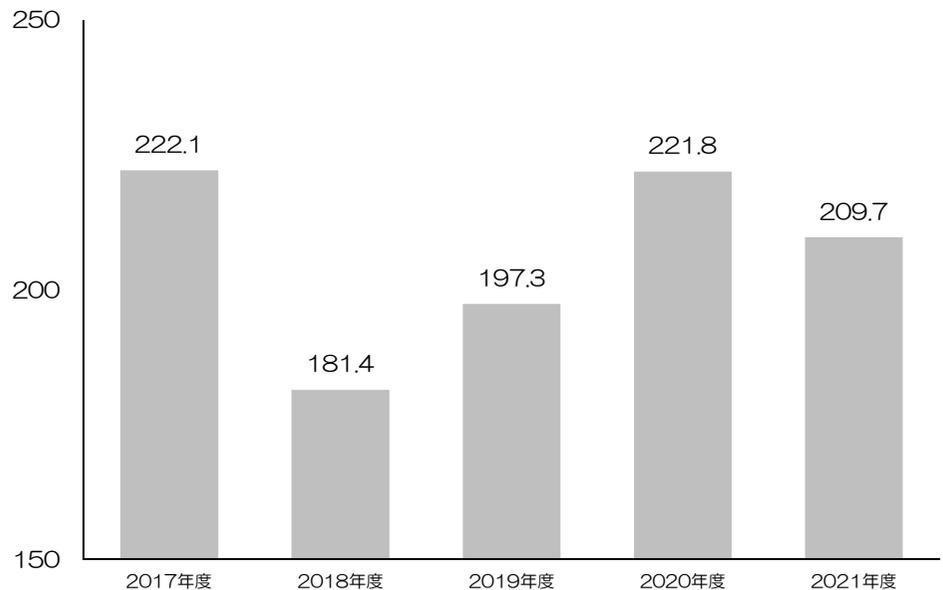
※特養入居者用の空床ベッド及び入院ベッドの活用を要する程の稼働率に至らなかった。

3 利用者の傾向

a. 一人当たりの平均利用日数&月間平均延べ利用人数



b. 月間平均延利用日数

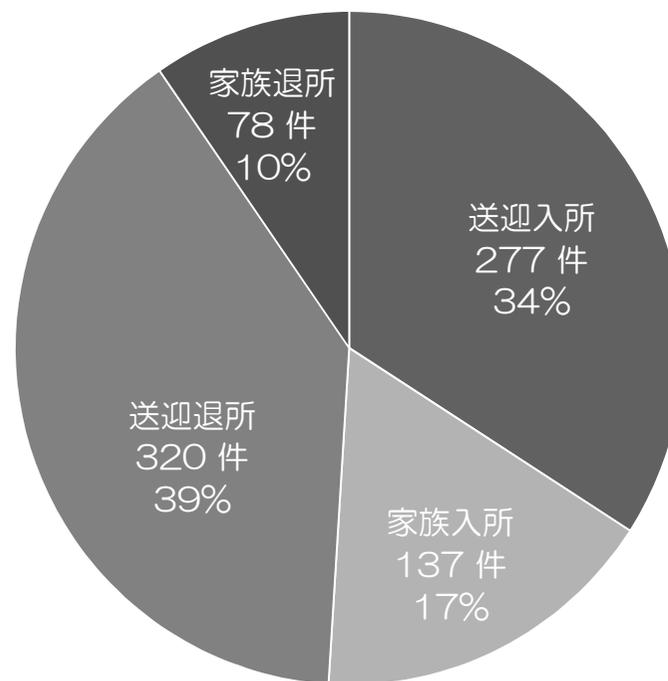


c. 月毎の入・退所件数及び送迎状況

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入所	38	38	36	35	38	35	37
退所	36	38	36	34	39	39	34
合計	74	76	72	69	77	74	71
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	内：家族
入所	39	39	29	29	21	414	137
退所	38	37	23	22	22	398	78
合計	77	76	52	51	43	812	215

(入・退居件数の内訳)



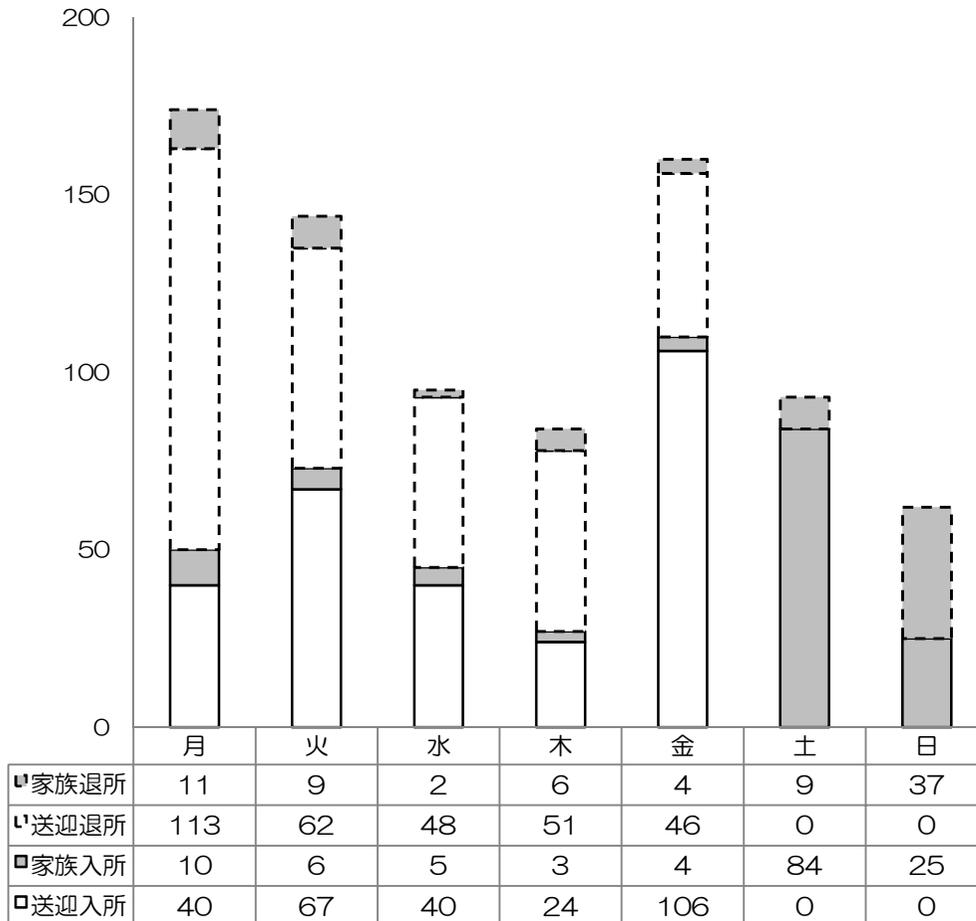
d. 曜日毎の入・退所件数及び送迎状況

単位：件

	月	火	水	木	金	土	日
入居	50	73	45	27	110	84	25
退居	124	71	50	57	50	9	37
合計	174	144	95	84	160	93	62

(入・退所件数の内訳)

単位：件



e. 曜日毎の利用状況

単位：人

	月	火	水	木	金	土	日
4月	32	26	26	28	36	29	29
5月	41	27	24	21	28	39	39
6月	28	28	30	23	32	30	29
7月	35	26	21	26	32	39	35
8月	36	28	22	18	25	26	33
9月	32	23	26	20	23	26	30
10月	32	26	23	17	26	33	37
11月	39	33	25	23	26	32	33
12月	38	27	32	32	37	33	35
1月	34	32	28	28	25	33	34
2月	33	32	31	32	29	32	33
3月	30	40	36	37	31	30	30
合計(人)	410	348	324	305	350	382	397
%	16.3	13.8	12.9	12.1	13.9	15.2	15.8
平均(人)	34.2	29.0	27.0	25.4	29.2	31.8	33.1

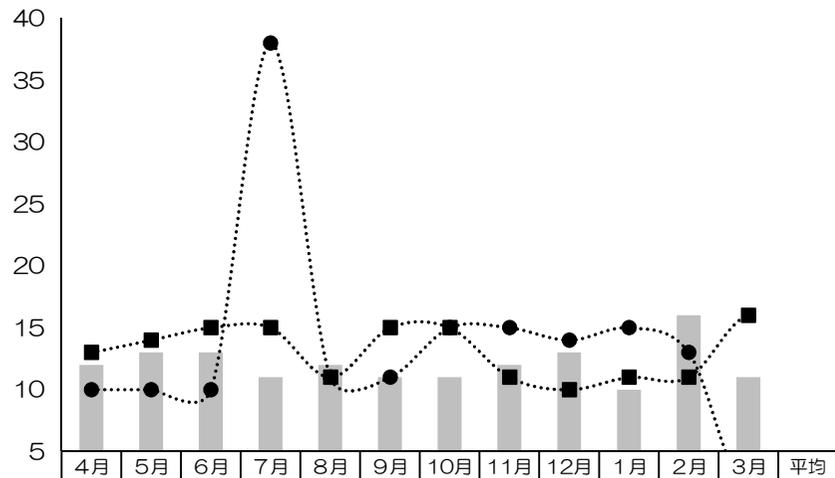
※ 割合(%) = 年度延べ利用人数「2516人」に対する比率

金曜日～月曜日での利用をされるご利用者が多く、火曜日～木曜日での利用人数が低い状態は前年度と変わらず。

4 他事業所との関わり

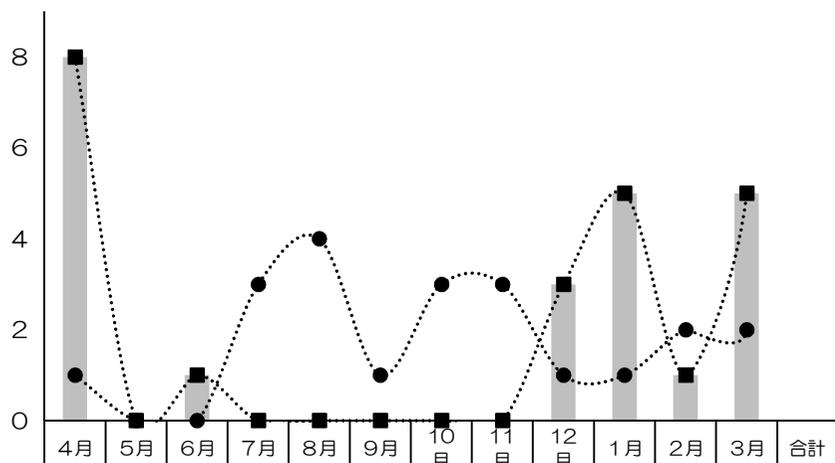
a. 利用事業所件数（居宅モモ・ナナ除く）

単位：件



b. サービス担当者会議出席件数（居宅モモ・ナナ含む）

単位：件



5 苦情

2021年度・・・0件

6 事故

年間を通して転倒などの事故は 27 件。

その内、病院に救急搬送を行なった事故は 1 件。

事故件数としては前年度とあまり変わりはないが、同じ利用者による事故が多く見られていた。

利用者の ADL 低下が見られており、転倒リスクが徐々にではあるが高くなってきている状況で、職員の注意で回避できた事故も多かった。

福祉用具の使用や、居室の配置、離床センサーの使用などの環境整備も強化していく一方で、職員のスキルアップや転倒高リスク者への対応なども見直していく必要がある。

Care House

ケアハウスモモ

2020年度と同様に、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、感染者を出すことなく無事に過ごすことができた。日々の体調管理が浸透しており、意識した行動ができていない方が多い反面、外出時にマスクを忘れてしまう方もいる為、今後も声掛けを実施し感染予防に努めていきたい。

入退所に関しては、2名の方がADLの低下により自立生活が困難となり、ショートステイを利用後7月に1名、9月に1名がそのままケアハウスを退所され、介護施設へ入所の流れとなった。しかし、退所の翌月に新入居者が入られた為、年度を通して16名の満床を維持することができた。

新入居者は自立生活も問題なく、ケアハウスの生活になじみ、入居者間の関係性も良好な様子である。

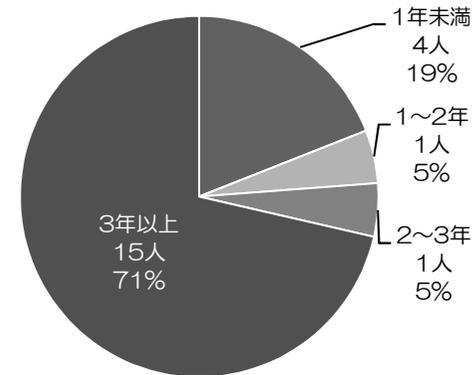
入退院に関しては、持病の悪化や新たな病気の発症等で、短期間の入院が3名となったが、退院後はケアハウスの生活に戻ることができた。

退院後の医療的な処置が必要な方が増え、訪問看護や訪問診療等のサービス利用と家族の協力で自立生活を維持している。

事故報告件数は10件で、前年(23件)よりも減少。事故による救急搬送も1件あったが、入院することなくケアハウスに戻る事ができた。

自力移動時の転倒事故件数が伸びており、日々の声掛けや家族・ケアマネジャー・介護サービス事業所との情報共有を強化し、入居者の安全を守っていくことが重要となる。

1. 入居者待機状況



待機者数：21名
男性：8名
女性：13名

地域別待機者数
市内：14名
市外：7名

2021年度は2名の入居と2名の退居があり、年間延べ人数192名(100.0%)の在籍となった。

平均在籍年数は6年3ヶ月で、最長は20年8ヶ月である。

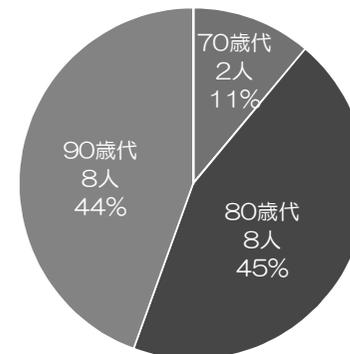
待機者については、個室希望者が17名・二人部屋が4名(2組)となり、平均待機年数は5年1ヶ月という状況である。

2021年度の申込者は、個別希望者が4名・二人部屋が0名(0組)となり、単身での申込者は順調に増えてきているが、夫婦などの申込者の獲得はできなかった。

2. 入居者の状況

a. 年齢構成

(退去者含む延べ18名)



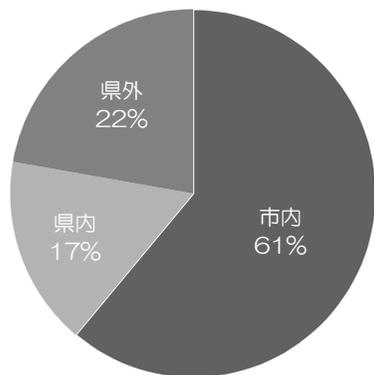
平均年齢：86.9歳
男：86.8歳
女：86.9歳
最高年齢：96歳
最小年齢：74歳

b. 入退居状況

退 居			入 居		
7月=1名	9月=1名	合計2名	8月=1名	10月=1名	合計2名

c. 入居前居住地

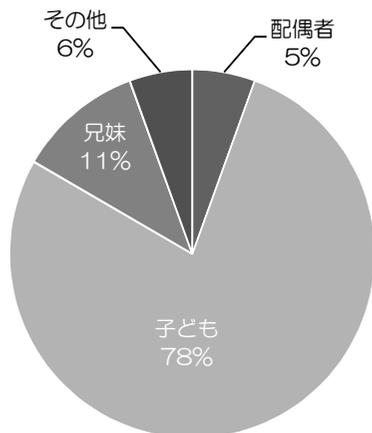
(退去者含む延べ18名)



相模原市：11名
 県内：3名
 県外：4名

d. 身元引受人

(退去者含む延べ18名)



配偶者：1名
 子ども：14名
 兄弟姉妹：2名
 その他：1名

e. 家族・知人の来訪回数

単位：人

	19回以下	20～49回	50～59回	60～69回	70～79回	80回以上
2021年度	11	3	0	1	0	1
2020年度	13	4	1	0	0	0
2019年度	11	4	1	0	0	1

2021年度 延来訪回数 376回 平均来訪回数 23.5回
 2020年度 延来訪回数 249回 平均来訪回数 13.8回
 2019年度 延来訪回数 312回 平均来訪回数 20.8回

※介護サービスや医療サービス等の利用も増えると共に、それらへの立ち合いやサービスで補えない部分に関しての家族の協力も増加している。

f. 外泊・入院の状況

単位：実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外泊	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6
入院	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	2	7

3. 介護保険サービスの利用状況

(2022.03.31 在籍：16名)

a. 入居者の介護度

単位：人

	自立	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
2021年度	6	2	3	3	2	1	1	0
2020年度	7	1	2	2	2	1	1	0
2019年度	7	2	4	2	1	0	0	0

b. 介護保険サービス利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	5	5	5	5	7	6	6	6	6	6	7	8	72
訪問介護	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
短期入所	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6
福祉用具	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	42
その他	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	6	42

4. 行事催行状況

a. 定例行事

行事名	実施回数	参加者数	内 容
ラジオ体操	毎 日	希望者	DVDを見ながら10分間の体操
誕 生 会	月1回	全 員	誕生日祝
合 唱 会	月2回	希望者	音楽療法士を招いて実施（特養合同行事）
例 会	月1回	全 員	例会時に「館の夢」作成・配布
定期健康診断	年 1 回	希望者	入居者の健康診断
かわり湯	年 2 回	全 員	季節感を演出する

b. 計画行事

月	日	行 事	人数	内 容
4月	1 (木)	窓ガラス清掃	11	業者による居室の窓ガラス清掃
	9 (金)	居室床清掃	16	業者による居室ワックス掛け
	16 (金)	五月人形	-	五月人形飾りつけ（玄関）
	21 (水)	フィルター清掃	16	業者による居室のエアコンフィルター清掃
	26 (月)	衛生害虫防除	16	業者による居室の害虫防
5月	28 (水)	例会・季節のおやつ	14	翌月行事のお知らせ・あられと苺ムース
		お花見御膳	14	お花見食事会
	1 (土)	待機者調査	19	待機者継続・取消確認調査
	5~7・9	かわり湯	12	菖蒲湯
6月	6 (木)	消防設備点検	16	居室内火災報知器点検
	26 (水)	例会・季節のおやつ	13	翌月行事のお知らせ・水饅頭と新茶
		感染症・熱中症対策	13	新型コロナワクチンに関して・熱中症予防
	10 (木)	予防接種	8	新型コロナワクチン予防接種
7月	17 (木)	予防接種	7	新型コロナワクチン予防接種
	23 (水)	例会・誕生会・季節のおやつ	12	翌月行事のお知らせ・誕生日祝（2名）・メロンと新茶
		感染症対策	12	新型コロナウィルス感染症について
		七夕飾り制作	16	飾り・短冊制作
	29 (火)	消防避難訓練	14	避難訓練
8月	1 (木)	窓ガラス清掃	14	業者による居室の窓ガラス清掃
		予防接種	8	新型コロナワクチン予防接種
	8 (木)	予防接種	7	新型コロナワクチン予防接種
	21 (水)	フィルター清掃	16	業者による居室のエアコンフィルター清掃
9月	28 (水)	例会・誕生会・季節のおやつ	14	翌月行事のお知らせ・練り切り七夕と玄米茶
		衛生害虫防除	16	業者による居室の害虫防除

月	日	行 事	人数	内 容
8月	3 (火)	バルコニー清掃	16	業者によるバルコニー清掃
	25 (水)	例会・誕生会・季節のおやつ	14	翌月行事のお知らせ・誕生日祝（1名）・アイスと抹茶ラテ
		食中毒予防	14	食中毒注意喚起
9月	22 (水)	例会・誕生会・季節のおやつ	13	翌月行事のお知らせ・練り切り月見とほうじ茶
		敬老会	16	敬老祝プレゼント
10月	1 (金)	窓ガラス清掃	11	業者による居室の窓ガラス清掃
	20 (水)	フィルター清掃	16	業者による居室のエアコンフィルター清掃
	26 (月)	衛生害虫防除	16	業者による居室の害虫防除
	27 (水)	例会・誕生会・季節のおやつ	14	翌月行事のお知らせ・誕生日祝（3名）・かぼちゃプリンと干しイモ
11月		年次点検案内	14	停電時に関する説明
	1 (月)	消防設備点検	14	居室内火災報知器点検
	7 (日)	電気設備年次点検	-	全館停電
12月	17 (水)	消防避難訓練	10	避難訓練
	24 (水)	例会・誕生会・季節のおやつ	13	翌月行事のお知らせ・誕生日祝（1名）・モンブランとシブーストとほうじ茶
		運動・感染症対策	13	居室内でできる体操・感染症対策
1月	22 (水)	例会	15	翌月行事のお知らせ・サンドイッチ
		忘年会・クリスマス会	15	プレゼント・クリスマス料理（パン）
	21~23	かわり湯	13	柚子湯
2月	30 (木)	大掃除・お正月飾り	-	各自清掃作業
	6 (木)	窓ガラス清掃	12	業者による居室の窓ガラス清掃
	19 (水)	フィルター清掃	16	業者による居室のエアコンフィルター清掃
3月	26 (水)	例会・誕生会・季節のおやつ	13	翌月行事のお知らせ・誕生日祝（3名）・練り切りと甘酒
		フレイル予防	13	未病改善・トレーニング
	22 (火)	ひな人形	-	ひな人形飾りつけ
4月	23 (水)	例会・誕生会・季節のおやつ	12	翌月行事のお知らせ・誕生日祝（1名）・チョコとベリーケーキ
		感染症予防	12	感染症に関して
5月	23 (水)	例会・誕生会・季節のおやつ	13	翌月行事のお知らせ・誕生日祝（1名）・桜ロールケーキと桜茶
		食中毒予防	13	食中毒に関して（施設ルール）

●行事について

2021年度も新型コロナウイルス感染症対策により、外出を伴うイベントは中止とした。

体力づくり・維持を目標に、毎朝ラジオ体操を実施しており、参加者は平均2～4名程となっている。終了後は食堂での談話や「お疲れ様。頑張ったね」と声を掛けあう様子が見られ、交流の時間になっている。

身体的な面でラジオ体操に参加できなくなってしまった方がいたが、新入居者2名が参加される為、参加者は徐々に増えている。

外出イベントに代わって新たな楽しみとして、毎月の例会の中でおやつクリエーション等の食事を楽しむ企画を開始し、季節のケーキや旬の果物等も提供したところ、とても好評だった。

また、コンビニ移動販売（毎週木曜日）や自動販売機による食品の販売等が開始され、入居者の買い物の支援にも繋がっている。

恒例行事である、かわり湯（菖蒲湯や柚子湯）や五月人形飾り・七夕飾り・クリスマス飾り・正月飾り・ひな人形飾り等で、季節感を楽しんでいただけた。

新型コロナウイルス感染症予防による制限があるが、その中でも有意義な時間が過ごせるようなイベントを今後も企画していきたい。

●介護サービスの利用について

平均年齢が86.9歳、平均介護度が0.7となり、16名中10名が要介護認定を受けている。（2022年3月31日現在）

高齢や病気等により、介護サービス利用者が徐々に増えてきており、2021年度に退所された方も、ケアハウスで生活が厳しくなった際にショートステイの利用が必要となり、同法人のショートステイピノや他事業所のショートステイを利用されたが、ケアマネジャーと協同し、スムーズにサービスが受けられられる環境に移ることができた。

デイサービスの需要が高まっており、入浴介助やリハビリ等の為に通われている方が多くいる。

ケアハウスではサポートできない日常生活動作等を自身でする必要がある為、自立生活を続けるための体力づくりは日々の課題となっている。

体力づくりや体調管理等の意識的な行動や、様々なサービスの組み合わせ、また、家族の支えがとても重要になってきている。

●2021年度の三者面談について

新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

家族と入居者間での交流は、通院や買い物の付添い・介護サービスの利用の立ち合い等、以前よりもその頻度が増えてきている。

家族が定期的に来所されるようになったため、日々の様子や変化等、情報共有の機会も増えた。

認知症などの症状で不安を抱える入居者もあり、今後も様々なサービスが必要になっていく事が予測される為、すぐに必要なサービスに手が届くように、他職種共同でサポート体制を整え、安心安全に生活できるように相談援助を展開することが必要となる。

5. 苦情

2021年度・・・0件

S Housing ervised

フレイグラントオリーブナナ

2021年度は32部屋中9名の入退居があり、年度末時点での入居者は23名と入居率7割を超えた。

10月から毎月入居があり、年度末までに新規入居者は7名となった。これは、開設以来未入居となっていた空き部屋の家賃を下げたことによる反響が大きいと考えられる。

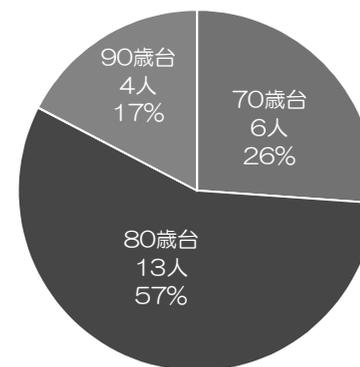
退去者は2名で、ADL低下により近隣のグループホームや他法人のケアハウスへ移動される事となった。

1. 入居者待機状況

実数としての管理は行なっておらず、外部業者と提携し、満床に向けて対策を講じていく。

2. 入居者の状況

a. 年齢構成



平均年齢：84.3 歳

男：85.0 歳

女：83.9 歳

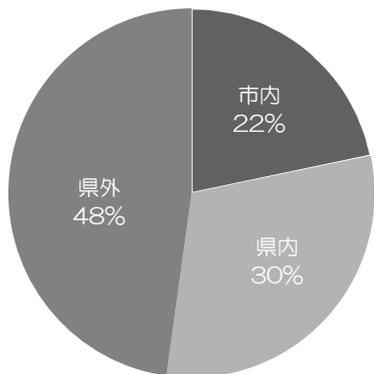
最高年齢： 94 歳

最小年齢： 72 歳

b. 入退居状況

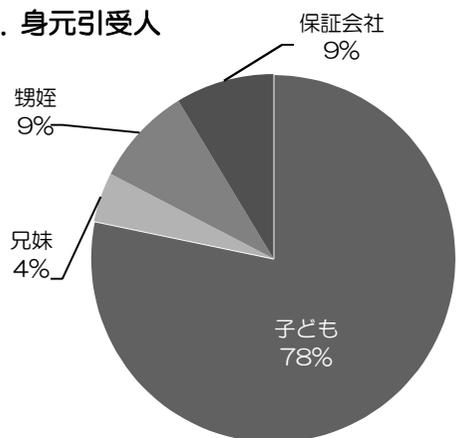
退 居		入 居	
4月= 1名 8月= 1名	合計 2名	10月= 1名 11月= 1名 12月= 1名 1月= 1名 2月= 2名 3月= 1名	合計 7名

c. 入居前居住地



相模原市： 5名
県 内： 7名
県 外：11名

d. 身元引受人



子 ども：18名
兄弟姉妹： 1名
甥姪 ： 2名
保証会社： 2名

e. 家族・知人の来訪回数

単位：人

	19回 以下	20～ 49回	50～ 59回	60～ 69回	70～ 79回	100回 以上
2021年度						
2020年度						
2019年度						

2021年度 延来訪回数 回 平均来訪回数 回
2020年度 延来訪回数 回 平均来訪回数 回
2019年度 延来訪回数 回 平均来訪回数 回

*実数としての管理は行なっておらず、把握は今後の課題である。

f. 外泊・入院の状況

単位：実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外泊													
入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*外泊は実数としての管理は行なっておらず、把握は今後の課題である。

3. 介護保険サービスの利用状況

a. 入居者の介護度

単位：人

	自立	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
2021年度	6	6	5	5	1	0	0	0
2020年度	4	4	6	4	0	0	0	0
2019年度	3	4	4	7	0	0	0	0

b. 介護保険サービス利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	9	9	9	9	8	9	9	10	10	10	9	9	110
訪問介護	3	3	2	4	4	4	4	5	5	5	5	4	48
短期入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
福祉用具	7	7	7	7	6	6	7	8	8	8	9	8	88
その他	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4

4. 行事催行状況

a. 定例行事

行事名	実施回数	参加者数	内 容
カラオケ喫茶	週一回	希望者	3時間開催・入居者限定
ヤクルト販売	週一回	希望者	ヤクルトによる訪問即売会
ローソン移動販売	週一回	希望者	ローソン移動販売車による訪問即売会
百歳体操	週一回	希望者	30～45分程度の着席で行う体操

b. 計画行事

月	日	行 事	人数	内 容
4月	4(日)	ランチ会	15	お花見と併せて食事会
	29(木)	避難経路ツアー	12	入居者が自室からの避難経路を確認する
5月				
6月				
7月	4(日)	七夕・ナナの日	14	バンド演奏会
8月				
9月	5(日)	茶話会／運営懇談会	13	予定や近況報告と意見収集
	22(水)	総合避難訓練	17	施設職員・入居者と、保育園ナナ職員での訓練
10月				
11月				
12月	19(日)	クリスマス会	13	鎌倉学園生徒によるマジックショー（ZOOM使用）と茶話会
1月				
2月				
3月	6(日)	茶話会／運営懇談会	17	予定や近況報告と意見収集
	25(金)	総合避難訓練	5	施設職員と、保育園ナナ職員での訓練
	27(日)	お花見イベント	13	ビノの庭でお花見と喫茶

●行事について

新型コロナウイルス感染症の影響が続いていたが、音楽イベントやZOOMを使ったイベントを実施できた。

定例行事として、出来なくなった「ラジオ体操」に代えて、「いきいき百歳体操」を6月から開始した。

●介護サービスの利用について

自立～要支援の方が多く、入居者での訪問介護利用は4名、デイサービスは9名の方の利用に留まっている。

5. 苦 情

2021年度・・・0件

D Service ay

デイサービスセンターモモ

2021年度の月間平均最低値は2022年2月の14.1人（稼働率47.1%）、最高値は2021年4月の19.6人（稼働率65.4%）であった。

2021年4月に登録者数55人でスタートし、2022年3月の登録者数は59人。年度内の打ち切り者は11人という結果であった。

また、1日平均参加人数については、年度通しての目標である24人を超えることが出来ず、17.6人（稼働率58.6%）となった。

今後も、1日あたりの登録人数を30人から35人程度で維持するために、引き続き新規利用者の獲得や既存利用者の増回により、1日あたりの平均参加人数24人以上の達成を継続できるようにすると同時に、コミュニティセンターピノとの連携密度も濃くし、通所課全体の実績向上に努めていく。

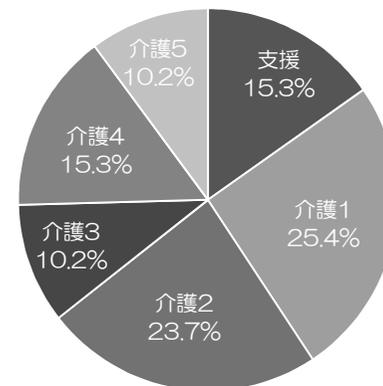
稼働率が下降している現状にも関わらず、職員の些細なヒューマンエラーが目につくようになっていくことが課題であり、大きな事故に繋がるリスクが高いため、職員一丸となって気を引き締め、効率的な運営に繋げていく。

<利用者の現況>

既存の利用者のADLの低下や、認知症のBPSD症状が強く現れてしまっている利用者も増加しており、その利用者に適した対応や環境への移行を行なっていく必要がある。

1. 利用者の現況

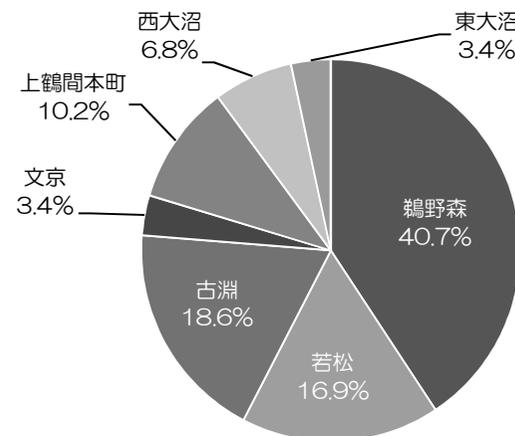
a. 介護度



要支援：9人
介護1：15人
介護2：14人
介護3：6人
介護4：9人
介護5：6人

契約数：59人
2022.03末の登録者

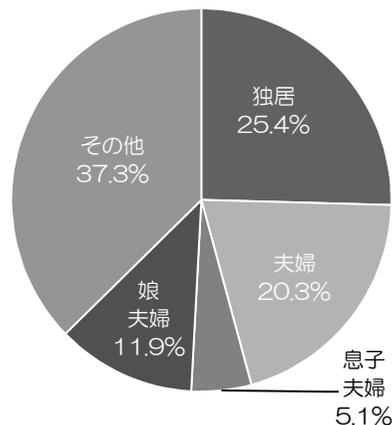
b. 地域別利用者



鶴野森：24人
若松：10人
古淵：11人
文京：2人
上鶴間本町：6人
西大沼：4人
東大沼：2人

事業所周辺地域に在宅する利用者が多く、無理のない送迎が行なえている。車椅子の利用者が増えているが、2便に分けた送迎等で問題無く対応できている。

c. 利用者世帯状況



独居：15人
 夫婦：12人
 息子夫婦：3人
 娘夫婦：7人
 その他：22人

子と同居している方も多いが、独居・夫婦の割合が2020年と比較して、増加傾向にある。

しかし緊急時の面では問題があるといえる。

d. ADL

単位：人

年度	トイレ		移動			
	自立	介助	自立歩行	杖歩行	車椅子	介助
2017年度	78	34	36	36	16	24
2018年度	62	21	27	24	9	23
2019年度	39	20	15	13	9	22
2020年度	36	22	13	13	14	18
2021年度	34	25	16	7	18	18

2020年と比較し、トイレは自立と車椅子使用者が増加傾向にある。

移動は介助に歩行器・バギー使用者も含め変化はない。

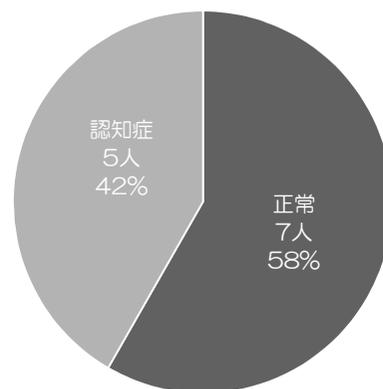
e. 認知症

単位：人

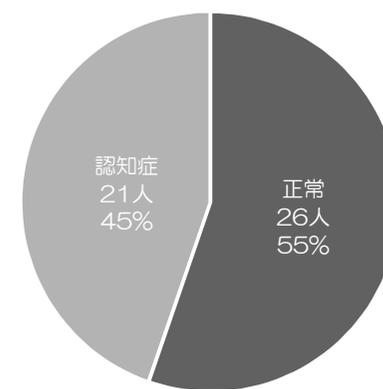
年度	認知症	正常範囲	合計
2017年度	35	51	86
2018年度	31	52	83
2019年度	18	41	59
2020年度	25	33	58
2021年度	26	33	59

認知症者は増加の傾向にあり予備軍も多数。必要に応じ受診し診断・処方への理解が重要。認知症と共存できる環境の提供が課題。

認知症（男性）



認知症（女性）



f. 疾患状況

生活習慣病から、毎年上位である高血圧症に次いで脳血管疾患も増加傾向にある。高齢化による認知機能の低下、老々介護による在宅での薬の飲み忘れ等、自己管理不足や家族による内服コントロール不良も多く、フォローアップが課題となっている。

疾患の早期発見に努め、利用者家族やケアマネジャー等へ迅速に情報伝達を行なうことによって、診断や治療へ結びつけることが必要である。

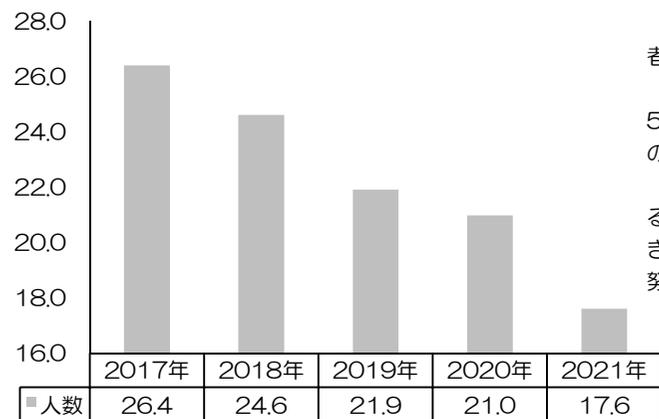
しかし「自力での受診不可」や「受診に連れていくことが困難」なケースも見られているため、今後も、在宅生活困難者に対する働き掛けが必要とされる。

今後の課題として、既存利用者のADL低下に伴って新たに疾患が増えた場合、ケアマネジャーや家族との連携不足でデイサービス側が情報を把握できていない事態が起こる可能性が挙げられる。

契約時の情報だけでなく、利用者に関わる新しい情報（新たな疾患・服用中の薬の変更等）を収集し、お便り等で呼び掛け、疾患や薬に関わる情報をその利用者をサポートする全ての関係者で共有していく。

2. サービス利用状況

a. 1日平均利用者数



2020年度と比較し、実利用者数の低下が見受けられる。
 登録者数は2022年3月で59人と、年度当初から11人の打ち切り者となる。
 安定したサービスを提供する為、職員一丸となって気を引き締め、サービスの質の向上に努める。

単位：人

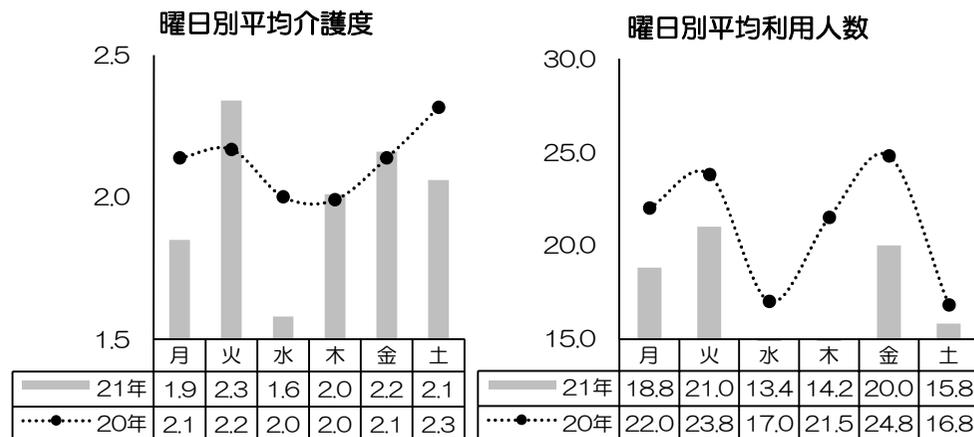
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
登録者数	1028	974	883	690	671
実利用者数	7911	7539	6731	6003	5432
入浴利用者数	4034	4939	4667	4336	4023
サービス実施日数	299	306	307	308	309
1日平均利用者数	26.4	24.6	21.9	16.4	17.6

b. 月間サービス利用実績

単位：人

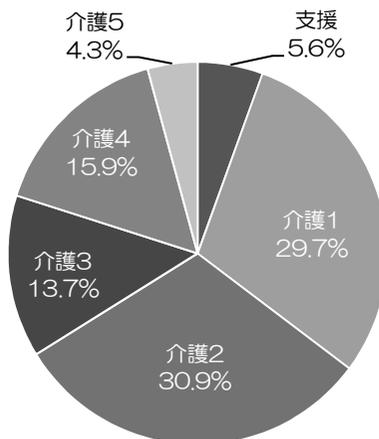
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録者数	55	54	55	55	55	55
実利用数	510	476	488	505	478	448
実施日数	26	26	26	27	26	27
1日平均	19.7	18.3	18.8	18.8	18.3	16.6
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
54	55	57	57	60	59	671
449	452	421	404	339	462	5432
26	26	24	24	24	27	309
17.2	17.3	17.6	16.9	14.1	17.1	17.6

c. 週間サービス利用実績



	月	火	水	木	金	土	全体
平均人数	18.8	21.0	13.4	14.2	20.0	15.8	17.6
登録者数	29	30	24	26	28	20	157
平均介護度	1.9	2.3	1.6	2.0	2.2	2.1	2.0

d. 介護度別サービス利用実績



単位：人

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
支援	564	622	662	354	302
介護1	1651	1639	1785	1773	1613
介護2	2397	3003	2440	2035	1679
介護3	1078	1316	741	713	746
介護4	645	710	860	927	861
介護5	410	253	227	201	231

3. 送迎状況

単位:人

通所形態	月	火	水	木	金	土	合計
送迎車両	18	20	11	15	19	11	94
家族送迎	0	1	0	1	0	1	3
同一敷地	1	0	1	0	0	2	4
合計	19	21	12	16	19	14	101

利用者に負担のない送迎を心掛け、家族の要望に可能な限り対応できる送迎の実施。基本は車輛3台での送迎を行ない、利用者の臨時参加や欠席による増減に対して2便対応、2台対応をしており、状況を見てピノ車輛と協力して送迎を行っている。安全面では、速度はもちろん運転手と職員で危険地点の情報を共有し、意見交換を行ない、より良いルートを常に模索している。

今後も職員一同協力し合い、利用者に快適で安全な送迎を提供していく。

4. 行事・プログラム

月	内容
4月	外気浴/映画会・カレンダー作業(バラの花の製作) レクリエーション(ピンポン玉ゲーム)・誕生日会
5月	作業プログラム夏(夏の壁面製作)・映画会・七夕飾り製作・夏の書道・誕生日会
6月	レクリエーション(サッカーゲーム・ボウリング)・作業プログラム(塗り絵用額縁製作) カレンダー作業(マープリングで金魚鉢)・誕生日会
7月	レクリエーション(シェンガゲーム・引っぱりゲーム)・秋の書道 秋の作業(塗り絵用額縁製作)・映画会・誕生日会
8月	夏祭り(盆踊り、射的ゲーム)・カレンダー作業(ふくろうの製作) 秋の作業(秋の壁面製作)・レクリエーション(紙コップ重ねゲーム)・誕生日会
9月	レクリエーション(ロケット発射ゲーム・稲刈りゲーム) 作業プログラム(秋の壁面製作・冬の壁面製作)・誕生日会
10月	運動会・作業プログラム(冬の壁面製作)・レクリエーション(さつまいも収穫ゲーム) カレンダー作業(クリスマスツリー製作)・冬の書道・誕生日会
11月	作業プログラム(冬の壁面製作・一輪挿しの壁飾り製作) 外気浴/映画会・忘年会作業・誕生日会
12月	カレンダー作業(パステル)・正月作業・お食事会 作業プログラム(門松製作)・誕生日会
1月	初詣レクリエーション・書初め・映画会 作業プログラム(塗り絵の額縁製作)・誕生日会
2月	節分レクリエーション(鬼的的当てゲーム)・カレンダー作業(フェルトのたんぼぼ製作) 作業プログラム(桜の木の製作)・レクリエーション(カーリングゲーム)・誕生日会
3月	レクリエーション(紙コップゲーム・いちご狩りゲーム)・外気浴 個人作業プログラム(小物入れ製作)・作業プログラム(的当ての的製作)・誕生日会

2021年度は、個々のADLに合わせたプログラムを行ない、作業系・運動系・脳活性化を促すレクリエーションをバランスよく提供した。

外出訓練は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、施設内でプログラムを実施したり、車内の人数を減らして実施した。

今後も、更に増加が予想される認知症の利用者への対応を更に追求すると共に、個々のニーズに幅広く対応し、充実した時間を提供できるように目指していく。同時にデイサービスの特色である広いフロアを活かしつつ、迅速なケアと援助の提供に努めていく。

5. 事故

2021年度の事故件数 3件

事故の内容は、尻もち(脱衣室)・自力移動時転倒(フロア内)・自力移動時転落(フロア内)それぞれ1件となっている。

転落に関しては、レクリエーション中に職員が側で対応していたが、利用者が椅子に浅く座っていたことに気が付かず、椅子から転落してしまった。

職員の意識、利用者の行動などを改善することで防げた事故もあり、利用者一人一人に真摯に向き合い、日々の状態を密に観察することでリスクを把握し、安心且つ安全な環境を提供していく。

事故内容やインシデントに対しては、デイサービスのカンファレンス等で検証し、統一ケアを図ることで年間を通して「事故0件」を目指し、職員のスキルの向上に努めていく。

2022年度も、職員一丸となり気を引き締め、再発防止に努めていく。



コミュニティセンターピノ

2021年度の1日平均利用者数は4.2人で、平均稼働率は35.1%となっている。定員12人の事業所としては、稼働率が極めて低く危険な運営状態となっている。早急に稼働率を上げるための対応、改善を試みる。

年度当初の稼働率は40.0%以上であったが、2021年5月にコロナウイルスによるクラスターが発生し、臨時休業期間が生じた。また、利用者にも影響を与えたため、稼働率の低下に繋がり、回復するまでに6ヶ月程度の期間を要した。新規登録人数を常に増やし、臨時参加などを率先して受け入れる対応を心掛ける。

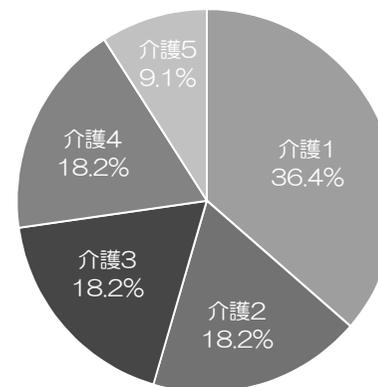
既存利用者の増回は実績向上の最短ルートではあるが、打ち切りになった時の打撃が大きい。定員（1日12人）の中で、既存の利用者と新規利用者とのバランスのとれた登録調整が課題となってくる。

実績を向上させるには新たなサービスの創造が不可欠である。コミュニティセンターピノならではのサービスを構築し、安定した運営を実施する。

同時に、新規登録人数の確保の手段として、デイサービスセンターモモ、居宅サービスセンターモモ、ケアステーションナナとの連携の強化は必須事項である。

1. 利用者の現況

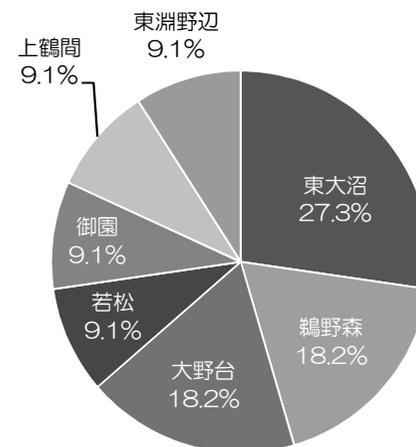
a. 介護度



要支援：0人
 介護1：4人
 介護2：2人
 介護3：2人
 介護4：2人
 介護5：1人

契約数：11人
 2022.03 末の登録者

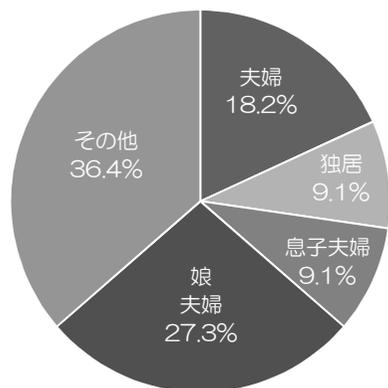
b. 地域別利用者



東大沼：3人
 鶴野森：2人
 大野台：2人
 若松：1人
 御園：1人
 上鶴間：1人
 東淵野辺：1人

周辺地域だけでなく、遠距離の利用者も対象にしている。

c. 利用者世帯状況



夫 婦： 2人
 独 居： 1人
 息子夫婦： 1人
 娘 夫 婦： 3人
 そ の 他： 4人

d. ADL

単位：人

年度	トイレ		移 動			
	自立	介助	独立歩行	杖歩行	車椅子	介助
2017年度	4	9	7	3	0	3
2018年度	5	10	5	4	3	3
2019年度	6	7	5	2	3	3
2020年度	8	6	7	1	5	1
2021年度	6	5	5	2	3	1

排泄はADLが自立であっても、当日の状態によっては介助が必要となり、実際の生活内では行動の見守りや声掛けなど、何らかの関わりが必要である。

移動についても同様で、認知症疾患から季節や精神的不安定によるADLの変化があるため、朝の送迎時の行動から来所に至るまで、活動時間中の行動や言動を注視し、対応にあたらなくてはならない。

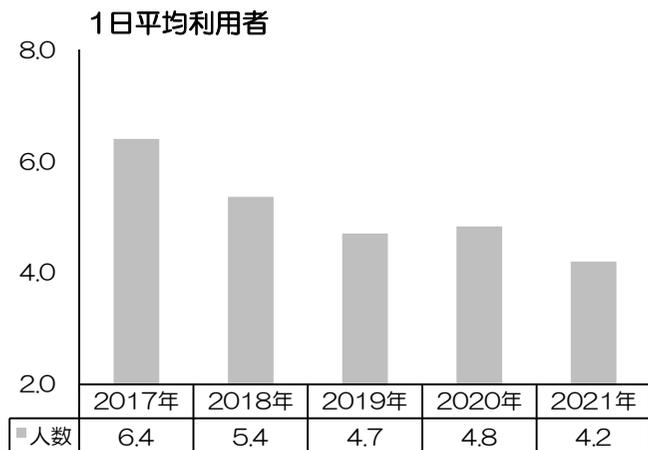
e. 疾患状況

認知症対応型通所介護の基準として、認知症の診断が利用時に必要であることから全員が該当するが、詳細は脳血管型認知症よりも脳の萎縮によるアルツハイマー型認知症の割合が多く、進行度合いも早いと感じられる。認知症の進行予防にも力を入れていかなければならない。

利用者世帯状況から、夫婦での生活（老々介護）が2割弱、独居が1割弱となっており、在宅生活を維持する上で重要な服薬管理など、非常に困難な点が多い。指示通りに内服管理ができないことで認知症の周辺症状が進行してしまう。その他の疾患に関しても医療による成果が得られていない現状がある。

家族、ケアマネジャー、医療機関と連携することで、在宅生活継続の援助をしていかなければならない。疾患に関する最新の情報を入手、把握し、利用者が安心して穏やかに過ごせる環境を整える必要がある。

2. サービス利用状況



2021年度は、35.1%の稼働率となっている。
 運営状況に早急な改善が必要であり、引き続き新規獲得に努める。
 課題を明確にし、適切な対応（営業・増回）を、素早く行なう必要がある。

単位：人

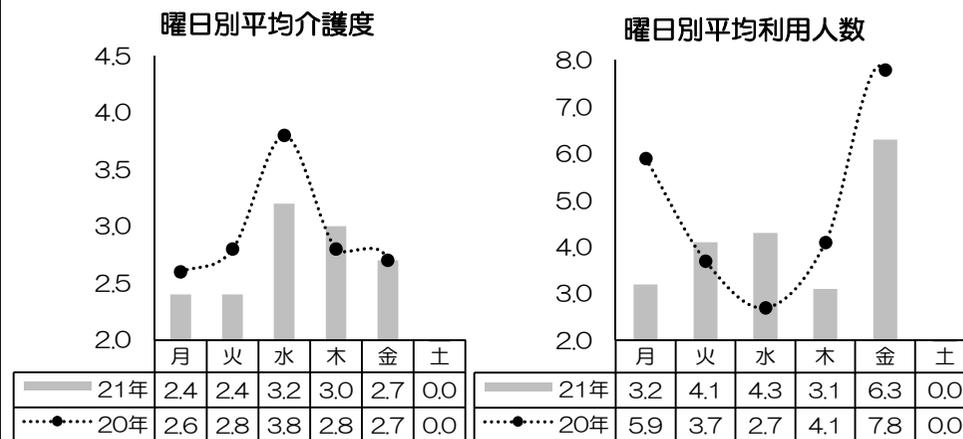
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
登録者数	230	184	178	159	157
実利用者数	1626	1386	1241	1241	1039
入浴利用者数	1374	1186	1018	1056	755
サービス実施日数	255	256	262	257	247
1日平均利用者数	6.4	5.4	4.7	4.8	4.2

a. 月間サービス利用実績

単位：人

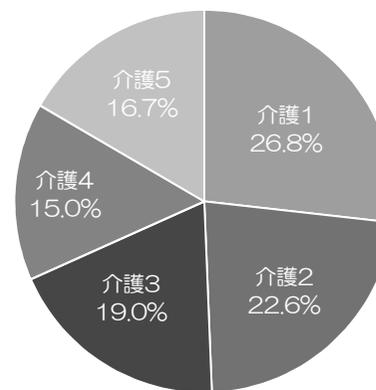
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録者数	14	14	12	14	14	13
実利用数	124	52	79	84	81	76
実施日数	22	11	22	22	22	22
1日平均	5.6	4.7	3.8	4.0	3.7	3.5
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
12	12	14	14	13	11	157
82	94	99	90	85	93	1039
21	22	20	20	20	23	247
3.9	4.3	5.0	4.5	4.3	4.0	4.2

b. 週間サービス利用実績



	月	火	水	木	金	土	全体
平均人数	3.2	4.1	4.3	3.1	6.3	—	4.2
登録者数	6	6	6	5	8	—	6.2
平均介護度	2.4	2.4	3.2	3.0	2.7	—	2.7

c. 介護度別サービス利用実績



単位：人

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
支援	0	0	0	0	0
介護1	214	266	321	257	278
介護2	234	177	56	288	235
介護3	567	476	309	340	197
介護4	28	46	75	103	156
介護5	583	421	480	253	173

3. 送迎状況

単位：人

通所形態	月	火	水	木	金	土	合計
送迎車両	6	6	6	5	8	—	31
家族送迎	0	0	0	0	0	—	0
同一敷地	0	0	0	0	0	—	0
合計	6	6	6	5	8	—	31

送迎は安全かつ合理的に行なう工夫が必要で、サービスの質を高める上で重要である。同じ顔ぶれと一緒にすることからの連帯感が、精神活動の活性化にも繋がる。家族と関わりを持つことができ、情報を得る機会となり、健康管理にも重要なサービスと位置付けられる。

遠距離の利用者の割合が増えてきているので、サービス提供時間に支障の出ない送迎方法の考察などが課題となってきている。

4. 行事・プログラム

月	内 容
4月	外出訓練（散歩） 誕生会 季節の作業 カラオケ
5月	誕生会 季節の作業 カラオケ
6月	誕生会 季節の作業 カラオケ
7月	誕生会 季節の作業 カラオケ
8月	誕生会 季節の作業 カラオケ
9月	誕生会 季節の作業 カラオケ
10月	誕生会 季節の作業 カラオケ
11月	誕生会 季節の作業 カラオケ
12月	誕生会 季節の作業 カラオケ
1月	誕生会 季節の作業 カラオケ
2月	誕生会 季節の作業 カラオケ
3月	外出訓練（散歩） 誕生会 季節の作業 カラオケ

少人数であり、認知症に特化した通所介護であるため、集団や一律に行なうプログラムではなく、利用者一人ひとりに向き合いながら、本人のペースに配慮した関わり方が必要である。

さらに、定員12人という規模から、外出訓練などを積極的に実施できる環境にあるため、それらも考慮しながらピノ独自のプログラムを模索していく。日々の状態変化を観察し、話を聞き入れながら共感し合い、一人ひとりにあった対応方法を考え、職員間でその情報を共有することを継続していく。

5. 事 故

2021年度の事故件数 0件

2021年度の事故は0件となっている。要因としては、稼働率の低下が挙げられる。しかしながら、事故に繋がる可能性があるインシデントは発生しているため、職員は警戒意識を高め、常に安全確保を考えながら行動する必要がある。

利用者一人ひとりに真摯に向き合い、日々の状態を観察することでリスクを把握し、安心且つ安全な環境を提供できるように努力し「インシデント0件」を目指していく。

6. 課題

2021年度の後半期（2021年9月から2022年3月）に、課題を決め、部署として遂行することとした。

『課題の抽出』

①現状分析の実施

2021年9月の状況として、コミュニティセンターピノの介護にあたる介護職員は、常勤介護職員2人（内、1人はデイサービスセンターモモからの出向）、非常勤介護職員2人の合計4人である。

介護経験や保有資格についての内訳は、無資格だが介護経験がある職員1人。有資格だが介護経験がない職員が1人。無資格で介護経験がない職員が2人となっている。介護経験がない職員は、コミュニティセンターピノで2年程度の介護経験をしているが、介護技術の向上は確認できていない。また、記録の重要性を理解しておらず、報連相もできていない。

②原因

- ・現場での介護技術指導が困難な状況。
- ・介護技術、介護知識の不足。

③結論

コミュニティセンターピノの介護の質は、非常に低い。

認知症対応型通所介護としては、認知症のBPSD症状の強い利用者にも自信をもってサービスを提供しなければならないが、それ以前の問題である。

『課題』

- ①介護技術の向上
- ②介護知識の習得
- ③記録の重要性の認識

『課題実施計画』

- ・通所介護で定員（30人/日）が多いデイサービスセンターモモに出向し、職員から介護技術（含：コミュニケーション）指導を受ける。

↓

- ・コミュニティセンターピノでフィードバック実施。

↓

- ・コミュニティセンターピノで活用する。

↓

- ・評価、反省。

↓

- ・繰り返す。

『最終評価』

コミュニティセンターピノとしても、デイサービスセンターモモとしても初の試みであり、当初は計画的に遂行できていた。しかしながら、それぞれのデイサービスの通常業務に余裕がなくなるにつれて、計画は崩れていき、出向をしたとしても「応援」という意味合いが強くなり、課題①～③に対する十分な働きかけができず、成果を出すことができなかった。

『改善点』

①介護技術の向上②介護知識の習得③記録の重要性の認識、3つの課題に共通している点は、介護職員の「積極性」が重要になることである。当事者となる介護職員が、その課題自体の重要性を認識していなくては意味を成さない。その点において、課題を遂行する意義・課題実施計画などを含めた説明が不足していた。また、フィードバックについても明確化していなかったのが問題である。出向の際「何を学んでくるのか。」を明文化し、即日「学んできた内容・活用方法」などを提出するなど、方法はあったと考える。コミュニティセンターピノは介護技術などを学ぶ。デイサービスセンターモモは認知症への理解を深める。相互に得るものは大きいため、より計画的に実施し、継続していきたいと考える。

F_{ood} Service

栄養と調理

<モモ>

栄養ケアマネジメントにおいて、計画書の作成を再開。

日頃から利用者の情報収集に努め、スクリーニングおよびアセスメントを行ない、問題点に関して他職種で検討し、モニタリングしている。

入所者の入れ替わりはあるが、2020年度と比較すると中リスク者の割合は45%から61%と増加傾向にあった。

看取りを始めたことによって中リスク者が増えたこともあるが、体重維持が数年単位で続いている方でも、BMIとしては中リスクに上がってしまうケースや、アルブミン値が未計測であると中リスクになるように変更があったことも原因と思われる。数字だけにとらわれず、血液検査やADL変化等の動向をよく観察し、目の前の利用者には何が出来るかを考えていく。

また、全身状態の低下や嚥下機能の低下が急激に見られるケースが増えてきている（看取りの対象者が増えてきている）為、急激な体重減少や誤嚥性肺炎などのリスクを踏まえ、長期的にみた体重の推移・日頃の状態観察を行ない、食べやすいお食事や栄養補助食品の提供と共に経過を観察していく。

口腔ケアに関しては、連携している歯科医師の助言をもとに、口腔ケアの方法や適切な道具の選定など、介護士・看護師と連携して関わっていく。

2022年2月に実施した満足度調査（対象：特養・デイ・ケア）では、食事の満足度（大変満足・やや満足）が43%から41%に減少している。

原因として、クックチルの為に献立が変化に乏しい事、ADL低下に伴い回答できる方が減っている事があげられる。満足度調査についてはその方法の検討も含め、今後も美味しい食事を召し上げて頂くために、委託先と相談しつつ、今後も厨房でできる限りの事は行ない、満足度の向上に努めたい。

<ピノ>

個々の体格に依じての食事量の調整は主食や副食量で行ない、嚥下状態に合わせた食形態にし、安全で安心な食事提供に努めている。

栄養ケアマネジメントにおいては計画書の作成を再開。モモ同様日頃から利用者の情報収集に努め、スクリーニングおよびアセスメントを行ない、問題点に関して他職種で検討し、モニタリングしている。血液検査やADL変化等の動向をよく観察し、目の前の利用者には何が出来るかを考えていく。

意思疎通が難しく、認知症の進行に伴い経口摂取を拒否される方が多くみられ、胃瘦ないし療養型への転園へとつながっている。積極的な医療措置が行えない以上、経口摂取して頂くことが基本であり、それらが難しくなっていく方のケアが課題としてあがる。介護士・看護師とも相談して、適切に栄養摂取ができる様マネジメントしていく。

看取り介護も開始され、最期を無理強いせず、尊厳のある生活を営むことのできるよう、家族や他職種と相談しながら、栄養補助食品や水分補給ゼリー等、その方に合わせたものを提供している。

口腔ケアに関しては、連携している歯科医師の助言をもとに、口腔ケアの方法や適切な道具の選定など、介護士・看護師と連携して関わっていく。給食会議時に口腔ケアについて検討の時間を設け、口腔衛生管理体制加算の目標や歯科衛生士による助言を周知し、ユニット職員の口腔ケア意識向上に努めた。引き続き口腔ケアの重要性をユニット職員に周知し、誤嚥性肺炎の予防に努めていく。

<ナナ>

2020年8月より変更となったクックチル方式の食事提供は変わらず、味に関しては入居者からは概ね好評価を受けており、今後も継続の予定。但し、予約の期限については開始・締め切りともに早いとの意見が多い。

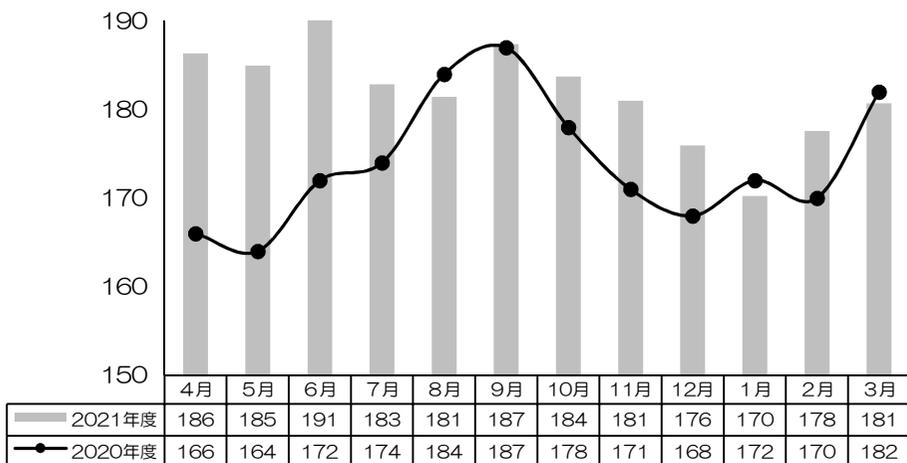
2020年度と比べ入居者が若干増えたことにより、レストラン利用数に関してはやや増加傾向。最も利用の多い夕食で入所者全体の60~68%となっている。朝食・昼食も22~36%とやや増加傾向にある。

入居者間のコミュニケーションの充実や個別対応の見直しを図り、レストランでの喫食者増加に繋げていけるように努力する。

1. 食数

①特養・ショートモモ：月別1日平均食数

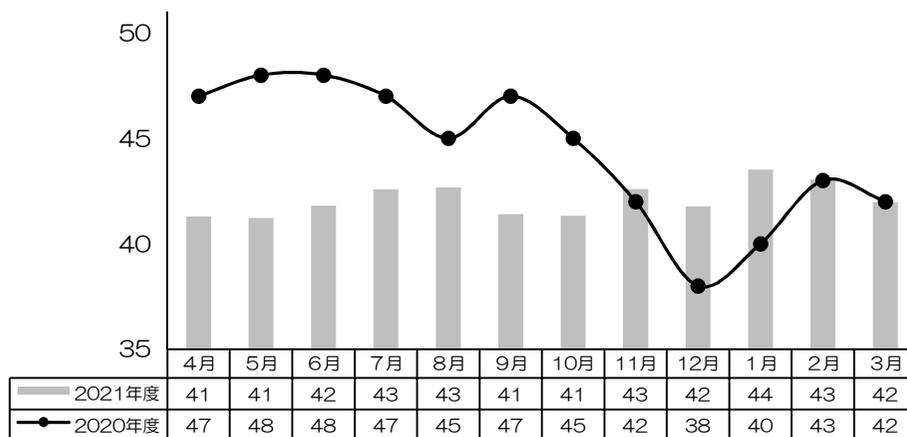
単位：食



2021年度は前年度と比較すると、ショートステイベッドの本入所転換により在園者数が増えはじめたことで、全体に増加傾向となっている。7・8月は特養の退所数が多かった為、前年度と比率して減少となった。

②ケアハウス：月別1日平均食数

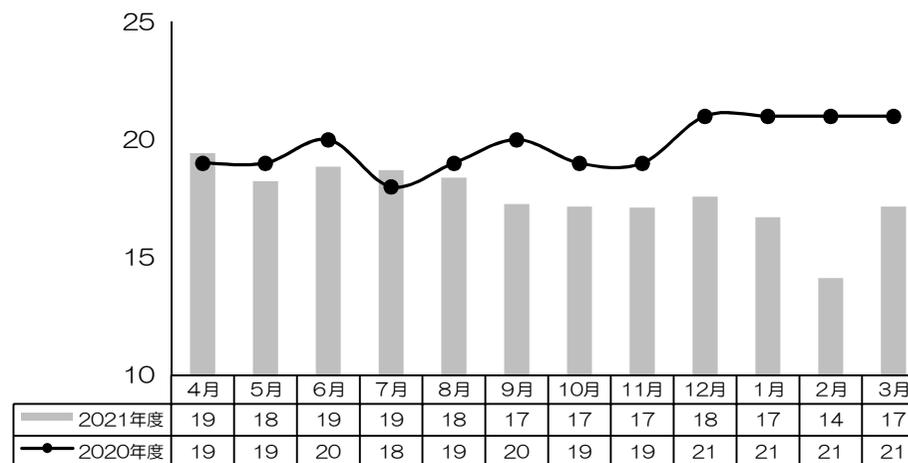
単位：食



満床ではあるが、短期・長期での入院やショートステイの利用、またADLが高い方が入所し外出が増え、食数としてはやや減少している。

③デイサービス：月別平均食数

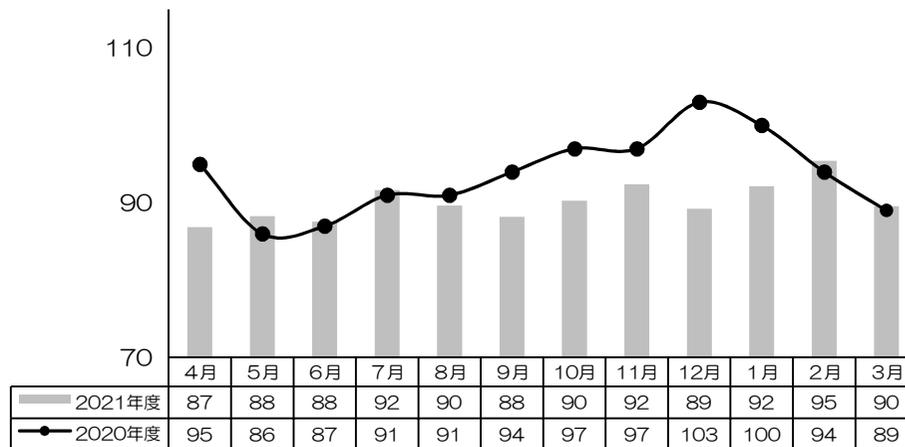
単位：食



新型コロナウイルス感染症の影響もあってか、新規の利用が伸び悩み、そのうえで複数回利用者の終了があったため、全体的に20人を下回る結果となった。

④コミュニティホーム・ショートピノ：月別1日平均食数

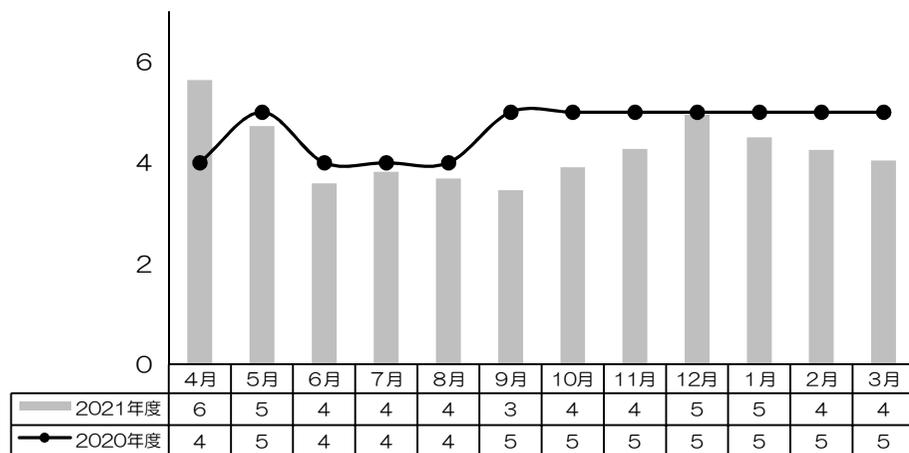
単位：食



ショートステイ長期利用が増え安定している分、予定外退所された場合の食数減少幅が大きく、食数だけ見ると前年度より減少した形になっている。

⑤コミュニティセンター：月別平均食数

単位：食



2020年度年同様、新型コロナウイルス感染症の影響からか新規利用者がほぼおらず、また、本入所に伴う利用終了者も多くあった為、低利用数のままとなっている。

⑥その他

2020年度に引き続き、看取り対象者の増加によりモモ・ピノ共に通常食の提供が減り、半固形食（胃瘻含む）への移行者が多く出ている。

半固形食・胃瘻対象者は食数としては通常食と別にカウントしており、入居数に比べると平均食数が低い部分があるのはその為である。

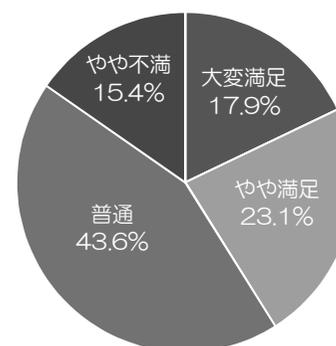
現在、モモ5名・ピノ2名が対象となっている。

2 満足度調査

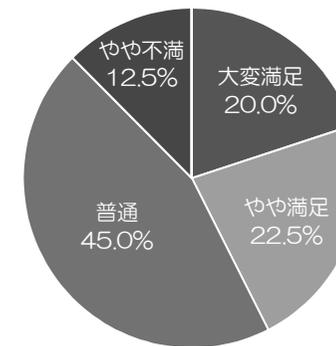
①モモ（特養・デイサービス・ケアハウス）

2021年度は、特養14名及びデイ利用者12名、ケアハウス12名に調査を行なった。特養対象者はHDS-R：15点以上の者とし、デイは職員による抽出により対象者を選出した。

a) 食事の満足度

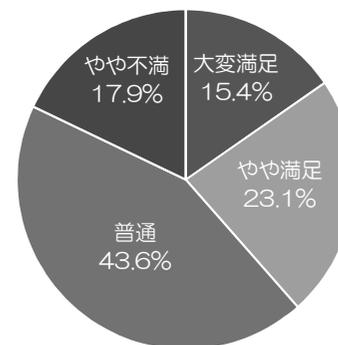


2022年2月実施

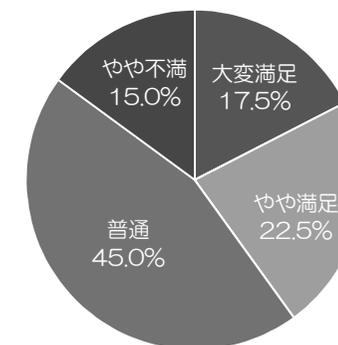


2021年2月実施

b) 食事の温度



2022年2月実施



2021年2月実施

食事の満足度は、大変満足とやや満足を合わせると2020年度が42.5%だったのに対し、2021年度は41.0%と減少傾向がみられた。

意見としては対象者が変わらないため昨年度と同意見が多く、味があわない・同じようなものが多い、量が少ない等の意見が寄せられている。

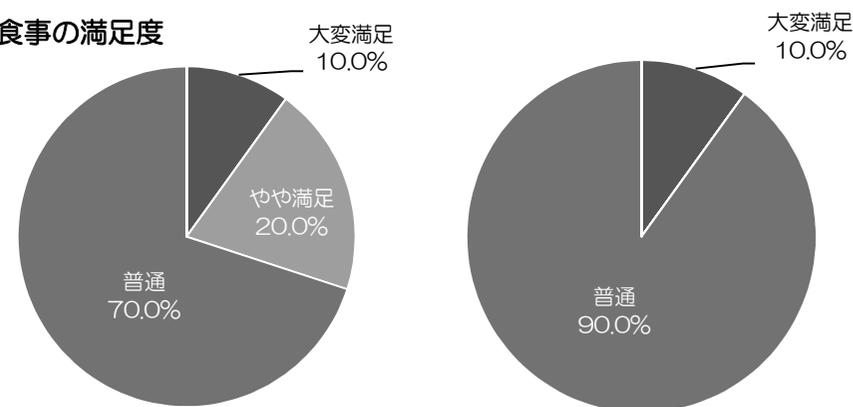
温度に関しては、やや不満・大変不満が2020年度では15%だったのに対し、2021年度はやや不満・大変不満を合わせると17.9%とやや増加傾向にあったが、普通と回答される方がほとんどで、ケアハウスのみが適正の温度で提供できている状態で、温冷配膳車ではない特養やデイでは料理が冷めてしまうのは変わっておらず意見に変化もない。

直前盛り付けなど、できることは実施しているため、今後も利用者の立場にたって適温の食事を提供できるように努力していく。

②ピノ（特養・ショートステイ・デイサービス）

特養6名、ショートステイ2名、デイ2名に調査を行なった。特養対象者はHDS-R：15点以上の者とし、ショートステイ・デイは職員による抽出により対象者を選出した。昨年度より特養に置いて対象者が増えたため、例年通り行なったが、昨年度と変わらず質問を理解した上での回答はほとんど得られず、調査回数及び調査方法の見直しが必要と思われる。

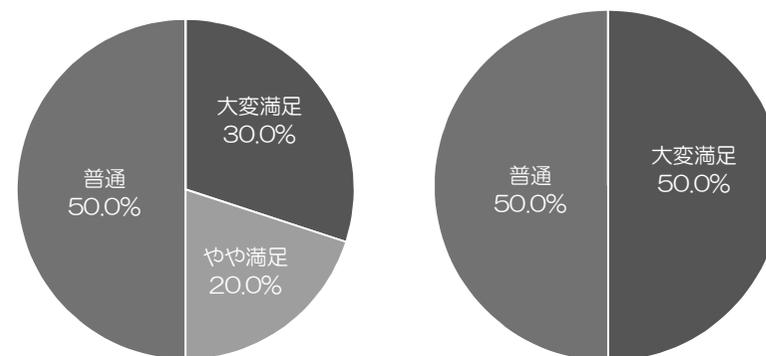
a) 食事の満足度



2021年8月実施

2020年8月実施

b) 食事の温度



2021年8月実施

2020年8月実施

重度認知症者の割合が多く、質問を理解して返答頂ける対象者が1割もない状態で、意思疎通がある程度できる方でも質問に対しうなずかれるにとどまる方が多く、質問者の判断で普通としているところが多い。正確な結果とはいいがたい部分があり、調査方法の検討が必要である。

温度に関しては、特養で温冷配膳を使用しているためか、不満が0%であり、今後もこの数値を維持していきたい。

3 栄養ケアマネジメント

日々変化する個々の栄養状態に合わせて、他職種間で随時情報を共有し、食事量の調整、食事内容や栄養補助食品の検討を行ないマネジメントを行っている。

①モモ

a) BMI 分布

	2021年度	2020年度
18.5未満	18名(31.6%)	21名(36.2%)
18.5以上25未満	34名(59.6%)	34名(58.7%)
25以上	5名(8.8%)	3名(5.1%)

2020年度より対象者を現入居者全員とし、割合を追加した。

全体的に見ると、BMIが18.5未満の方は減少したが、25以上の方が増加している。入居者が入れ替わっているため、多少の変動は加味したところ、概ね昨年度と変わらない数値と言える。

b) 血清アルブミン値

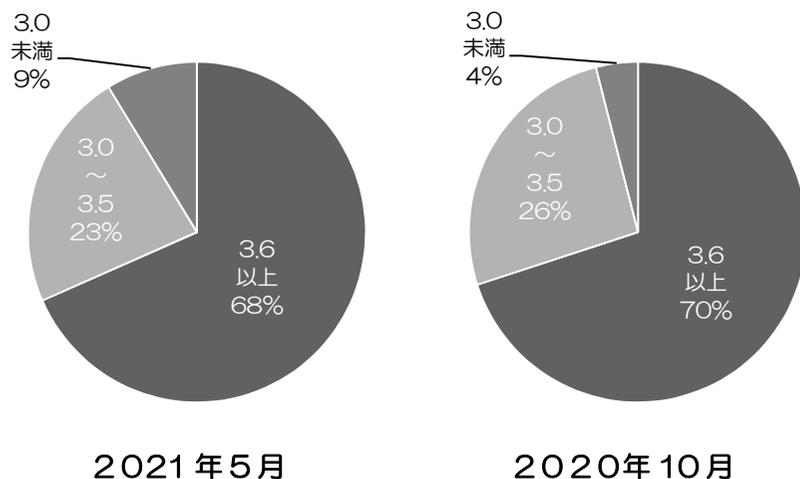
血清アルブミン値が3.6g/dl以上の割合は、2020年度の70%から68.4%とやや減少しているが、3.0~3.5g/dl・3.0g/dl未満の比率はほぼ変わっておらず、対象者の総数が増えたため数字上では変化があるように見えるが、実際には昨年度と変わらない水準となっている。

年間の入居者の状態により、看取り対象者が増加すれば3.0未満の該当者も増加するため割合はあくまで指標とし、個々に向き合ったケアが必要である。

往診時でもアルブミン値のチェックを行ない、低い人には栄養状態が改善できるか否かを他職種で検討し、改善を目指していく。

また、日常的な状態観察や、食事時の嚥下状態確認を行ない、ADLの維持に努める。

血清アルブミン値比較



c) 食事内容調整

内容は、2020年度は嚥下状態によるものと入退院による変更及び看取り対応への移行に対する変更が多くを占めた。

2021年度も嚥下状態や入退院による変更及び看取り対応への移行に対する変更が多く、中には義歯の不具合によるものも見られた。

変更に至っては、看護師・介護士・ケアマネジャーからも情報提供を受け、小さな気づきから他職種で検討を行ない、安全な食事内容を提供し誤嚥事故を防いでいる。

吸引回数が多くなると食事が難しくなり、栄養補助食品のみの対応になるケースも多い。看取り期の食事の在り方について、試行錯誤しながら行なっている。

d) 栄養ケア計画作成

2021年3月では、約55%の入居者が低リスクとなっていたが、2022年3月では約38%となっている。これは前年度から新規利用者等でアルブミン値が未測定の方は中リスク判定になる仕様が変わったことと、看取り対象者の増加によるアルブミン値の低下があげられる。これらを踏まえ、個々調整を行なっていく。

②ピノ

a) BMI分布

	2021年度	2020年度
18.5未満	10名 (40.0%)	13名 (50.0%)
18.5以上 25未満	15名 (60.0%)	13名 (50.0%)
25以上	0名 (0.0%)	0名 (0.0%)

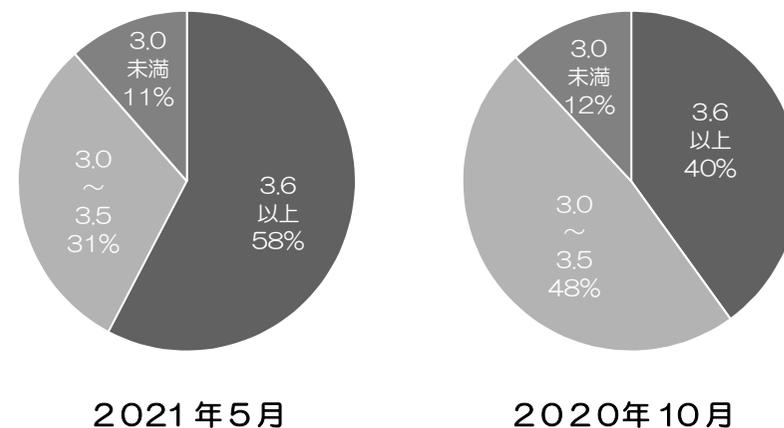
2020年度より対象者を現入居者全員とし、割合を追加した。

2020年度と比べて、標準の方の増加傾向がみられていることから食事が適正な方が多いと言える。しかし、日々体調の変動がある為、あくまで指標として、個別に経過を追っていく必要がある。

b) 血清アルブミン値

2021年5月時点での血清アルブミン値が3.6 g/dl以上の割合は2020年の10月と比較すると大幅に増加し、3.0 g/dl未満の割合は昨年度と同様となった。これは入居者が変わったことによるものと考えられる。往診時に定期的な採血を行なっているため、適宜アルブミン値を確認し、急激に悪化した人には食事内容の検討や栄養補助食品の付加を検討していく。低栄養リスク者が増えないよう、普段からの食事の様子を観察していきたい。

血清アルブミン値比較



c) 食事内容調整

内容は、2020年度は嚥下状態によるものと入退院による変更及び看取り対応への移行に対する変更が多くを占めた。

2021年度も嚥下状態や入退院による変更及び看取り対応への移行に対する変更がほとんどであった。

変更に至っては、看護師・介護士・ケアマネジャーからも情報提供を受け、小さな気づきから他職種で検討を行ない、安全な食事内容を提供し誤嚥事故を防いでいる。

d) 栄養ケア計画作成

介護保険制度の改定に伴い2021年4月より作成を再開した。昨年度との比較がまだないが、モモ同様、中リスク者が多くみられている。

4 経口摂取困難者（看取り期）の食事形態

嚥下状態（飲み込みの低下）・声かけ時の反応低下・1日の覚醒サイクルが一定ではない・吸引等の医療措置の増加・本人の体力低下による食事の負担軽減の必要性等を観察し、必要に応じて半固形栄養食を1食～3食の間で使用していく。

また、水分摂取では、とろみの使用もゼリーの摂取も厳しく、食事量も低下している看取り期の利用者に、まぜてもジュレ（高カロリー水分補給用ジュレ）を提供し、無理のない水分摂取・栄養補給に努めている。

とろみ・水分ゼリーのどちらが本人にとって摂取しやすいのか、適宜、検討を行ない、誤嚥性肺炎のリスクを低下させることが重要である。

また、血液検査の結果を受け、適切な栄養負荷が行える栄養食を選ぶ。

加齢に伴う口腔機能や摂取・嚥下機能の低下が顕著であるため、現在の食事形態維持の為に、嚥下体操や口腔ケアを重視していく必要がある。

定期的に歯科衛生士による口腔ケアチェックを行なっていき、口腔内の清潔保持に努めていく。

5 療養食加算算定

開始までの運用方法検討、献立準備を行ない、2012年9月より療養食算定を開始した。現在、該当者はいない。

食事提供がクックチル方式の為、給食委託業者では対応できない部分が出てきており、今後の運用については検討を要する。

6 選択食

<モモ>

昨年度同様クックチル方式のメニューだと食事での選択食の実施が難しいため、食事については現在見送っている。

特養のおやつについてのみ、2～3種類用意し「セレクトおやつ」の名目で随時行なっている。

7 家族食事会

<モモ>

2021年度もコロナウイルス蔓延のため中止とした。再開を検討する際は対象者のADLやニーズの変化を踏まえ、家族食事会にこだわらずより良い方法を検討していきたい。

8 家族同席の食事（通常）

<モモ>

2021年度も新型コロナウイルス蔓延防止の観点から中止とした。感染症等予防の観点のみならず、入所者のADL（嚥下・食形態・体調）等の変化も考慮すると、今後も家族同席の食事は難しいと思われる。

家族に対して、施設で提供している食事についての情報提供は常にできるようにし、他の方法での家族と入所者の対話の場を設ける事ができるよう、関係各職種と検討していきたい。

9 フロアでの調理・おやつ作り

<モモ>

2021年度のおやつレクは、スイカ割り・クリスマスケーキ（ホットケーキ）作りを開催した。

新型コロナウイルス感染症予防を重視しながら、工程や香りを楽しんで頂けるよう、職員がホットケーキを焼き、用意したトッピングを入所者を選んでいただき、職員がトッピング（調理）する形で行なった。

全体のADL低下に伴い、ご自分でこれらをできる入居者や主体的に楽しむことができる利用者が減り、職員主体になってしまったが、普段とは異なる雰囲気笑顔が増える様子があるため、今後はおやつ（食事）にこだわらず、直接手を出せずとも見て楽しめるレクリエーションを主体に取り組んでいく。

<ピノ>

2021年度のおやつレクは、残念ながら調理過程を見て楽しんで頂けるADLの方が少なく、出来上がるまで待てない方が多かった為、市販のケーキやいつもと違うおやつを提供するにとどまった。

開催する場合は新型コロナウイルス感染症予防を考慮したレクリエーションを行なう。

認知症者の割合が高く、ADLの低下も見られ、参加型のレクリエーションは今後も難しいと思われるが、普段と違う雰囲気を味わって頂くことで入居者の良い笑顔が見られているため、皆で何かを作る雰囲気や季節を感じるおやつレクを継続して行なっていきたい。

10 行事食

<モモ>

給食委託業者側にて、正月祝い膳や敬老祝い膳等の季節の行事食は通常の献立に組み入れてもらい、各部署共通にて実施した。

部署毎の行事食については、給食委託業者側と協議しながら行ない、2021年度も、特養ではカシオペア祭の中止に伴い入所者のみで行なうお祭りで屋台食を提供。デイサービスでは忘年会お楽しみ膳、ケアハウスではクリスマス兼忘年会鍋パーティーを行なうなど、委託業者と施設側とで協力しながらの提供となった。

<ピノ>

給食委託業者側にて、正月祝い膳や敬老祝い膳等の季節の行事食は通常の献立に組み入れてもらい、各部署共通にて実施した。

誕生膳等はユニット毎で計画・提供を行なうため、厨房からの提供は行わず、ケーキや弁当等を外部購入して提供した。

2021年度 行事食実施献立①

月	日	対象部署	イベント名	献立
4月	19～ 24日	デイ	誕生週 (6日間)	ケーキ
	28日	特・デ・ケ	お花見御膳	桜ご飯・白糸だらの粕漬け焼き・関西風玉子巻き・菜の花のお浸し・清汁・いちごムース
		特	誕生会	ケーキ
		ケア	ケア例会	お花見御膳+ひなあられ
5月	5日	特・ケ	こどもの日	えびピラフ・デミグラスハンバーグ・じゃがバター・シーフレッシュサラダ・コンソメスープ
	8日	特	母の日	セレクトおやつ
	17～ 22日	デイ	誕生週 (6日間)	ケーキ
	26日	特	誕生会	ケーキ
		ケア	ケア例会	葛饅頭
6月	20日	デイ	誕生週 (6日間)	鮭ちらし寿司・里芋のそぼろ煮・うぐいす豆煮・清汁・メロンムース
	21～ 26日	デイ	誕生週 (6日間)	ケーキ
	23日	特	誕生会	ケーキ
		ケア	ケア例会	メロン
7月	7日	特・デ・ケ	七夕	天ぷらそうめん・茄子といんげんの煮物・胡瓜とわかめの酢の物・七夕ゼリー
	26～ 31日	デイ	誕生週 (6日間)	ケーキ
	28日	特・デ・ケ	土用の丑の日	鰻のひつまぶし風丼・かに風味つみれ・金時人参入りなます・清汁・柚子ゼリー
		特	誕生会	ケーキ
		ケア	ケア例会	ねりきり

2021年度 行事食実施献立②

月	日	対象部署	イベント名	献立
8月	8日	特・ケ	山の日	菜飯・赤魚味噌焼き・大豆そぼろ生姜風味・金時人参入りなます・清汁・くず餅風デザート
	13日	特・デ・ケ	盆入り	ぶっかけうどん・切干大根煮・マカロニサラダ・水ようかん
	16～ 21日	デイ	誕生週 (6日間)	ケーキ
	25日	特	誕生会	スイカ割り
ケア		ケア例会	トッピングアイスクリーム	
9月	13～ 18日	デイ	誕生週 (6日間)	ケーキ
	20日	特・ケ	敬老の日	赤飯・天ぷら盛り合わせ・ほうれん草のお浸し・清汁・和風ムースこしあん
	21日	特・ケ	お月見	月見うどん・がんもの含め煮・南瓜サラダ
	22日	特	夏祭り	焼きそば・タコ焼き・鶏もも肉の焼鶏風・ピーチゼリー・中華スープ
	23日	特・ケ	秋分の日	菜飯・チキンの味噌焼き・ふきの煮物・金時人参入りなます・清汁・水ようかん
		特	誕生会	和菓子
ケア		ケア例会	ねりきり	
10月	18～ 23日	デイ	誕生週 (6日間)	ケーキ
	27日	特	誕生会	ケーキ
		ケア	ケア例会	干し芋
	31日	特・ケ	ハロウィン	御飯・さわらチーズカレー衣焼き・関西風玉子巻き・ベーコンとブロッコリーのガーリック和え・コンソメスープ・カボチャプリン

2021年度 行事食実施献立③

月	日	対象部署	イベント名	献立
1 1月	3日	特・デ・ケ	文化の日	ゆかりご飯・天ぷら盛り合わせ・豆乳卵の花・清汁・抹茶プリン
	15~20日	デイ	誕生週(6日間)	ケーキ
	23日	特・デ・ケ	勤労感謝の日	ねぎとろ丼・がんもの含め煮・清汁・みたらしムース
	24日	特 ケア	誕生会 ケア例会	ケーキ ケーキ
1 2月	6~11日	デイ	誕生週(6日間)	ケーキ
	13日	デイ	デイ忘年会	きのこ御飯・チキンとごぼうの旨煮・金時豆煮・小松菜の雪花菜和え・清汁・みたらし風ムース
	14日	デイ	デイ忘年会	たけのこ御飯・アジ照り焼き・カリフラワーの唐揚げ・ほうれん草のお浸し・味噌汁・和玉(こしあん)
	15日	デイ	デイ忘年会	ゆかり御飯・タラフライ・きのこのさっと煮・卵豆腐・清汁・きんつば
	16日	デイ	デイ忘年会	ひじき御飯・豚カルビ焼肉風・金平れんこん・ベーコンとブロッコリー・ガーリック和え・味噌汁・ミニ鯛焼
	17日	デイ	デイ忘年会	菜飯・筑前煮・厚焼き玉子・かに風味サラダ・味噌汁・わたようかん
	18日	デイ	デイ忘年会	釜飯風御飯・さわら白醤油焼き・ひじきの煮物・南瓜サラダ・味噌汁・きな粉風ムース
	22日	特・デ	冬至	ゆかりご飯・たらごま油かけ・かぼちゃいとこ煮・大根柚子風味・清汁
		ケア	クリスマス会・忘年会	オープンサンド
	24・25日	特	おやつレク・誕生会	クリスマスケーキ
	25日	特・ケ・デ	クリスマス膳	御飯・洋風プレート・たまごサラダ・コンソメスープ・苺ムース
	31日	特・ケ	大晦日	年越しそば・金平れんこん・りんごゼリー

2021年度 行事食実施献立④

月	日	対象部署	イベント名	献立
1 月	1日	特・ケ	元旦(おせち)	赤飯・赤魚の西京焼き・おせち盛り合わせ・具沢山清汁
	2日	特・ケ	3が日祝い	ねぎとろ丼・海老団子と野菜の炒め煮・子持ち木耳・清汁
	3日	特・ケ	3が日祝い	年明けうどん・竹輪と根菜のそぼろ煮・抹茶プリン
	7日	特・ケ	七草粥	朝食：七草粥
	11日	デイ	鏡開き	おやつ：お汁粉風デザート
	17~22日	デイ	誕生週(6日間)	ケーキ
	26日	特	誕生会	ケーキ
ケア		ケア例会	ねりきり・甘酒	
2 月	3日	特・ケ	節分	ゆかり御飯・いわしハンバーグ・大豆と根菜の煮物・菜の花とキャベツのわさび和え・清汁
	14日	特・デ・ケ	バレンタイン	オムライス・野菜ビーフン・コンソメスープ・チョコレートムース
	14~19日	デイ	誕生週(6日間)	ケーキ
		特	誕生会	ケーキ
	23日	ケア	ケア例会	ケーキ
3 月	3日	特・ケ	ひな祭り	ちらし寿司、がんも含め煮、菜の花のお浸し、清汁
	14日	特	ホワイトデー	御飯・チキンのホワイトシチュー・野菜ビーフン・ごぼうサラダ・コンソメスープ
	14~19日	デイ	誕生週(6日間)	ケーキ
	21日	特・デ・ケ	春分の日	きつね蕎麦・筍の煮物・菜の花のおひたし・水ようかん
	23日	特	誕生会	ケーキ
ケア		ケア例会	ケーキ	



居宅サービスセンターモモ

2022年度から3人目のケアマネジャーが入職となり、目標にしていた特定事業所加算(Ⅲ)の算定をすることになった。24時間連絡体制の確保や事例検討会の参加など、いくつかの要件を満たす必要があるため、それをクリアするように努め、要件のひとつでもある主任ケアマネジャーの更新も継続が出来るようにしていく。

新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から、通常の訪問やサービス担当者会議の実施が困難な1年間であったが、それも徐々に緩和してきているので、手洗い・3密回避・換気など感染予防への対応を心掛け、利用者・各事業所との関わりの幅を広げ、引き続き土曜日・祝日営業を行ない、24時間ケアマネジャーに必要に応じて相談が出来る環境を整え、安心感を提供すると共にサービスの質の向上に繋げていく。

2021年度は介護予防(要支援)委託事業の受諾契約を開始してから約7年が経過し、周辺の高齢者支援センターとの関係性を十分に深めることが出来ていると共に、その他の高齢者支援センターからの新規依頼も増えたので、定員の安定に繋げることが出来た。

団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題、8050問題など様々な問題を迎えるにあたり、今後も各高齢者支援センターとの関わりを強化して、問題解決に繋げていく。

1. 利用者の推移

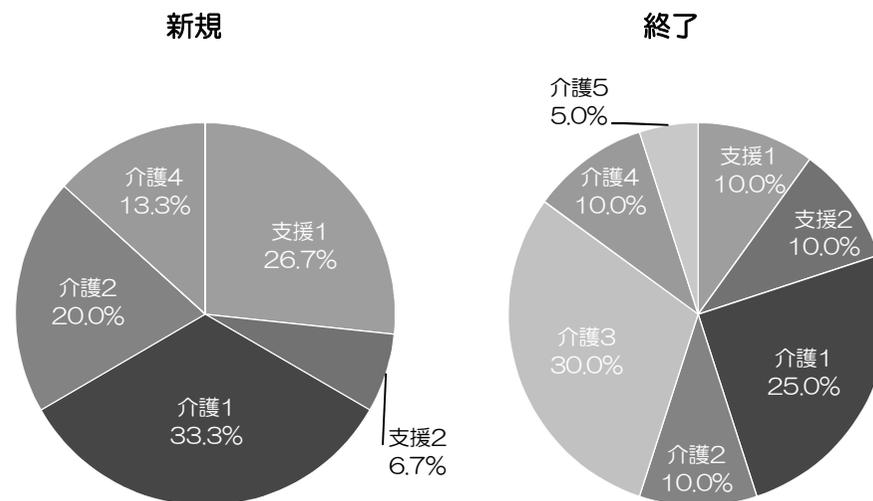
a. 月毎の新規契約・支援終了者

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規契約 15名	1 (2)	1 (1)	1 (1)	4 (3)	0 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)	1 (2)	1 (0)	0 (2)
支援終了 20名	3 (2)	3 (0)	1 (4)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	2 (3)	3 (0)	0 (0)	0 (2)	4 (1)	3 (2)

※ () 内は前年度数値

b. 介護度別構成



単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
新規	0 (0)	4 (0)	1 (1)	5 (8)	3 (4)	0 (1)	2 (2)	0 (1)	1.34 (2.58)
終了	0 (0)	2 (0)	2 (2)	5 (2)	2 (6)	6 (1)	2 (2)	1 (3)	2.03 (2.29)

※ () 内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50換算で算出

c. 新規依頼経路

単位：人

経路	男性	女性	合計
直近地域包括	0	2	2
その他地域包括	5	5	10
市担当課	0	0	0
病院 MSW 等	0	0	0
他居宅	0	0	0
他事業所	0	0	0
配偶者等を担当	2	0	2
知人紹介	0	0	0
自己検索	0	0	0
その他	0	1	1
合計	7	8	15

地域包括：直近地域包括が多かったがその他包括からの依頼も多くなっており、次年度以降も地域包括支援センターとの連携は重要。

d. 支援終了理由

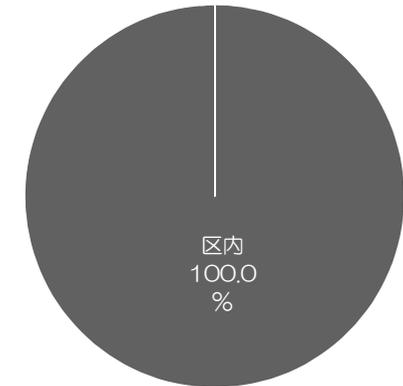
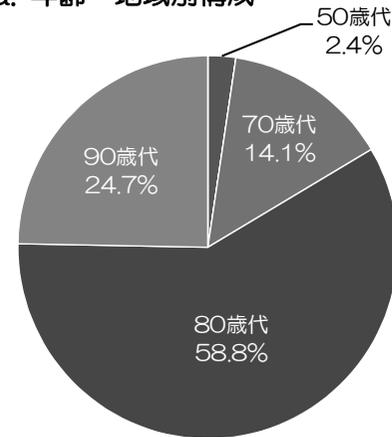
単位：人

理由	男性	女性	合計
死亡	4	3	7
認定「自立」	0	0	0
認定「要支援」	0	0	0
施設入所	3	8	11
利用者解約	2	0	2
事業所解約	0	0	0
その他	0	0	0
合計	9	11	20

2. 現員者の状況

※2022.03.31 登録者：85名に対する値

a. 年齢・地域別構成



●年齢構成 単位：人（延べ） / （ ）内は前年度数

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	1 (1)	0 (0)	4 (5)	24 (24)	9 (10)	0 (0)	38 (40)
女性	1 (1)	0 (0)	8 (11)	26 (26)	12 (15)	0 (0)	47 (53)
全体	2 (2)	0 (0)	12 (16)	50 (50)	21 (25)	0 (0)	85 (93)
二 号	0 (0)	0 (0)					0 (0)

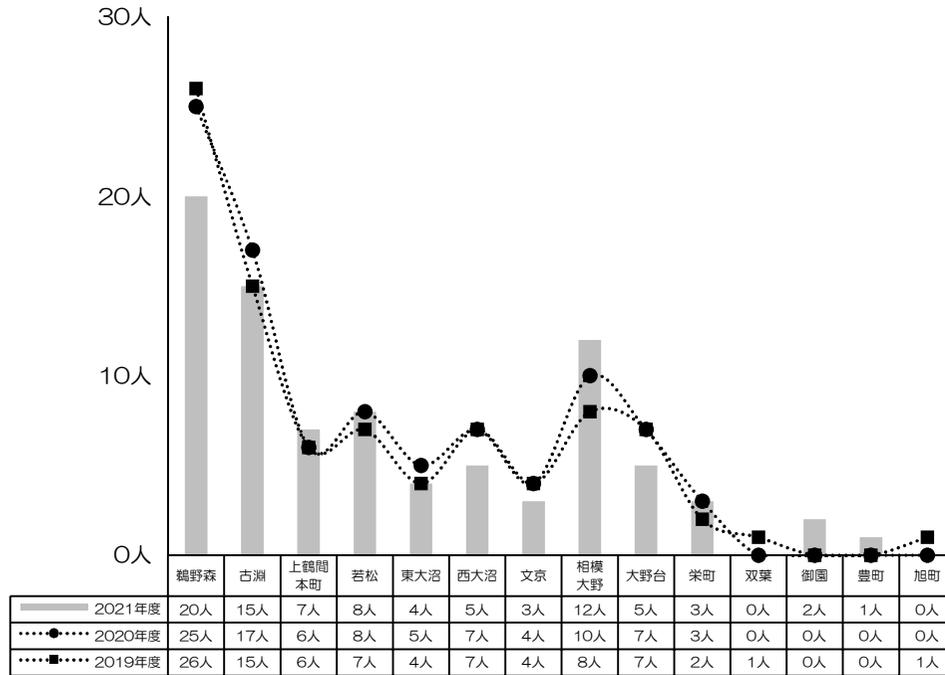
●地域 単位：人（延べ）

地域	男性	女性	合計
相模原市南区	38 (40)	47 (52)	85 (92)
区外	0 (0)	0 (1)	0 (1)
市外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
県外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	38 (40)	47 (53)	85 (93)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	97歳 1ヶ月 (97歳 6ヶ月)	55歳 11ヶ月 (54歳 11ヶ月)	84.36歳 (84.78歳)
女性	97歳 2ヶ月 (96歳 3ヶ月)	58歳 2ヶ月 (57歳 2ヶ月)	84.09歳 (84.94歳)
全体	97歳 2ヶ月 (97歳 6ヶ月)	55歳 11ヶ月 (54歳 11ヶ月)	84.21歳 (84.78歳)

※（ ）内は前年度数値

●登録住所

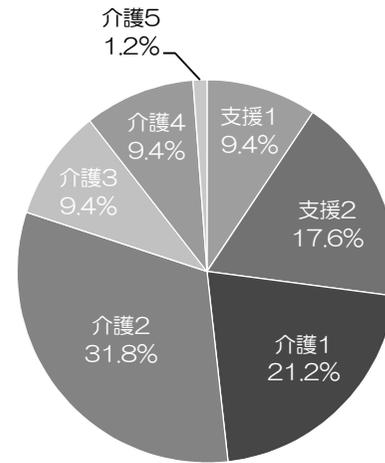


2021年度も全て「南区」の方が対象となった。

鵜野森 = 23.53%
古淵 = 17.65%
上鶴間本町 = 8.24%

上記3地区（法人事業展開エリア）で49.42%の割合を占めている。

b. 介護度別構成



- ① 事業対象者/要支援 1・2 合計
23人 (27.06%)
- ② 要介護 1・2 合計
45人 (52.94%)
- ③ 要介護 3・4・5 合計
17人 (20.00%)

単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0 (0)	5 (5)	4 (5)	7 (10)	16 (14)	3 (4)	3 (2)	0 (0)	1.61 (1.48)
女性	0 (0)	3 (4)	11 (12)	11 (8)	11 (13)	5 (9)	5 (5)	1 (2)	1.58 (1.75)
合計	0 (1)	8 (10)	15 (19)	18 (15)	27 (27)	8 (13)	8 (7)	1 (2)	1.60 (1.64)

※ () 内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50 換算で算出

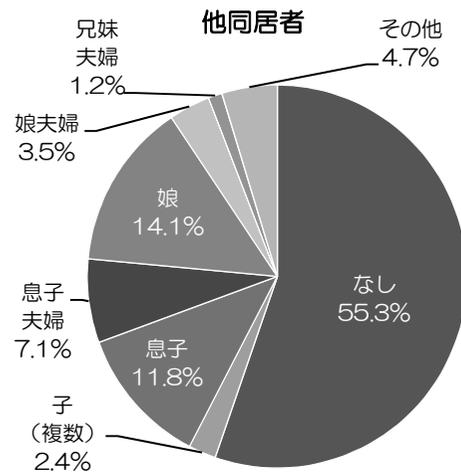
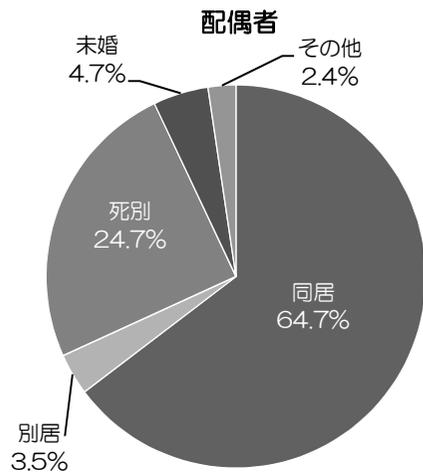
c. 介護保険負担限度額認定

単位：人

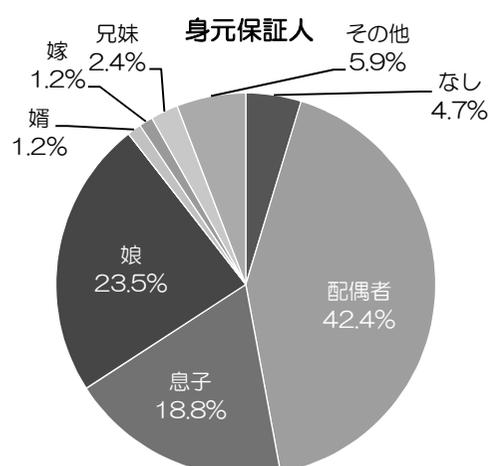
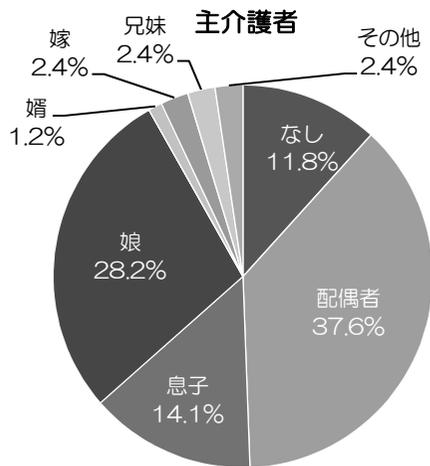
第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階 (含：未申請)	合計
0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	85 (93)	85 (93)

※ () 内は前年度数値

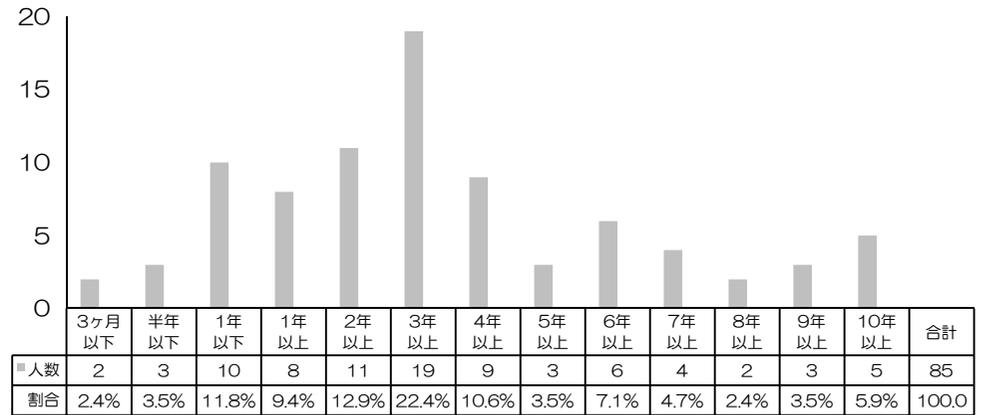
d. 世帯構成



e. 本人支援状況



f. 利用期間



g. 認知症の状況

単位：人

基準	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明	合計
男性	10	7	7	6	5	1	0	0	2	38
女性	15	12	4	4	3	1	4	0	4	47
合計	25	19	11	10	8	2	4	0	6	85

※認定調査票・主事意見書取得申請中者を除く

h. 日常生活動作状況

単位：人

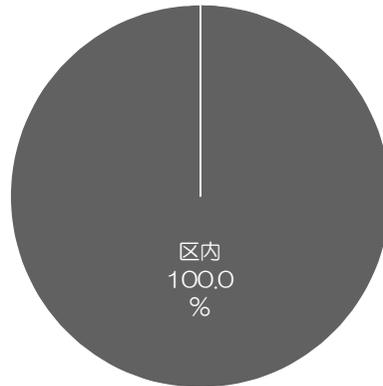
基準	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	合計
男性	3	3	9	11	4	5	1	0	0	2	38
女性	3	4	12	6	9	4	4	1	0	4	47
合計	6	7	21	17	13	9	5	1	0	6	85

※認定調査票・主事意見書取得申請中者を除く

3. 終了者の状況

a. 年齢・地域別構成

※2021年度終了者：20名に対する値



●年齢構成 単位：人（延べ） / () 内は前年度数

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0 (0)	0 (0)	0 (2)	4 (4)	5 (1)	0 (0)	9 (7)
女性	0 (0)	0 (0)	0 (1)	6 (3)	5 (5)	0 (0)	11 (9)
全体	0 (0)	0 (0)	0 (3)	10 (7)	10 (6)	0 (0)	20 (16)
二 号	0 (0)	0 (0)					0 (0)

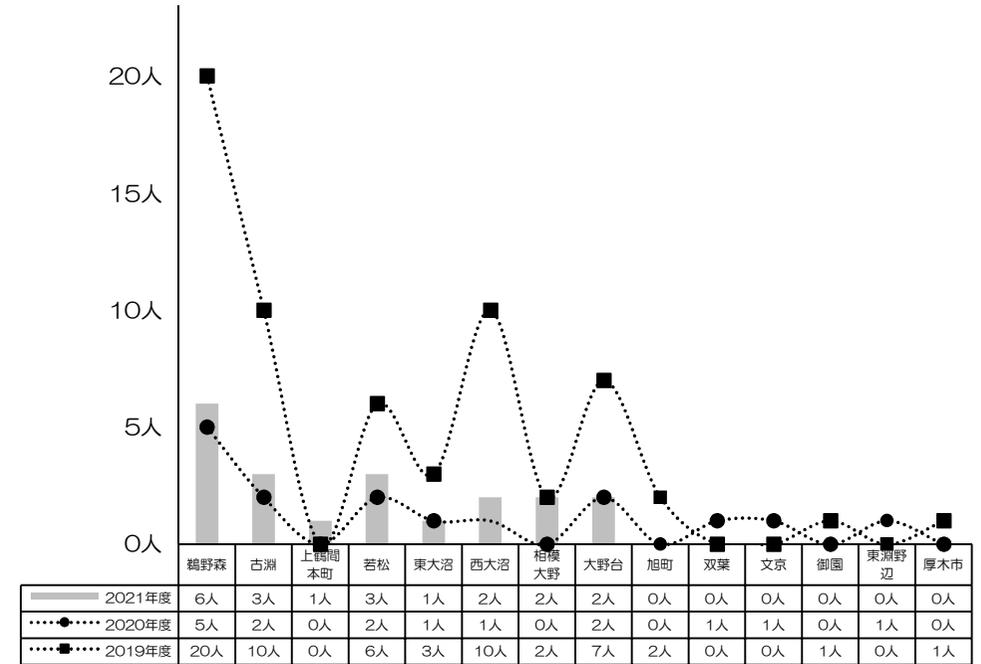
●地域 単位：人（延べ）

地域	男性	女性	合計
相模原 市南区	9 (7)	11 (8)	20 (15)
区外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
市外	0 (0)	0 (1)	0 (1)
県外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	9 (7)	11 (9)	20 (16)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	98歳 10ヶ月 (97歳 6ヶ月)	85歳 0ヶ月 (77歳 9ヶ月)	89.78歳 (84.57歳)
女性	96歳 5ヶ月 (98歳 8ヶ月)	83歳 1ヶ月 (76歳 7ヶ月)	89.00歳 (88.33歳)
全体	98歳 10ヶ月 (97歳 6ヶ月)	83歳 1ヶ月 (76歳 7ヶ月)	89.35歳 (86.69歳)

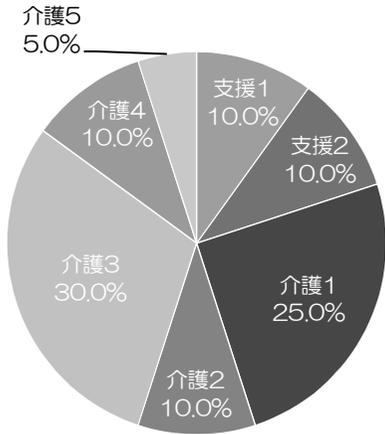
※解約日当日の年齢 / () 内は前年度数値

●登録住所



終了者は「南区在住」の方のみで20名。

b. 介護度別構成



- ① 事業対象者/要支援 1・2 合計
4人 (20.00%)
- ② 要介護 1・2 合計
7人 (35.00%)
- ③ 要介護 3・4・5 合計
9人 (45.00%)

前年度と比べると、その他(転居・長期入院など)がなく、大半が死亡・施設入所で、はっきりとした支援終了理由が多かった。

単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0 (0)	1 (4)	2 (0)	3 (3)	0 (4)	2 (1)	1 (7)	0 (1)	1.48 (2.51)
女性	0 (0)	1 (5)	0 (5)	2 (12)	2 (3)	4 (8)	1 (4)	1 (5)	2.48 (2.01)
合計	0 (0)	2 (9)	2 (5)	5 (15)	2 (7)	6 (9)	2 (11)	1 (6)	2.03 (2.17)

※ () 内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50 換算で算出

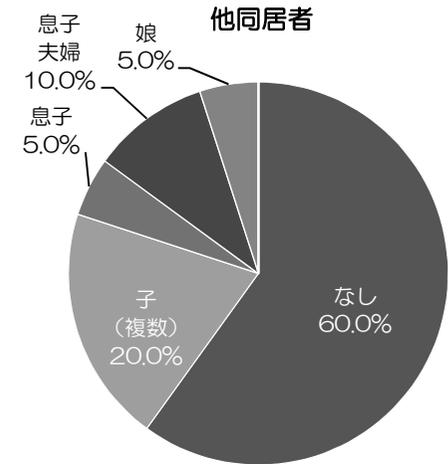
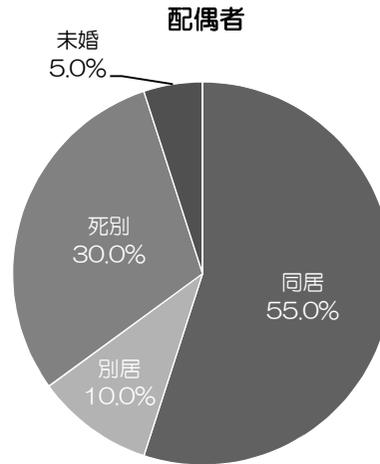
c. 介護保険負担限度額認定

単位：人

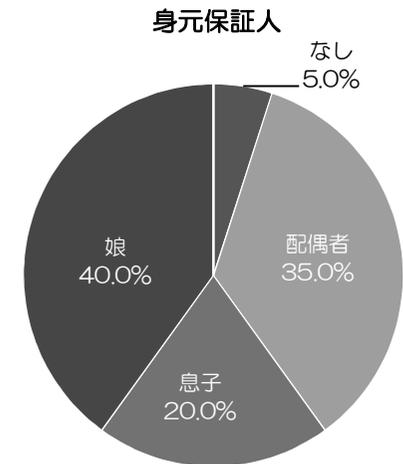
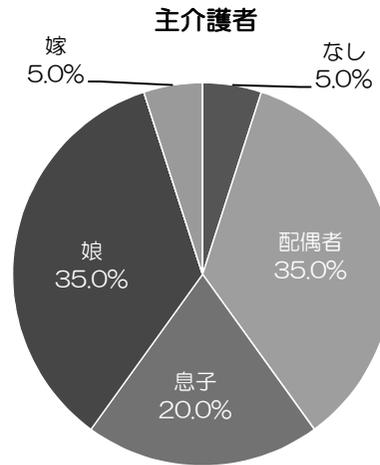
第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階 (含：未申請)	合計
0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	20 (16)	20 (16)

※ () 内は前年度数値

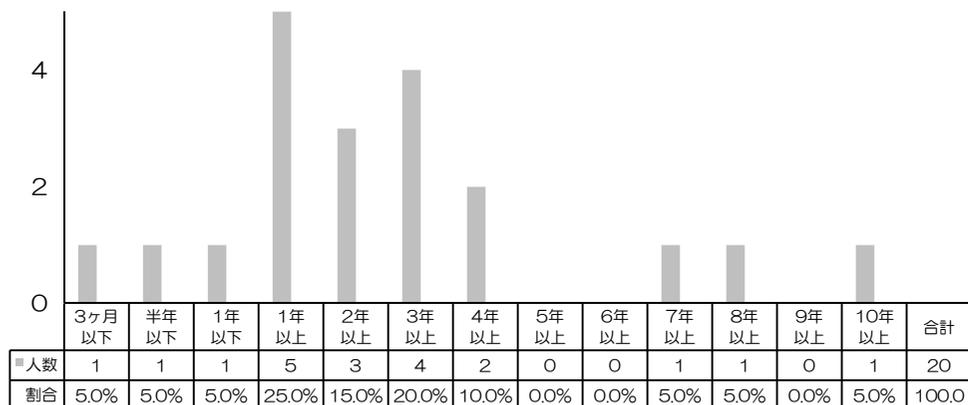
d. 世帯構成



e. 本人支援状況



f. 利用期間



g. 認知症の状況

単位：人

基準	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明	合計
男性	1	1	1	0	3	0	1	0	2	9
女性	1	2	1	2	2	1	1	0	1	11
合計	2	3	2	2	5	1	2	0	3	20

※認定調査票・主事意見書未取得者を除く

h. 日常生活動作状況

単位：人

基準	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	合計
男性	0	0	1	0	3	1	2	0	0	2	9
女性	1	0	5	1	3	0	0	0	0	1	11
合計	1	0	6	1	6	1	2	0	0	3	20

※認定調査票・主事意見書未取得者を除く

4. 介護サービス展開状況 ※2021年度利用者延べ：105名に対する値

a. ケアプラン（居宅サービス計画書）作成

単位：件

職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A	11	6	4	6	4	6	5	11	5	4	5	7	74
B	4	4	6	6	3	8	6	6	12	6	10	7	78
C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	15	10	10	12	7	14	11	17	17	10	15	14	152

b. サービス担当者会議

単位：回

職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A	10	2	3	6	4	4	5	8	3	2	3	6	56
B	2	3	5	4	2	5	4	4	8	4	5	5	51
C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	12	5	8	10	6	9	9	12	11	6	8	11	107

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、関係者全員を招集しての開催にはリスクが伴うため、状況に合わせて照会などを交えながら実施した。

c. 関連事業所

単位：事業所（数）

	通所介護	福祉用具	訪問介護	短期入居	訪問看護	通所リハ	訪問入浴
事業所	43	42	28	11	18	4	3

d. 個人別契約事業所

単位：人

	利用なし	1事業所	2事業所	3事業所	4事業所	5事業所超
事業	0	0	0	0	0	0
支援1	1	4	2	0	0	0
支援2	0	7	6	1	0	1
介護1	0	9	3	2	0	0
介護2	1	5	10	2	8	1
介護3	1	1	1	4	0	1
介護4	0	1	0	3	3	1
介護5	0	0	0	1	0	0
合計	3	27	22	13	11	4

e. 複数サービス利用

単位：人

	利用なし	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類超
事業	0	0	0	0	0	0
支援1	1	4	2	0	0	0
支援2	0	7	6	1	1	0
介護1	0	10	3	1	0	0
介護2	1	7	10	4	5	0
介護3	1	1	1	4	1	0
介護4	0	1	0	4	3	0
介護5	0	0	1	0	0	0
合計	3	30	23	14	10	0

f. 自法人併設サービス利用（契約数）

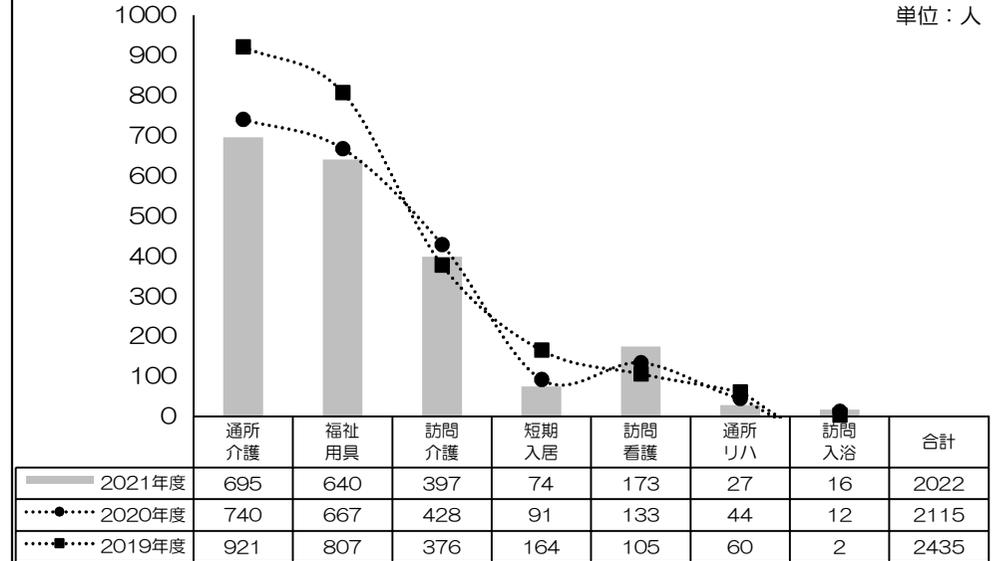
単位：人

施設 種別	MOMO						PINO			
	特養		SS	DS	ケア		特養		SS	DS
	申	入			申	入	申	入		
2019年度	6	4	7	25	2	2	2	1	5	1
2020年度	8	0	8	21	0	5	1	0	4	1
2021年度	4	0	4	14	0	5	1	0	3	1

※申＝入居申込み ※入＝入居（特養の場合はそれを理由に契約終了となった者）

g. 種類別サービス利用件数

単位：人



h. 月別サービス利用

単位：人

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	58	59	57	62	57	57	60	60	58	59	54	54	695
福祉用具	52	53	52	52	53	55	56	55	56	56	51	49	640
訪問介護	35	35	34	34	32	34	33	33	31	34	30	32	397
短期入居	6	6	6	6	7	9	6	6	5	5	6	6	74
訪問看護	13	12	14	13	14	15	16	15	17	17	13	14	173
通所リハ	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	27
訪問入浴	1	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	16
住宅改修	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

i. 介護度別サービス利用

単位：人（延べ）

種類	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
通所介護	0	80	84	183	231	70	35	12	695
福祉用具	0	48	111	100	183	86	89	23	640
訪問介護	0	10	60	80	142	16	74	15	397
短期入居	0	0	0	5	25	24	20	0	74
訪問看護	0	7	22	27	63	10	34	10	173
通所リハ	0	0	24	0	0	0	3	0	27
訪問入浴	0	0	0	0	1	0	4	11	16
住宅改修	0	1	0	0	0	0	0	0	1

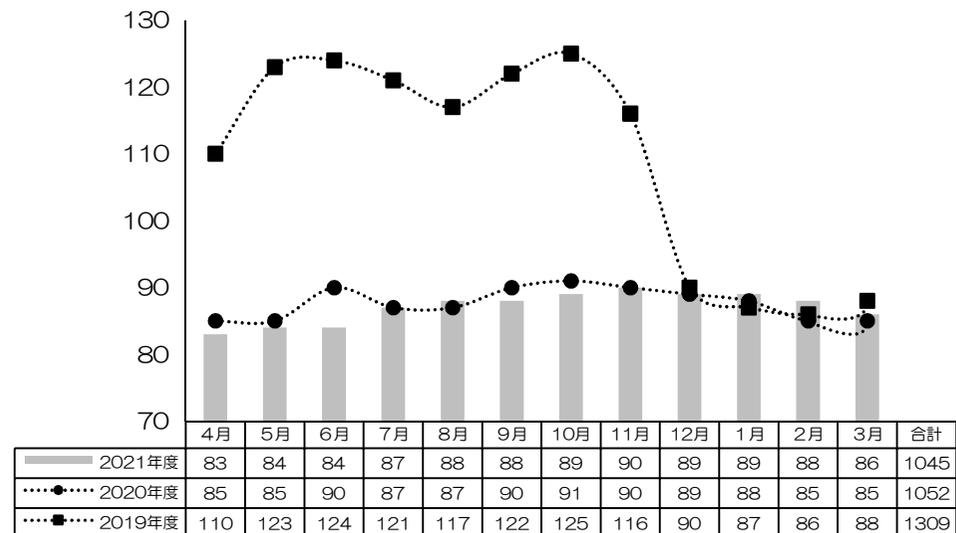
j. 福祉用具品目別利用傾向

単位：人（延べ）

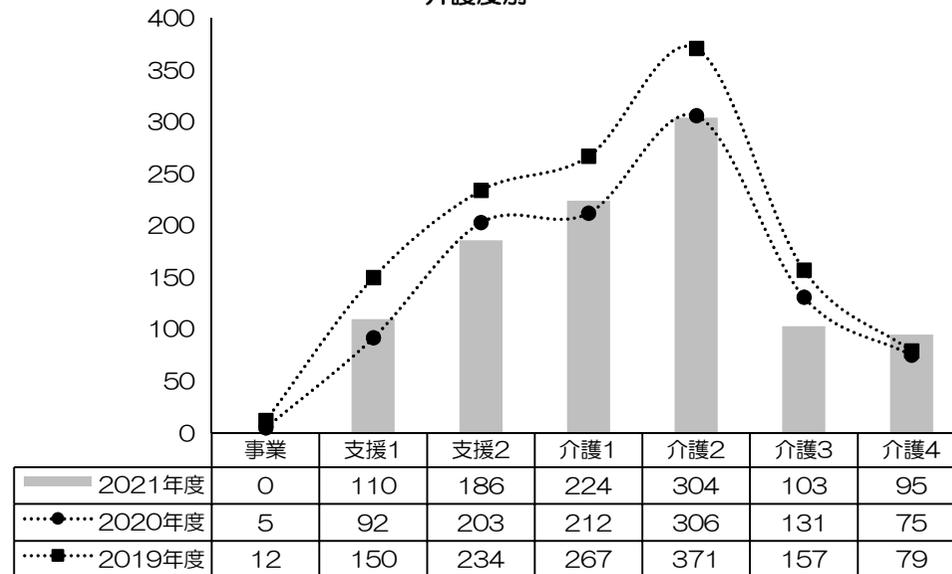
品目	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
車いす	0	24	3	58	26	67	3	181
車いす附属品	0	12	0	12	11	28	2	65
特殊寝台	0	22	9	108	81	66	21	307
特殊寝台附属品	0	22	9	117	82	88	20	338
床ずれ防止用具	0	0	0	1	1	12	11	25
体位変換器	0	0	0	0	0	6	9	15
手すり	26	53	59	99	53	24	0	314
スロープ	10	11	0	5	1	17	0	44
歩行器	10	55	34	105	29	24	0	257
歩行補助つえ	20	1	15	59	1	0	0	96
徘徊感知機器	0	0	0	0	2	9	0	11
移動用リフト	0	0	0	0	0	7	0	7
自動排泄処理装置	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	66	200	129	564	287	348	66	1660

k. 給付管理実績

月別



介護度別



自法人併設サービス別（利用実績単位数）

施設/月	4月	5月	6月	7月	第一期
DSモモ	173,037	154,792	154,796	161,155	643,780
SSモモ	36,225	44,341	50,735	48,515	179,816
DSピノ	14,372	3,252	0	0	17,624
SSピノ	19,880	9,484	12,182	9,770	51,316
合計	243,514	211,869	217,713	219,440	892,536
施設/月	8月	9月	10月	11月	第二期
DSモモ	145,909	131,977	129,494	126,500	533,880
SSモモ	47,923	70,623	69,283	43,239	231,068
DSピノ	0	6,664	12,244	12,364	31,272
SSピノ	34,598	32,124	10,792	11,630	89,144
合計	228,430	241,388	221,813	193,733	885,364
施設/月	12月	1月	2月	3月	第三期
DSモモ	106,191	99,052	75,342	89,326	369,911
SSモモ	31,351	45,956	46,670	70,781	194,758
DSピノ	12,164	9,876	13,288	12,244	47,572
SSピノ	14,798	13,020	25,668	19,880	73,366
合計	164,504	167,904	160,968	192,231	685,607

施設	年度合計	年度月平均
DSモモ	1,547,571 単位 (×10.54円)	128,964 単位 (×10.54円)
SSモモ	605,642 単位 (×10.66円)	50,470 単位 (×10.66円)
DSピノ	96,468 単位 (×10.66円)	8,039 単位 (×10.66円)
SSピノ	213,826 単位 (×10.66円)	17,818 単位 (×10.66円)
合計	2,463,507 単位	205,291 単位

●6・7・8月のDSピノ実績がないのは、利用者がコロナ感染で入院してしまい利用出来なかったため。退院後は体調等変わらず利用されている。比較的安定していたDSモモが下がってきているので、新規DS依頼時には、選択肢の中から選んでもらえるように紹介等していく。

1. 緊急一時サービス利用

単位：人

	男性	女性	合計
2019年度	0	0	0
2020年度	0	0	0
2021年度	0	0	0

※月毎の申請件数は後述「8. 代行申請」項参照

m. 住宅改修実施

単位：人

	男性	女性	合計
2019年度	4	2	6
2020年度	3	4	7
2021年度	1	0	1

5. 苦情

2021年度の苦情は0件

6. 相談

新規受け入れ相談は、ほぼ全て受諾。
その他に大きな相談/支援実施は無し。

7. 認定調査

a. 実施数

単位：人

	男性	女性	合計	前年比
2019年度	29	45	74	67.3%
2020年度	2	3	5	0.6%
2021年度	7	8	15	300.0%

b. 依頼保険者

単位：人

	県外	市外	市内	合計
2019年度	0	0	74	74
2020年度	0	0	5	5
2021年度	0	0	15	15

c. 月毎の実施状況

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	5
施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7	5
内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	5
相模原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7	5
市外依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※約1年8カ月ぶりに認定調査を実施、市の要望により、自己担当、自施設の調査を行う。

d. 実施者プロフィール

単位：人

介護度	性別	年齢（●●歳代）							割合（%）
		50	60	70	80	90	100	合計	
支援1	男性	0	0	1	0	0	0	1	6.7
	女性	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	1	0	0	0	1	
支援2	男性	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	
介護1	男性	0	0	1	1	1	0	3	33.3
	女性	0	0	0	2	0	0	2	
	合計	0	0	1	3	1	0	5	
介護2	男性	0	0	0	2	1	0	3	26.7
	女性	0	0	0	0	1	0	1	
	合計	0	0	0	2	2	0	4	
介護3	男性	0	0	0	0	0	0	0	6.7
	女性	0	0	0	1	0	0	1	
	合計	0	0	0	1	0	0	1	
介護4	男性	0	0	0	0	0	0	0	26.7
	女性	0	0	0	3	1	0	4	
	合計	0	0	0	3	1	0	4	
介護5	男性	0	0	0	0	0	0	0	46.7
	女性	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	
合計	男性	0	0	2	3	2	0	7	53.3
	女性	0	0	0	6	2	0	8	
	合計	0	0	4	18	8	0	20	
割合（%）		0	0	13.3	60.0	26.7	0		

8. 代行申請

a. 介護保険認定

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
更新	2	4	4	5	2	6	1	2	3	5	6	5
区変	0	0	0	0	2	0	1	0	2	0	3	2
転入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	4	4	5	4	6	2	2	5	5	9	7
内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	2	4	4	5	4	6	2	2	5	5	9	7
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2021年12月から1年間の延長可能措置が解除され通常申請になる。※臨時的取扱あり

b. 負担限度額認定

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再申	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

以下は相模原市独自事業

c. 緊急一時入所利用

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2~4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

d. 紙おむつ支給

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

※介3：0名・介4：0名・介5：0名

e. 高齢者等移送サービス

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

※介3：0名・介4：0名・介5：0名



ケアステーションナナ

2018年度に訪問介護から居宅介護支援への事業変更となり、同年9月に管理者兼ケアマネジャー1人体制でのスタートとなった。

定員を安定させるため、周辺の高齢者支援センターへの挨拶回りから新規依頼の獲得に繋がり、2021年度は特に最寄りの高齢者支援センターからの新規依頼が頻繁に寄せられた。

介護予防（要支援）委託事業の受諾契約も積極的に受け入れをしており、周辺の高齢者支援センターから徐々に介護予防（要支援）利用者の依頼が増えてきている。

2022年2月には、4地域包括合同の研修会の開催を主催者側の司会として参加する等、各地域包括との連携が取れるようになってきている。

稼働率は概ね90%超となっており、今後は実績維持・向上のために各高齢者支援センターとの連携と受託範囲の拡大を図っていくが、フレイグラントオリーブナナの入居者を優先的に受託・担当していく方針は継続していく。

1. 利用者の推移

a. 月毎の新規契約・支援終了者

単位：人

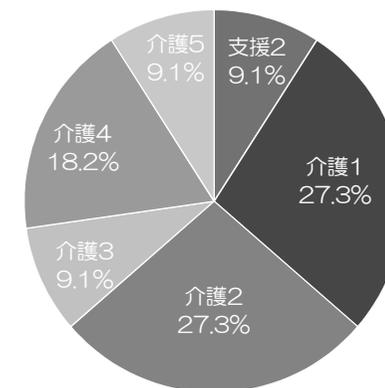
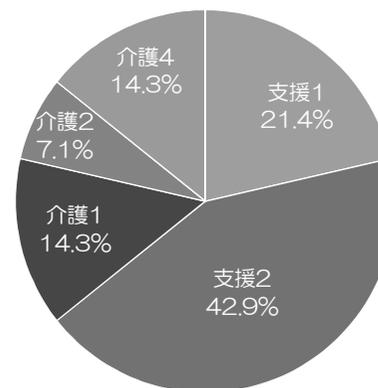
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規契約 14名	1 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	2 (0)	2 (1)	2 (0)	2 (1)
支援終了 11名	0 (0)	1 (1)	0 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (0)	1 (1)	2 (1)

※（ ）内は前年度数値

b. 介護度別構成

新規

終了



単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
新規	(0)	(1)	(0)	(3)	(0)	(2)	(0)	(2)	(3.53)
終了	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(3)	(1)	(1)	(3.66)

※（ ）内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50換算で算出

c. 新規依頼経路

単位：人

経路	男性	女性	合計
直近地域包括	3	3	6
その他地域包括	2	3	5
市担当課	0	0	0
病院 MSW 等	0	0	0
他 居 宅	0	1	1
他 事 業 所	1	0	1
配偶者等を担当	0	1	1
知 人 紹 介	0	0	0
自 己 検 索	0	0	0
そ の 他	0	0	0
合 計	6	8	14

地域包括：直近地域包括が多いがその他包括からの依頼も多かった。

※フレイグラントオリーブナナ入居者が4名あり。

d. 支援終了理由

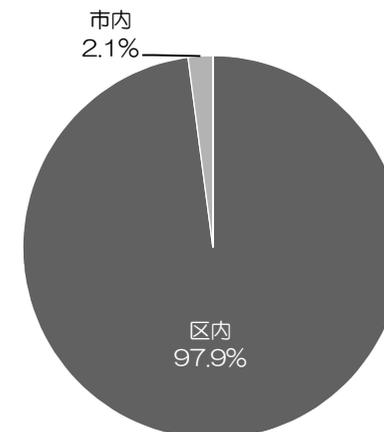
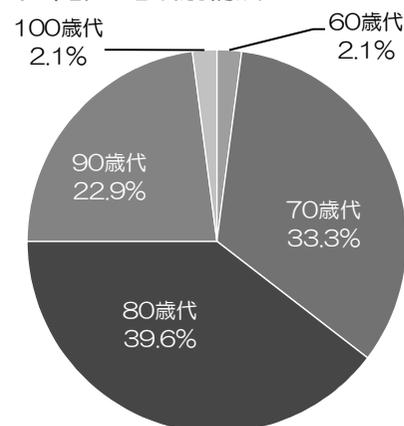
単位：人

理由	男性	女性	合計
死 亡	1	2	3
認定「自立」	0	0	0
認定「要支援」	0	0	0
施設入所	3	4	7
利用者解約	0	0	0
事業所解約	0	0	0
そ の 他	1	0	1
合 計	5	6	11

2. 現員者の状況

※2022.03.31 登録者：48名に対する値

a. 年齢・地域別構成



●年齢構成 単位：人（延べ） / （ ）内は前年度数

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0 (0)	1 (1)	7 (4)	7 (7)	3 (2)	0 (0)	18 (14)
女性	0 (0)	0 (1)	9 (6)	12 (17)	8 (7)	1 (0)	30 (31)
全体	0 (0)	1 (2)	16 (10)	19 (24)	11 (9)	1 (0)	48 (45)
二 号	0 (0)	0 (0)					0 (0)

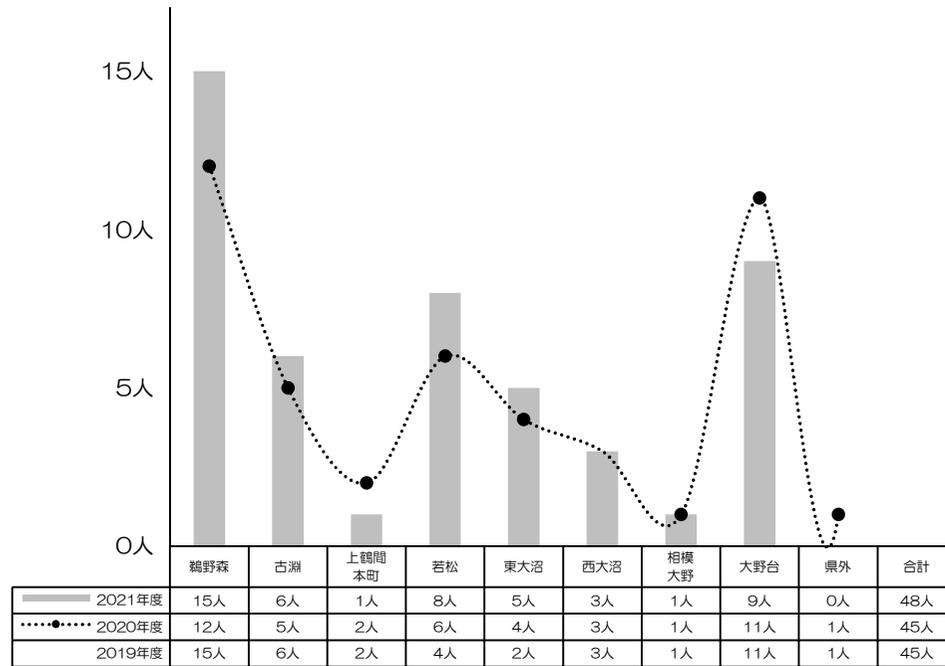
●地域 単位：人（延べ）

地域	男性	女性	合計
相模原市南区	17 (14)	30 (30)	47 (44)
区外	1 (0)	0 (0)	1 (0)
市外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
県外	0 (0)	0 (1)	0 (1)
合計	18 (14)	30 (31)	48 (45)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	94歳 3ヶ月 (100歳 2ヶ月)	67歳 2ヶ月 (62歳 4ヶ月)	81歳 3ヶ月 (80歳 2ヶ月)
女性	100歳 2ヶ月 (98歳 3ヶ月)	71歳 8ヶ月 (70歳 3ヶ月)	85歳 0ヶ月 (85歳 3ヶ月)
全体	100歳 2ヶ月 (100歳 2ヶ月)	67歳 2ヶ月 (62歳 4ヶ月)	83歳 6ヶ月 (83歳 4ヶ月)

※（ ）内は前年度数値

●登録住所

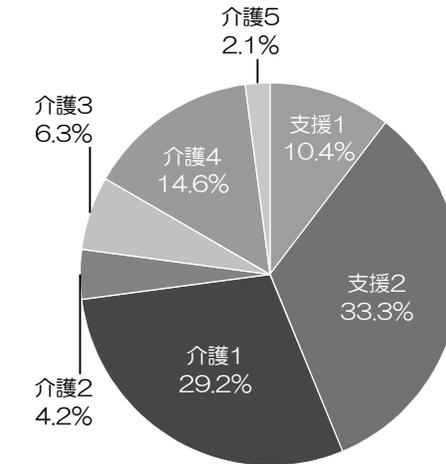


2021年度もほぼ「南区」の方が対象となった。

鵜野森 = 31.25%
古淵 = 12.50%
上鶴間本町 = 2.08%

上記3地区（法人事業展開エリア）で45.83%の割合を占めている。

b. 介護度別構成



- ① 事業対象者/要支援1・2合計 21人 (43.75%)
- ② 要介護1・2合計 16人 (33.34%)
- ③ 要介護3・4・5合計 11人 (22.91%)

介護報酬増加の観点からも、上記③の割合をもう少し増加させたいところではあるが、主に担当しているサ高住ナナの入居者は軽介護度が多く、その受入れは避ける事が出来ない実情がある。

単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0 (0)	2 (1)	6 (6)	3 (5)	1 (3)	3 (2)	2 (0)	1 (1)	1.54 (1.25)
女性	0 (0)	3 (1)	10 (6)	11 (12)	1 (2)	0 (1)	5 (4)	0 (1)	1.14 (1.48)
合計	0 (0)	5 (2)	16 (12)	14 (17)	2 (5)	3 (3)	7 (4)	1 (2)	1.29 (1.38)

※ () 内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50換算で算出

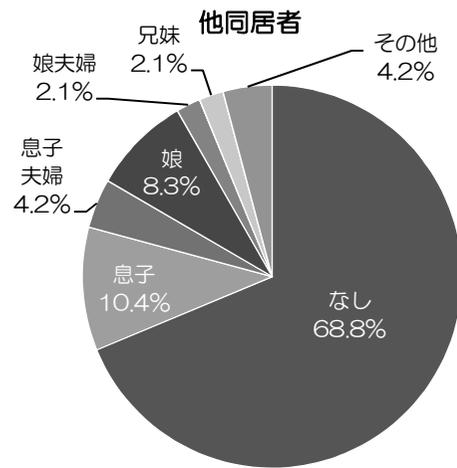
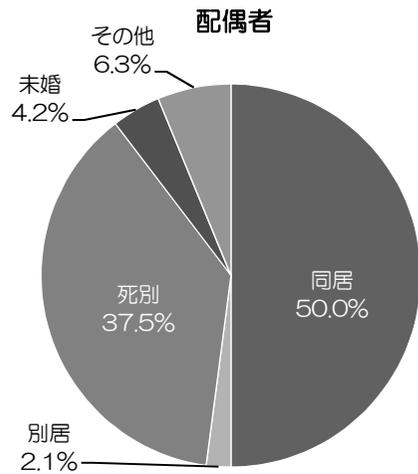
c. 介護保険負担限度額認定

単位：人

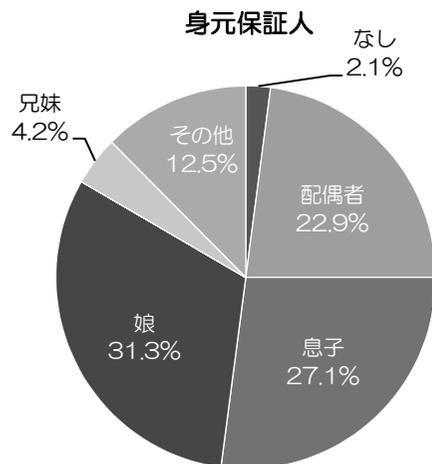
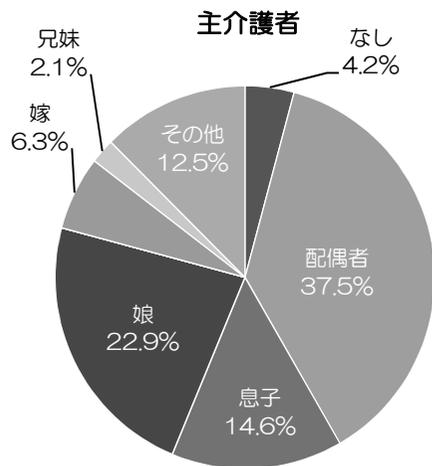
第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階 (含：未申請)	合計
1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	47 (43)	48 (45)

※ () 内は前年度数値

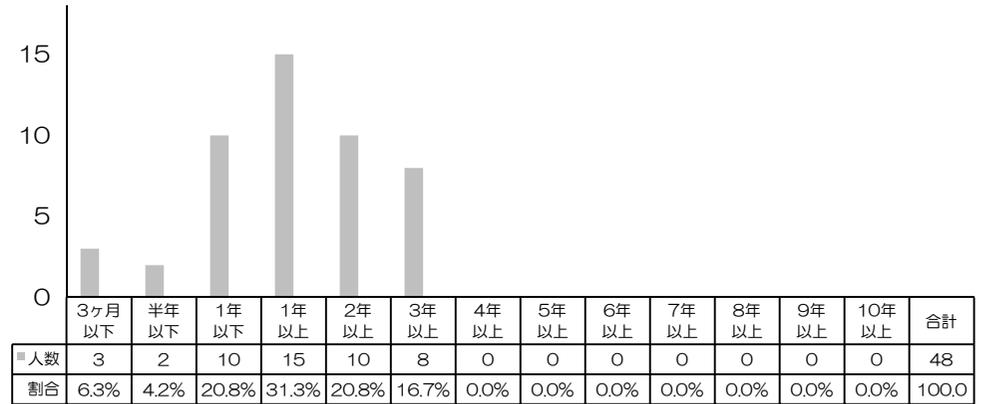
d. 世帯構成



e. 本人支援状況



f. 利用期間



g. 認知症の状況

単位：人

基準	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明	合計
男性	3	5	5	3	2	0	0	0	0	18
女性	3	16	7	2	2	0	0	0	0	30
合計	6	21	12	5	4	0	0	0	0	48

※認定調査票・主事意見書取得申請中者を除く

h. 日常生活動作状況

単位：人

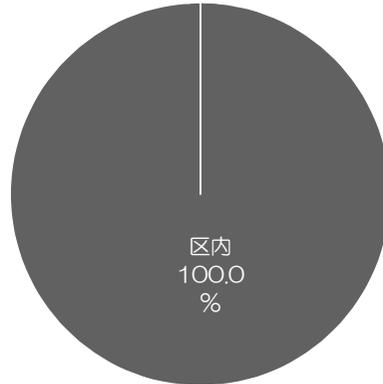
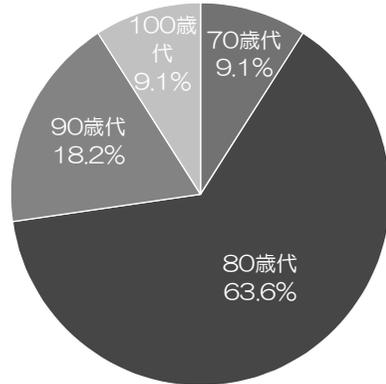
基準	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	合計
男性	2	5	6	3	1	1	0	0	0	0	18
女性	2	15	8	2	1	1	1	0	0	0	30
合計	4	20	14	5	2	2	1	0	0	0	48

※認定調査票・主事意見書取得申請中者を除く

3. 終了者の状況

a. 年齢・地域別構成

※2021年度終了者：11名に対する値



●年齢構成 単位：人（延べ） / () 内は前年度数

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (1)
女性	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (6)	2 (1)	0 (0)	7 (7)
全体	0 (0)	0 (0)	1 (1)	7 (6)	2 (1)	1 (0)	11 (8)
二 号	0 (0)	0 (0)					(0)

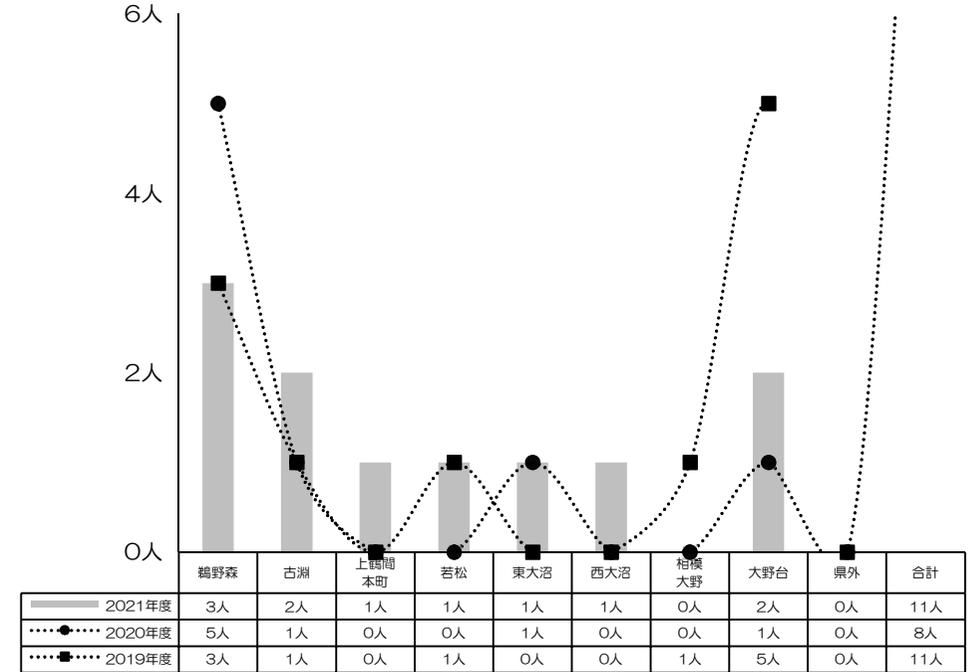
●地域 単位：人（延べ）

地域	男性	女性	合計
相模原 市南区	4 (1)	7 (7)	11 (8)
区外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
市外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
県外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	4 (1)	7 (7)	11 (8)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	100歳 11ヶ月 (73歳 10ヶ月)	74歳 1ヶ月 (73歳 10ヶ月)	85歳 3ヶ月 (73歳 10ヶ月)
女性	92歳 4ヶ月 (93歳 2ヶ月)	80歳 6ヶ月 (81歳 2ヶ月)	84歳 5ヶ月 (85歳 8ヶ月)
全体	100歳 11ヶ月 (93歳 2ヶ月)	74歳 1ヶ月 (73歳 10ヶ月)	84歳 9ヶ月 (82歳 3ヶ月)

※解約日当日の年齢 / () 内は前年度数値

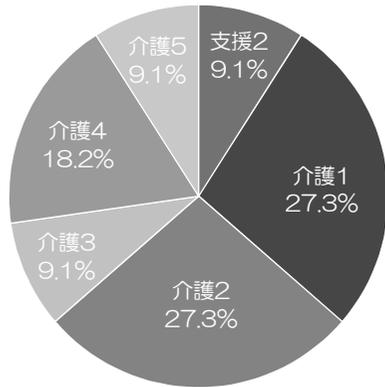
●登録住所



終了者は「南区在住」の方で11名。

開設してから4年目（満3年7か月）となり終了者が増えてきている。
今後も積極的に新規を獲得して、実績の低下を防ぐ必要がある。
終了者の中で自法人のモモ・ピノへの入所者はピノへ1名となっている。

b. 介護度別構成



- ① 要支援 1・2 合計
1人 (9.1%)
- ② 要介護 1・2 合計
6人 (54.6%)
- ③ 要介護 3・4・5 合計
4人 (36.3%)

単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1.70 (2.00)
女性	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	2 (0)	1 (3)	1 (1)	1 (1)	2.83 (3.86)
合計	0 (0)	0 (1)	1 (0)	3 (1)	3 (1)	1 (3)	2 (1)	1 (1)	2.31 (3.63)

※ () 内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50 換算で算出

c. 介護保険負担限度額認定

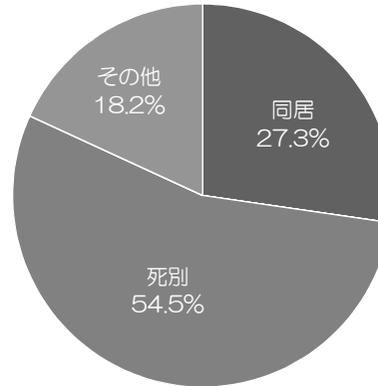
単位：人

第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階 (含：未申請)	合計
1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (7)	11 (8)

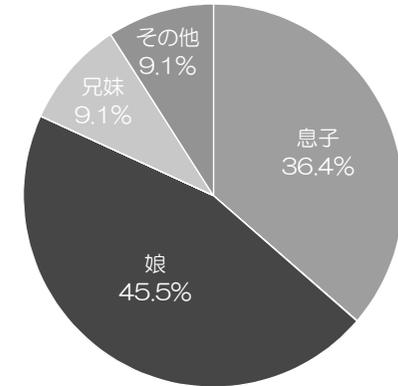
※ () 内は前年度数値

d. 世帯構成

配偶者

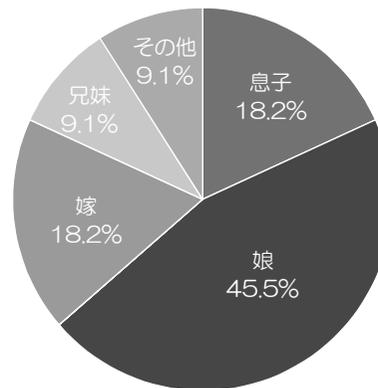


他同居者

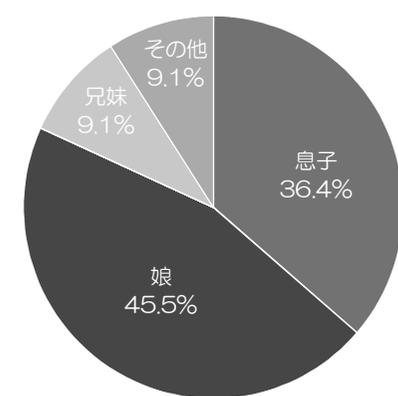


e. 本人支援状況

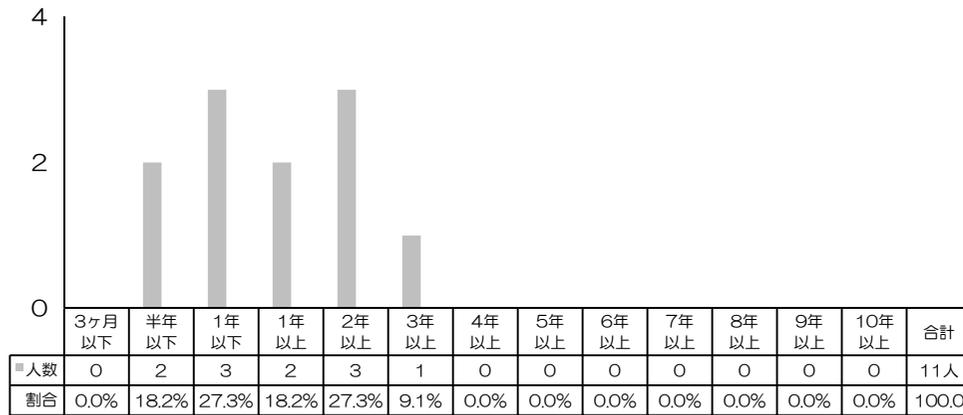
主介護者



身元保証人



f. 利用期間



g. 認知症の状況

単位：人

基準	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明	合計
男性	1	0	0	2	2	0	0	0	0	5
女性	0	1	2	1	1	1	0	0	0	6
合計	1	1	2	3	3	1	0	0	0	11

h. 日常生活動作状況

単位：人

基準	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	合計
男性	0	0	2	0	1	1	1	0	0	0	5
女性	0	0	2	1	1	1	1	0	0	0	6
合計	0	0	4	1	2	2	2	0	0	0	11

4. 介護サービス展開状況 ※2021年度利用者延べ：59名に対する値

a. ケアプラン（居宅サービス計画書）作成

単位：件

職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A	5	4	6	4	7	4	4	4	7	4	4	6	59
B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	5	4	6	4	7	4	4	4	7	4	4	6	59

b. サービス担当者会議

単位：回

職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A	4	3	5	3	7	3	4	4	7	4	4	6	54
B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	4	3	5	3	7	3	4	4	7	4	4	6	54

新型コロナウイルス感染症の影響により、関係者全員を招集しての開催にはリスクが伴うため、状況に合わせて照会などを交えながら実施した。

c. 関連事業所

単位：事業所（数）

	通所介護	福祉用具	訪問介護	短期入居	訪問看護	通所リハ	訪問入浴
事業所	14	8	9	5	6	0	0

d. 個人別契約事業所

単位：人

	利用なし	1事業所	2事業所	3事業所	4事業所	5事業所超
事業	0	0	0	0	0	0
支援1	0	4	1	0	0	0
支援2	0	9	6	2	0	0
介護1	0	4	7	5	1	0
介護2	0	2	2	1	0	0
介護3	0	1	1	1	1	0
介護4	0	0	4	5	0	0
介護5	0	0	0	2	0	0
合計	0	20	21	16	2	0

e. 複数サービス利用

単位：人

	利用なし	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類超
事業	0	0	0	0	0	0
支援1	0	4	1	0	0	0
支援2	0	9	6	2	0	0
介護1	0	4	7	5	1	0
介護2	0	2	2	1	0	0
介護3	0	1	1	1	1	0
介護4	0	0	4	5	0	0
介護5	0	0	0	2	0	0
合計	0	20	21	16	2	0

f. 自法人併設サービス利用（契約数）

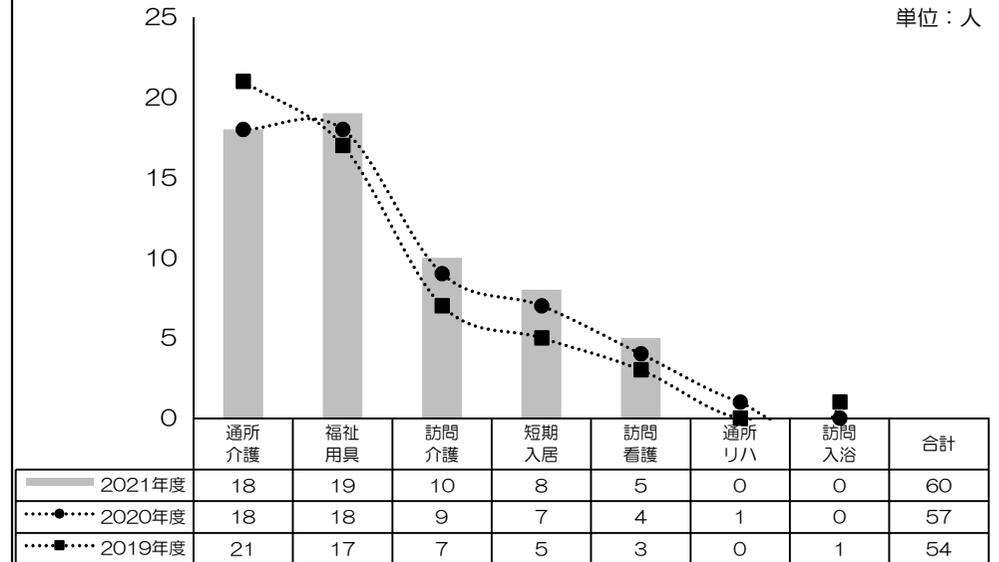
単位：人

施設	MOMO						PINO			
	特養		SS	DS	ケア		特養		SS	DS
	申	入			申	入	申	入		
2019年度	1	1	0	6	1	0	3	0	4	1
2020年度	0	0	0	6	0	0	4	4	9	0
2021年度	1	0	0	8	0	0	2	1	5	2

※申＝入居申込のみ ※入＝入居（特養の場合はそれを理由に契約終了となった者）

g. 種類別サービス利用件数

単位：人



h. 月別サービス利用

単位：人

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	17	16	16	17	17	16	17	17	17	18	16	16	200
福祉用具	14	13	15	13	15	14	14	13	15	14	14	16	170
訪問介護	9	7	8	8	9	8	7	8	8	7	8	9	96
短期入居	3	4	2	3	4	3	3	3	4	3	3	3	38
訪問看護	5	5	5	4	4	4	5	5	4	5	5	5	56
通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

i. 介護度別サービス利用

単位：人（延べ）

種類	総合事業	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
通所介護	0	28	46	46	12	28	28	12	200
福祉用具	0	12	36	38	12	24	36	12	170
訪問介護	0	0	12	32	16	12	12	12	96
短期入居	0	0	0	0	2	12	12	12	38
訪問看護	0	0	24	12	0	0	16	4	56
通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0

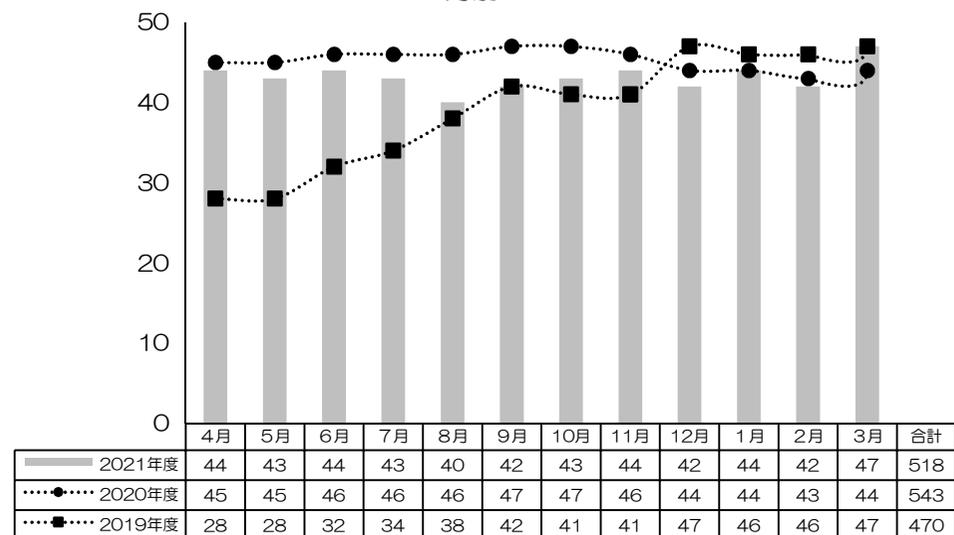
j. 福祉用具品目別利用傾向

単位：人（延べ）

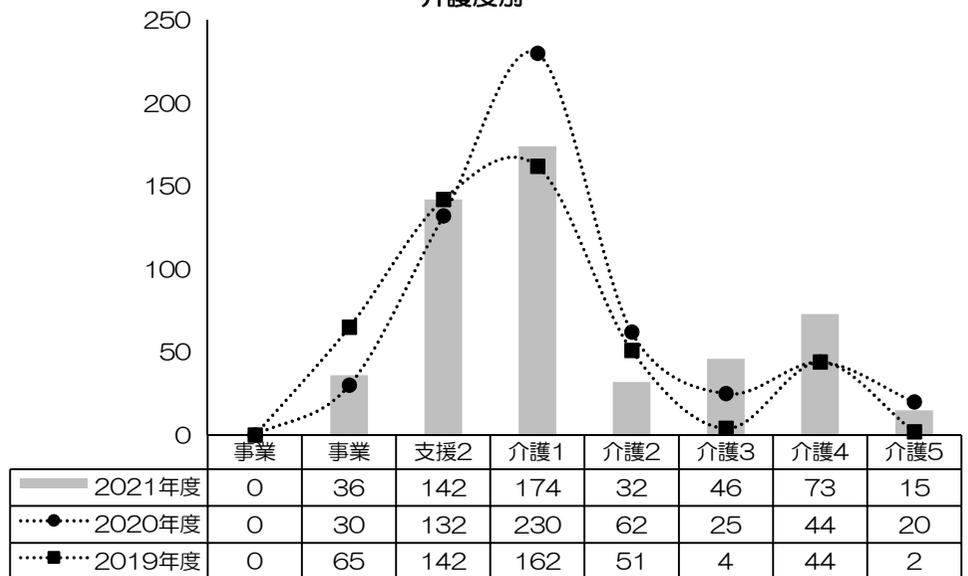
品目	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
車いす	0	0	0	12	24	48	4	88
車いす附属品	0	0	0	12	24	48	4	88
特殊寝台	0	0	12	24	12	46	4	98
特殊寝台附属品	0	0	12	24	12	46	4	98
床ずれ防止用具	0	0	0	0	0	0	4	4
体位変換器	0	0	0	0	0	0	0	0
手すり	0	24	36	12	12	12	0	96
スロープ	0	0	0	0	0	12	0	12
歩行器	12	24	36	0	12	0	0	84
歩行補助つえ	0	0	12	0	0	0	0	12
徘徊感知機器	0	0	0	0	0	0	0	0
移動用リフト	0	0	0	0	0	0	0	0
自動排泄処理装置	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	48	108	84	96	212	20	580

k. 給付管理実績

月別



介護度別



自法人併設サービス別（利用実績単位数）

施設/月	4月	5月	6月	7月	第一期
DSモモ	44084	49771	47872	44440	186167
SSモモ	0	0	0	0	0
DSピノ	0	0	3572	8929	12501
SSピノ	28006	42980	25447	32473	128906
合計	72090	92751	76891	85842	327574
施設/月	8月	9月	10月	11月	第二期
DSモモ	41595	41495	43588	44983	171661
SSモモ	0	0	0	0	0
DSピノ	4504	3732	3688	4620	16544
SSピノ	30027	28751	33510	31860	124148
合計	76126	73978	80786	81463	312353
施設/月	12月	1月	2月	3月	第三期
DSモモ	39194	38627	35658	34366	147845
SSモモ	0	0	0	0	0
DSピノ	3648	6324	7296	8068	25336
SSピノ	32120	29238	22768	27834	111960
合計	74962	74189	65722	70268	285141

施設	年度合計	年度月平均
DSモモ	505673 単位 (×10.54 円)	42139 単位 (×10.54 円)
SSモモ	0 単位 (×10.66 円)	0 単位 (×10.66 円)
DSピノ	54381 単位 (×10.66 円)	4531 単位 (×10.66 円)
SSピノ	365014 単位 (×10.66 円)	30417 単位 (×10.66 円)
合計	925068 単位	77089 単位

●DSモモとショートステイピノの実績は安定して利用傾向が見られている。
ピノのDSが安定していないので、施設外の垣根を越えて実績向上に繋が
ていけるように調整していく。

1. 緊急一時サービス利用

単位：人

	男性	女性	合計
2019年度	0	0	0
2020年度	0	0	0
2021年度	0	0	0

※月毎の申請件数は後述「8. 代行申請」項参照

m. 住宅改修実施

単位：人

	男性	女性	合計
2019年度	1	1	2
2020年度	2	0	2
2021年度	0	0	0

5. 苦情

2021年度の苦情は0件

6. 相談

新規担当希望は基本的に全て受諾。(入院中の死亡やキャンセルはあり)
その他に大きな相談/支援実施は特になし。

7. 認定調査

a. 実施数

単位：人

	男性	女性	合計	前年比
2019年度	0	0	0	0.0%
2020年度	0	0	0	0.0%
2021年度	0	0	0	0.0%

b. 依頼保険者

単位：人

	県外	市外	市内	合計
2019年度	0	0	0	0
2020年度	0	0	0	0
2021年度	0	0	0	0

c. 月毎の実施状況

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相模原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市外依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※2022年度より自法人及び自己担当の調査を行なう予定

d. 実施者プロフィール

単位：人

介護度	性別	年齢（●●歳代）							合計	割合（%）
		50	60	70	80	90	100			
支援1	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
支援2	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
介護1	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
介護2	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
介護3	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
介護4	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
介護5	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
割合（%）		0	0	0	0	0	0	0	0	0

8. 代行申請

a. 介護保険認定

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
更新	0	4	1	4	2	2	2	3	0	2	1	1
区変	1	1	1	0	1	0	0	0	2	0	2	0
転入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	1	5	2	4	4	2	2	3	2	2	3	1
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：18名・女性：13名・合計：31名

b. 負担限度額認定

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
再発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再申	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：1名・女性：0名・合計：1名

以下は相模原市独自事業

c. 緊急一時入所利用

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2~4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

d. 紙おむつ支給

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

※介3：0名・介4：0名・介5：0名

e. 高齢者等移送サービス

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

※介3：0名・介4：0名・介5：0名

C ommittees

委員会活動

2021年度も、予定されていた委員会が一部開催出来ず、有意義な会議・委員会の開催には至らなかった。

その他、委員会活動及び社内研修会については、年間計画に基づき概ね予定通りの開催（実施）が出来たが、社外研修については新型コロナウイルス感染症の影響で、その殆どが中止または参加見送りとなった。

1. 高齢管理者会議

開 催：毎月第3金曜日（休日調整） 14：30～15：30

内 容：意見交換及び各部署課題に対する検討等

構成員：施設長・副施設長・特養課長・居宅課長・各介護リーダー職
・看護師・相談員・介護支援専門員・栄養士

年度を通して安定した介護職員の確保が難しく、特に老人ホームの管理職がその穴埋めにシフトに入る頻度が高く、ほぼ未開催となってしまった。介護職員のみならず、看護師も含む現場の人材確保が今後も急務である。

2. 事故防止対策委員会

2021年度は事故総数175件で、前年比82.5%と減少している。

※行政機関への事故報告については相模原市指針に則り対応した

事故再発防止対策を密に行ない、心身状態から発生するインシデントの分析を確実に把握し、事故防止に役立てていく。

2021年度も事故防止の基本である見守り・巡回の徹底・職員の意識改革を通して、未然に防ぐことの出来る事故の発生減少に努める。

特別養護老人ホームモモ

事故総数：104件（前年比107.2%：増加）

インシデント：160件（前年比76.9%：減少）

2021年度は、前年度と同様に16時～19時の自力移動時の事故は多く見られており、24時間で比較しても2020年度より増加している。他の事故に関しては、毎年0件であった自力排泄時の事故が3件。その他が18件と2020年度より倍増となっている。インシデント数が2020年度より約40件減少している中で事故件数は増加している。インシデントを活用してのリスクマネジメントをより一層強化する必要があると思われる。

デイサービスセンターモモ

事故総数：3件（前年比50.0%：減少）

インシデント：37件（前年比185.0%：増加）

2021年度は、事故総数が50%減少。車輛事故も0件となっている。インシデントに関しては増加しているが、インシデントを活用し、リスクマネジメントが出来た結果で事故総数が減少していると考えられる。

ケアハウスモモ

事故総数：10件（前年比43.4%：減少）

2020年度は同一入居者による事故が多発していた事が大きな要因として挙げられており、その入居者が2020年度で退所に至った経緯もあり、前年比の減少に繋がっている。だが、2021年度も同一入居者による事故が5件と半数を占めており、入居者のADL低下が顕著である事には変わらない為、今後も入居者の日々の状況・ADLの把握等に重点を置き対応していく必要があると思われる。

コミュニティホームピノ

事故総数：58件（前年比70.7%：減少）

インシデント：11件（前年比64.7%：減少）

骨折事故が2件発生してしまった。どちらも立位不安定な方が居室で立ち歩き、バランスを崩しての転倒であった。個室での生活の為、居室内で起こっている事は把握しづらく、センサー類を使用しているにもかかわらず間に合わない状況もある為、事故予防が課題である。

インシデントの数は前年に増して少なくなっており、職員がインシデントとして捉えるかどうかの意識の問題が大きく関わっている。

限られた環境の中で、リスクとなる要因を見つけ出し、早期に対応へと繋げられる様な意識改革が必要となる。

コミュニティセンターピノ

事故総数：0件

インシデント：2件

事故総数0件の大きな要因は稼働率の低下と考えられるが、認知症の利用者を対象としたデイサービスの活動において起こりうる様々なリスクを職員間で共有し、安心且つ安全な居場所を利用者に提供することができた。利用者一人ひとりに関わる家族・ケアマネジャー・他事業所と連携を密にとり、情報を共有することでより良い環境を提供できるようにしていく。また、インシデント0件を目指す。

a. 特別養護老人ホームモモ（短期入所含む）

単位：回

時 間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
移動介助時									1	1		1		
自力移動時	1	3	2	3	1	3	5	8	3	5	9	2	4	1
排泄介助時								1						
自力排泄時										1	2			
食事介助時											3			
自力摂取時														
入浴介助時				1										
自力入浴時														
誤 薬										1	1			
原因不明														
そ の 他	2			1	2	1			2		1	1	2	
合 計	3	3	2	5	3	4	5	9	6	8	16	4	6	1

時 間	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	'21年	'20年	'19年
移動介助時									1		4	7	4
自力移動時		3	1	2	5	1	1	3	2	2	70	66	43
排泄介助時							1				2	4	7
自力排泄時											3	0	0
食事介助時											3	1	7
自力摂取時											3	6	0
入浴介助時											1	0	1
自力入浴時											0	1	0
誤 薬										1	3	3	1
原因不明											0	0	0
そ の 他		2	1						2	1	18	9	21
合 計	0	5	2	2	5	1	2	3	5	4	104	97	77

インシデント集計（短期入所含む）

単位：回

時 間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
移動関連	1	8				4	2	1	1	2	1	7		1
移乗関連							1					1		
排泄関連	2		1	1										1
食事関連	2		1	1	1		4			1	8	1		
入浴関連									1					
その他	1	3	3	2	2	1	2	1			6	3	1	3
環境不備			1					3	1	1		2	2	
薬関連	10	2		2	2	2		1	1		6	2	2	
合 計	16	13	6	6	5	7	7	6	4	4	21	16	5	5

時 間	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	'21年	'20年	'19年
移動関連	4		2		1			3			38	56	29
移乗関連											2	9	14
排泄関連	1				1				2		9	15	10
食事関連									1		18	21	23
入浴関連											1	3	0
その他	2		1	1	3	3			2		40	64	31
環境不備	1	8			1				1		21	25	19
薬関連									1		31	15	12
合 計	8	8	3	1	6	3	0	3	6	1	160	208	138

b. コミュニティホームピノ (短期入所含む)

単位：回

時 間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
移動介助時		1										1		
自力移動時	1	1	1		1	4	1	1	2		1		6	
排泄介助時					1								1	
自力排泄時	1													
食事介助時														
自力摂取時	1													
入浴介助時														
自力入浴時														
誤 薬											1			
原因不明		1			1			1			2			
そ の 他	1	2			1		2		5	2	2	1		1
合 計	4	5	1		4	4	3	2	7	2	6	2	7	1

時 間	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	'21年	'20年	'19年
移動介助時											2	6	2
自力移動時					1		1	1		2	24	36	52
排泄介助時											2	5	7
自力排泄時											1	0	0
食事介助時											0	0	0
自力摂取時											1	0	0
入浴介助時											0	4	4
自力入浴時											0	0	0
誤 薬											1	3	2
原因不明									1		6	5	5
そ の 他	1							1	2		20	23	33
合 計	1				1		1	2	3	2	58	82	105

インシデント集計 (短期入所含む)

単位：回

時 間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
移動関連						2					1			
移乗関連											1			
排泄関連														
食事関連														
入浴関連							1							
その他		1	1	1		1		1				1		
環境不備		1									1			
薬関連						1								
合 計	0	2	1	1	0	4	1	1	0	0	3	1	0	0

時 間	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	'21年	'20年	'19年
移動関連	1										4	3	3
移乗関連											1	0	1
排泄関連											0	0	0
食事関連											0	2	0
入浴関連											1	0	1
その他											6	2	2
環境不備	1										3	3	0
薬関連											1	7	3
合 計	2	0	16	17	10								

c. デイサービスセンターモモ

単位：回

時間		9	10	11	12	13	14	15	16	'21年	'20年	'19年
施設内	転倒			2			1			3	5	1
	その他									0	0	1
送迎時	転倒									0	0	1
	その他									0	1	1
合計				2			1			3	6	4

※事故内訳（施設内転倒 3 件・送迎時車輛事故 0 件）

※転倒に関しては、すり落ち・転落含む。

d. コミュニティセンターピノ

単位：回

時間		9	10	11	12	13	14	15	16	'21年	'20年	'19年
施設内	転倒									0	2	3
	その他									0	0	1
送迎時	転倒									0	1	0
	その他									0	1	0
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4

事故はないが、事故に繋がるインシデントは発生している。

職員は常に、気を配る必要がある。

e. ケアハウスモモ

2021 年度の事故は 10 件である。

施設内：9 件

施設外：1 件（救急搬送）

【内訳】

転倒：7 件

自力移動時受傷：2 件

誤嚥：1 件（救急搬送）

2021 年度事故内訳としては、コロナ禍という事もあり外出時の事故は少なく、施設内での転倒や移動時にぶつける等され受傷する事故ケースが主である。

1 件発生の救急搬送は家族と外食中の誤嚥事故であった為、救急車要請をはじめ家族対応となるが、大事に至らず帰園となっている。

3. 拘束検討委員会

特別養護老人ホームモモでは、2021 年度は身体拘束実施者（4 点柵による身体拘束）が 1 名継続となっている。

現在も家族の強い希望があり即時解除は困難なケースではあるが、本人の状態等を十分に考慮し、家族への説明を経て解除できるようにする。

コミュニティホームピノでは、2021 年 6 月末時点で身体拘束対応者を 0 名とする事ができた。

4. 感染症対策委員会

感染症の一般的基礎知識や高齢者施設におけるリスク、新型コロナウイルス感染症を中心に、季節に応じた感染症対策を実行出来るよう、委員会では各事業所担当者から各職員へ周知し、職員全体研修では全職員を対象に年間を通じて実施した。また、新型コロナウイルス感染症対策として、各部署への対応方法などを周知した。

○検討 / 研修会

- 2021年 7月 「新型コロナウイルス感染症について」
- 2021年 8月 「食中毒・感染症について」

5. 褥瘡対策委員会

2021年度は特養課会議内にて褥瘡対策委員会を行ない、利用者の褥瘡予防対策を排泄形態・体位交換・栄養・対処療法等あらゆる角度から検討し、発症者の経過や対策を検討することを実施した。

○褥瘡発症者

- ・モモ 2名（日常的な処置が必要なレベル）
内1名は8月より皮膚状態悪くなり、10月ごろより褥瘡状態となっている。※2022年4月現在も処置中
もう一名は入所時から褥瘡発生し、すでに完治している。
- 4名（軽度の褥瘡）
病院受診が必要なレベルではないが、注意が必要。
体位交換や処置を行ない現在は改善
- 16名（観察・注意が必要なレベル）
褥瘡まではいかないが、そのままでは褥瘡になってしまう危険性のある状態や、表皮剥離レベル。
- ・ピノ 2名（観察・注意が必要なレベル）
褥瘡まではいかないが、そのままでは褥瘡になってしまう危険性のある状態や、表皮剥離レベル。

6. 食中毒対策委員会

栄養士が中心となり、関係職において下記の内容について予防策の周知、徹底を図った。（給食会議代替の場合もあり）

○検討 / 講習会

- 2021年 5月 「最近の食中毒発生状況」
「施設での食中毒対策」
- 2021年 8月 「最近の食中毒発生事例」
「施設での食中毒対策」
- 2021年 11月 「最近の食中毒発生事例」
「施設での食中毒対策」
- 2022年 2月 「最近の食中毒発生事例」
「施設での食中毒対策」

7. 看取り実施委員会

2021年度は、特別養護老人ホームモモ及びコミュニティホームピノの入居者のうち終末期の13名（モモ8名・ピノ5名）に対して看取り対応を行なった。

各関係機関との連携も事前に行なえてきている事で、円滑な看取り介護を行なえて来ているが、看取り計画書の作成をはじめとした諸条件を満たすまでには至らずに、加算所得に繋げる事が出来なかった。

8. 運営推進会議（地域密着型施設）

新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、出席予定者の招集開催を見送り、議事録に「施設の現況報告」のみ記述し、送付にて代替えとした。

開催目的：地域との連携を確保し、地域に開かれた運営をする。

対象施設：地域密着型施設（ピノ拠点）

開催頻度：2ヶ月に1回以上

※通所介護は6ヶ月に1回以上で可だが同頻度に調整。

出席予定者：利用者および利用者家族代表

地域住民の代表者（自治会長・長寿会長）

地域包括支援センター職員

施設職員

（施設長・副施設長・施設ケアマネジャー

・生活相談員・認知症対応型通所介護管理者）

○議事録送付実績

2021年 5月

2021年 7月

2021年 9月

2021年11月

2022年 1月

2022年 3月

●苦情相談件数集計

各部署の苦情件数を一覧化

※件数＝報告書作成数

施設	部署	件数	概要
モ モ	特 養	0	
	S S	0	
	ケ ア	0	
	D S	0	
	栄養室	0	
	事務室	0	
	居 宅	0	
ピ ノ	特 養	0	
	S S	0	
	D S	0	
	栄養室	0	
	事務室	0	
ナ ナ	サ 高	0	
	居 宅	0	
	栄養室	0	

●実習生受入れ及び研修実施状況

a. 実習生受入れ（モモ）

日程	研修内容	団体名	実習者数
新型コロナウイルス感染症の蔓延防止を目的とし、2021年度通して実習生の受入れは中止する。			

b. 社外研修（モモ）

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
新型コロナウイルス感染症の影響から、例年より幅に研修件数が減少。ネット環境の整備が構築され、Zoom等のオンライン研修を実施。				
7月28日	介護助手導入促進事業担当者向け研修「現場職員の不調を早めに気付くには」	相模原市高齢者福祉施設協議会 講師：植田健太氏 office CPSR 事務所代表	ホテルセンチュリー 相模大野	1
9月18日	認知症疾患医療センター研修	相模原市認知症疾患医療センター	モモ1F 面接室 (Zoom)	1
9月30日	介護事業稼働率アップ手法公開セミナー	相模原市高齢者福祉施設協議会	市民会館 第一大会議室	1
2月17日	難病研修会	北里大学病院難病治療研究センター	北里大学 臨床教育研究 (IPE) 棟	1

b. 社外研修（ピノ）

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
新型コロナウイルス感染症蔓延予防の観点から実績なし				

b. 社外研修（ナナ）

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
2月28日	身寄りの居ない利用者への対応	4包括合同開催 (南十字星)	上鶴間高齢者支援センター	1
3月4日	食品衛生責任者講習会	相模原市保健所	視聴 (相模原チャンネル)	1

c. 社内研修（全体）

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
5月21日	第120回蒼生塾 「事故対策・身体拘束について」	(福) 蒼生会 事故対策委員長	デイサービスセンターモモ活動室	7
6月14日	労務管理研修「しっかりマスター労働基準法 (割増賃金編)」	(福) 蒼生会 講師：特定社会保険労務士・行政書士 今村英治先生		11
6月26日	第121回蒼生塾 「2020年度事業報告/全体会議」	(福) 蒼生会 管理職/各担当		13
7月16日	第122回蒼生塾 「食中毒・新型コロナ対策について」	(福) 蒼生会 講師 大熊栄養士		11
8月20日	第123回蒼生塾 「褥瘡について」	(福) 蒼生会 講師 デイ池田看護師		8
10月29日	第124回蒼生塾 「職場におけるハラスメント対策」	(福) 蒼生会 講師 副施設長 大原		9
11月19日	第125回蒼生塾 「褥瘡について」	(福) 蒼生会 講師 デイ看護師 池田		11
12月17日	第126回蒼生塾 事故対策について	(福) 蒼生会 事故対策委員長		8
2月18日	第127回蒼生塾 虐待について	(福) 蒼生会 居宅課長		8
3月28日	第128回蒼生塾 「2022年度事業計画」※全体会議	(福) 蒼生会 管理職/各担当		15

d. 海外研修

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
実績なし				

P Relations ublic

パブリック・リレーション

新型コロナウイルス感染症の影響で、カシオペア祭のみならず、ボランティアの受入れも含め、外部との関わりを見送らざらねばならぬ状況が続いた年度であった。

また、地域行事もその殆どが中止となった。

カシオペア祭をはじめとした外部・施設間交流を伴う活動の再開可能基準（目安）として、2020年4月の運営会議にて以下方針が決定となる。

●再開可能の基準（目安）

- ・特効薬や有効なワクチンが完成している事
- ・上記薬品やワクチンが一般的に入手可能で、医師により処置される状況になっている事

1. 近隣小中学校の総合学習、PTA イベントなどへの協力 中止

2. 介護・看護実習など受け入れ 中止

3. 他施設との交流

交流施設：「モモ/ピノ合同」「東橋本ひまわりホーム」「中の郷」

- ① 風船バレー交流試合：中止
- ② 施設対抗運動会：中止

4. 地域との交流

- ① 鶴野森日枝神社大祭「神酒所」会場貸出
中止
- ② 近隣自治会の盆踊り大会などへの参加 ※ケアハウス入居者
中止

備考：「カシオペア祭」実績は、法人本部事業報告に記述。

